

上ニテ蒸發揮散セシメ其殘渣ニ少量ノ水ト「フェノールフターレン」ノ指示藥ヲ加ヘ十分ノ一定規「アルカリ」液ヲ以テ遊離酸ヲ滴定ス、其量ハ千分ノ三以下タルベシ、但シ酒精ハ九十五「プロセント」ノモノヲ使用ス

(二) 飲料水ノ清淨法ニ次亞鹽素酸鹽ノ應用ニ就テ

藥物ヲ以テ水ヲ純潔ニナスコトハ往時ニ始マリ今日ト雖モ猶盛ニ行ハル、方法ナリ、然ルニ一部ノ學者ハ藥物清淨法ハ理想的方法ニアラズシテ、排斥スルノ傾向アリ是レ畢竟藥物ヲ用ユルニ由リ屢々清淨作用後ノ水質ニ不良ノ影響ヲ齎スコトアルヲ以テナリ、故ニ若シ清淨後ノ水質ガ何等ノ惡影響ヲ蒙ラザルニ於テハ例令藥物ヲ用ユルモ不可ナキコトハ何人モ容易ニ首肯スル所ナリ

嘗テ博士「ほふまん」Hoffmanハ過滿俺酸加里ヲ飲料水ノ清淨劑ニ用フル事ヲ唱ヘタリ、然レドモ過滿俺酸加里ノ多量ハ衛生上有害ニシテ人體ノ健康上無害ナル程度ノ分量ニテハ殺菌ノ目的ヲ達スルコト能ハザルノ嫌アリ之ニ反シテ次亞鹽素酸及其鹽類ハ克ク如上ノ缺點ヲ補フニ足ルナリ

凡ソ次亞鹽素酸及其鹽類ハ強烈ナル酸化作用ヲ有シ水中ニ棲存セル細菌ハ一度之ニ觸ル、時ハ勿チ撲滅セラレ、故ニ往時ヨリ下水等ノ殺菌ニ應用セラレタルハ普ク人ノ知ル所ナリ、而シテ飲料水ノ殺菌ニ試ミラレタルハ一千八百九十六年「トラウベ」Traubeニ始リ爾來之カ研究ヲ企テタル學者甚バ多シ、延テ近年米國ニ於テ上水道ニ其應用ヲ見ルニ至レリ京都市ニ於テモ亦之カ研究ノ端ヲ啓キタレバ其ノ概況ヲ左ニ報告セントス先ツ次亞鹽素酸鹽ノ幾何微量ガ果シテ殺菌ノ効力アルヤ之ガ分量並ニ時間ニ對シ如何ナル關係ヲ有スルヤヲ

知ランガ爲メ同一種ノ檢水ニ就キ四種ノ異ナリタル比例ニ於テ次亞鹽素酸石灰ヲ加ヘ各一定時間作用セシメタル後平板培養ヲ施シタルニ左表ニ示スガ如キ結果ヲ得タリ

第一表

場 所	檢水中ニ附セル有効鹽素ニ相當スル酸量	清淨作用直落細菌數	十分後細菌數	時間後細菌數	一時間後細菌數	十時間後細菌數	三日後細菌數
琵琶湖第二出口	千萬分ノ一〇	四四〇	三三〇	三七	三五	一一	一〇
琵琶湖第二出口	同	四八〇	四三	三六	三〇	一一	八
琵琶湖第二出口	同	七〇四	七六	三〇	二二	八	十
琵琶湖第二出口	同	六四〇	三八	二八	一九	五	五

備考 表中ニ掲グル數字ハ各檢水一立方「センチメートル」ヲ膠質平板ニ培養シテ發育セシメタル數ヲ示ス表中ニ觀ルガ如ク藥物ガ作用スル時間ノ長短ニ從ヒ細菌數ヲ減少セルコト明ナリ、而シテ其平均五百六十六箇ノ細菌ヲ有スル水ハ作用後一間ニシテ五百四十箇ヲ撲滅セラル、即チ次亞鹽素酸石灰ヲ應用スル時ハ水中ニ棲息セル細菌ノ約九十五「プロセント」ヲ除去スルコトヲ得、而カモ之ガ爲メ加フル次亞鹽素酸石灰ハ甚ダ微量ニシテ有効酸量一千萬分ノ一乃至一千萬分ノ十ヲ要スルニ過ギザルナリ、是ニ於テテカ更ニ各種ノ水、

殊ニ濁濁セル井水、河水等ニ就テ單獨ニ或ハ硫酸礬土ヲ併用シ試験シタルニ常ニ良好ノ結果ヲ得タリ、今參考ノ爲メ左ニ其一例ヲ掲ゲ置クベシ

第二表

場 檢 水 採 酌 所	檢水中ニ附加セル有効鹽素ニ相當スル鹽素量	清淨作用前 直菌聚落數	五十分後 細菌聚落數	十分後 細菌聚落數	二時間後 細菌聚落數	二時間後 細菌聚落數	四時間後 細菌聚落數
琵琶湖第二出口	一億分ノ	三九〇	二二	一三	八	七	六
琵琶湖第二出口	同	三七〇	一一	二	二	〇	三
琵琶湖第二出口	同	三五〇	一五	一三	〇	五	〇
琵琶湖第二出口	同	三八〇	二	二	八	四	六
琵琶湖第一出口	同	一、一〇〇	一	一	一〇二	九六	三三
岡崎町字福ノ井水	同	一五、二〇〇	一三三	五二	四七	四三	二四
五條加茂川	同	二四、〇〇〇	一	一	四〇〇	二〇〇	一一〇

備考 表中ニ掲グル數字ハ各檢水一立方センチメートルヲ膠質平板ニ培養シテ發育セシメタル數ヲ示ス

是ニ由リテ之ヲ觀ズレバ、次亞鹽素酸石灰ノ附加量ハ極ク微量ナルニ拘ラズ猶且細菌ヲ撲滅スルノ力顯著ニシテ之ガ爲メ水中ニ棲存スル細菌ノ大半ヲ除去スルコトヲ得ルナリ、故ニ之ヲ飲料水ノ清淨法ニ應用スル時ハ必ズヤ些少ナラザル効果ヲ收ムルニ至ルベシ、只茲に注意ヲ要スルハ殺菌作用後ノ清淨水ガ化學的ニ不良ノ影響ヲ蒙ルコトナキヤ否ヤヲ觀察スルコト是ナリ

抑々次亞鹽素酸及其鹽類ノ化學作用ヲ按ズルニ水中ニ棲存スル細菌茲ニ被酸化物、例へバ有機物、亞硝酸、安母尼亞、鐵鹽等ハ之ガ爲メ酸化セラレ次亞鹽素酸自カラハ還元ス、即チ次亞鹽素酸ハ鹽酸ニ其鹽類ハ鹽化物トナリ、茲ニ生ジタル鹽酸ハ水中ニ存スル鹽基ノ爲メ中和セラレ鹽類ヲ生ズルナリ、故ニ之ヲ適當ニ使用スルニ於テハ毫モ次亞鹽素酸固有ノ臭氣ヲ微セザルノミナラズ、水中ニ存スル有機物、亞硝酸、安母尼亞、鐵等ヲ酸化シ清淨ノ目的ヲ達スルコトヲ得ルナリ、今次亞鹽素酸ヲ以テ清淨シタル前記諸種ノ水ハ作用後化學的如何ナル變化ヲ蒙リタルヤヲ知ランガ爲メ左表ヲ提供スベシ

第三表

場 檢 水 採 酌 所	檢水中ニ附加セル有効鹽素ニ相當スル鹽素量	臭 味	鹽 基 度	亞 硝 酸	あ ん も	くろーる	過滿俺酸 消費量	固 形 物 總 量
琵琶湖第二出口	附加セザル	異常ナシ	二八五度	檢出セズ	檢出セズ	四・六九三	一一六四	四五〇〇〇
琵琶湖第二出口	同	同	二八五	同	同	五・四八	〇・七九〇	四七〇〇〇

第琵琶二	第琵琶二	第琵琶二
疏水湖	疏水湖	疏水湖
同	同	同
〇・〇〇	二・〇〇	二・五
臭較著明	くろくろ臭僅微	異常ナシ
同	同	同
三・四〇	二・九五	二・九〇
同	同	検出セズ
同	同	検出セズ
九・七六三	五・八五八	五・六八〇
〇・五五三	〇・六三二	〇・六三二
五・七五〇	四・五〇〇	五・〇〇〇

備考

一、化學的成分量ハ水一「リートル」中ニ含有スル「ミリグラム」量ヲ示ス
 一、鹽基度欄ニ欄ニ掲ゲル數字ハ水十萬分中ニ於ケル「アルカリ」ノ含有量ニシテ一度ハ水百立方「センチメートル」ニ費シタル五十分ノ一定規硫酸溶液一立方「センチメートル」ニ當ル

第四表

第琵琶二	第琵琶二	第琵琶二	場 採 所
疏水湖	疏水湖	疏水湖	川崎町字福井
同	一億分ノ	附加セザル	同
六	四	モノ	同
同	同	異常ナシ	同
二・八〇	二・八〇	二・八〇	同
同	同	検出セズ	同
同	同	検出セズ	同
五・四八	四・六一五	四・六一五	同
〇・五五三	〇・六三二	一・一八五	同
四・六〇〇	四・五〇〇	四・五〇〇	同

第琵琶二	第琵琶二
疏水湖	疏水湖
同	同
〇	八
同	同
二・八五	二・八〇
同	同
同	同
五・四八	四・九七六
〇・四七四	〇・五五三
四・六〇〇	四・六〇〇

備考 一、化學的成分量ハ水一「リートル」中ニ含有スル「ミリグラム」量ヲ示ス

一、鹽基度欄ニ掲ゲル數字ハ水十萬分中ニ於ケル「アルカリ」ノ含有量ニシテ一度ハ水百立方「センチメートル」ニ費シタル五十分ノ一定規硫酸溶液一立方「センチメートル」ニ當ル

第五表

場 採 所	川崎町字福井	岡崎町字福井	川崎町字福井	岡崎町字福井	川崎町字福井	岡崎町字福井	川崎町字福井
檢水ニ附加セル	同	一億分ノ	同	同	同	同	同
臭	同	同	同	同	同	同	同
鹽基度	同	同	同	同	同	同	同
亞硝酸	同	同	同	同	同	同	同
安母尼亞	同	同	同	同	同	同	同
格魯兒	五・六六三	五・五〇二	五・八七五	五・八七五	五・八七五	五・八七五	六・二二五
過滿俺酸	九・〇八五	八・二一六	八・二一六	八・二一六	八・二一六	八・二一六	八・一三七
固形物	三・五三・五〇〇	三・四九〇〇〇	三・五四・五〇〇	三・五四・五〇〇	三・五四・五〇〇	三・五四・五〇〇	三・六一〇〇〇

備考 一、化學的成分量ハ水一「リール」中ニ含有スル「ミリグラム」量ヲ示ス
 以上三表ヲ通覽スルニ格魯兒量並ニ固形物總量ノ増加ヲ見ルハ殆ンド免レザル所ナレドモ甚ダ微量ニシテ衛生上毫モ顧慮スルニ足ラザルコト彼ノ硫酸礬土ヲ用フル時ニ等シ、然レドモ例令其微量ト雖モ猶且硬度ヲ増加スルガ爲メ諸般ノ工業用水トシテノ價値ヲ低落セシムルノ恐アリ、是ニ於テカ本法ハ改良ヲ施スノ必要アルヲ感ズニ至レリ、是ガ改良トハ何ゾヤ

彼ノ硬度ニ至大ノ關係ヲ有スル次亞鹽素酸石灰ニ代フルニ食鹽水ノ電解ニヨリテ生ズル次亞鹽素酸曹達液ヲ使用スルコト是ナリ、實驗ニ徵スルニ此次亞鹽素酸曹達ヲ使用スル時ハ硬度ニ不良ノ影響ヲ及サザルノミナラズ其殺菌作用愈鋭敏ニシテ水中ニ棲息セル細菌ノ大半ヲ撲滅スルノ働アリ故ニ傳染病ノ流行又ハ一時的ニ多數ノ細菌ガ水中ニ生ジタル場合等ニ本方法ヲ應用スル時ハ充分ノ効果ヲ見ルベク又彼ノ軍隊等ニ於テ一時多量ノ水ヲ清淨スル場合ニ之ヲ利用セン乎多大ノ便宜ヲ得ルニ至ルベシ、何トナレバ其實行方法頗ル簡單ニシテ而カモ費用ノ低廉ナルハ從來用ヒラル、各種ノ清淨法中此ノ右ニ出ヅルモノナシ
 以上掲グル順序方法ニ基キ更ニ較々大規模ニ本市水道設備ノ大半ヲ以テ之ガ實行ヲ試ミタルニ其結果概ネ良好ニシテ實ニ左表ニ示スガ如キ成績ヲ得タリ

第六表

源水百萬分ニ對シ有効鹽素〇・二七五ヲ作用セシメタルモノ (自大正二年三月二十日) 至大正二年三月二十日)

檢水種類	備考	源水	第一沈澱池	第二沈澱池	第三沈澱池	第四沈澱池	第五沈澱池	第六沈澱池	第七沈澱池
		半同四號ハ九時間後採酌檢査セシモノナリ 濾過槽第一號ハ四百立方呎第二號ハ六百立方呎濾過速度トス硝酸、亞硝酸、安母尼亞等	學菌	17	17	17	17	17	17
試驗回数	化學	17	17	17	17	17	17	17	17
	溫度	最高	8.0	8.5	8.5	9.0	9.0	8.3	8.3
		最低	5.5	5.6	3.5	5.5	5.5	5.2	5.2
清濁	最高	32.000	25.000	25.000	22.500	12.000	10.000	10.000	
	最低	2.500	2.500	2.500	2.500	2.000	0	0	
	平均	7.000	6.500	5.900	5.900	5.000	2.700	2.700	
臭味	異常ナシ	17	17	17	17	17	17	17	
	微弱アルカリ性	17	17	17	17	17	17	17	
硫磺	痕極少	17	16	16	17	17	17	17	
	量	0	1	1	0	0	0	0	
格魯兒	最高	5.325	5.325	5.325	5.325	5.325	5.325	5.325	
	最低	4.693	4.976	4.976	4.976	4.976	4.693	4.693	
	平均	4.900	5.159	5.118	5.098	5.088	4.832	5.034	
過マンガン酸	最高	1.817	1.422	1.422	1.343	1.264	0.790	0.790	
	最低	1.343	1.027	1.027	0.948	0.790	0.553	0.632	
	平均	1.482	1.241	1.185	1.148	1.055	0.712	0.737	
固形物	最高	61.000	54.000	52.500	53.000	58.000	50.000	51.500	
	最低	44.500	46.000	45.500	45.000	45.000	43.500	44.000	
	平均	49.265	48.500	47.618	47.529	48.676	46.353	46.735	
硬度	最高	3.000	2.900	2.800	2.800	2.800	2.700	2.700	
	最低	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	
	平均	1.435	1.441	1.400	1.400	1.397	1.382	1.382	
鹽基度	最高	3.000	3.100	3.000	3.000	2.900	2.800	2.800	
	最低	2.700	2.700	2.700	2.700	2.700	2.600	2.600	
	平均	2.820	2.820	2.810	2.810	2.800	2.750	2.750	
細菌聚落	最高	6.530	460	540	400	380	186	152	
	最低	360	23	20	22	30	21	19	
	平均	2.130	142	132	98	82	57	51	

檢水種類	試驗回数	源						備考
		第一澱池	第二澱池	第三澱池	第四澱池	第十澱池	第二十澱池	
溫度	化學的細菌	4	4	4	4	4	3	3
		4	4	4	4	4	3	3
		8.5	9.0	9.0	9.0	9.2	8.5	8.5
清濁	最高	7.6	8.0	7.9	7.9	7.9	8.0	8.0
		8.0	8.4	8.2	8.3	8.4	8.3	8.3
		3.500	5.000	5.000	5.000	5.000	2.000	2.500
臭味	最低	2.000	2.500	2.000	2.000	2.000	0	0
		2.600	3.300	3.100	2.900	3.000	0.700	0.800
		2					2	2
反應	異常ナシ	4	4	4	4	4	3	3
		4	4	4	4	4	3	3
		3					2	2
硫酸	痕跡	3	3	3	3	4	2	2
		1	1	1	1	0	1	1
		4.976	5.325	5.325	5.325	5.148	5.148	5.148
格魯兒	最高	4.693	4.976	4.976	4.976	4.693	4.976	4.976
		4.835	5.148	5.106	5.106	4.991	5.091	5.091
		1.501	1.264	1.185	1.106	1.106	0.761	0.761
過酸消	最低	1.422	1.185	0.948	0.948	0.948	0.632	0.632
		1.462	1.225	1.067	1.047	1.007	0.675	0.675
		47.500	49.000	49.000	47.500	49.000	48.000	47.500
固形物	最高	45.500	46.000	46.000	45.000	46.500	46.500	45.000
		46.500	47.875	47.500	46.500	47.625	47.000	46.000
		1.400	1.400	1.400	1.400	1.400	1.400	1.400
硬度	最低	1.400	1.400	1.400	1.400	1.200	1.200	1.200
		1.400	1.400	1.400	1.400	1.350	1.330	1.270
		2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800
鹽基度	最高	2.700	2.700	2.700	2.700	2.700	2.600	2.600
		2.750	2.750	2.750	2.730	2.730	2.700	2.700
		4.900	220	223	80	131	1.048	53
細聚落	最低	668	21	50	48	25	38	31
		2.017	80	110	64	73	54	42

第八表
源水百萬分ニ對シ有効鹽素〇・四四瓦ヲ作用セシメタルモノ
(自大正二年三月二十二日 至大正二年三月二十六日)

檢水種類	試驗回数	源				備考
		第一澱池	第二澱池	第一過槽	第二過槽	
溫度	化學的細菌	7	7	7	7	7
		7	7	7	7	7
		22.0	22.9	22.8	22.5	22.5
清濁	最高	21.0	21.5	21.6	22.0	22.0
		21.7	21.7	21.8	22.1	22.1
		5.000	3.000	2.500	2.000	1.500
臭味	最低	3.000	2.500	1.000	1.000	1.000
		3.714	2.571	1.785	0.430	0.357
		7	7	7	7	7
反應	異常ナシ	7	7	7	7	7
		7	7	7	7	7
		7				7
硫酸	痕跡	7	7	7	7	7
		7	7	7	7	7
		4.693	6.213	6.035	6.035	6.035
格魯兒	最高	4.615	5.503	5.503	5.503	5.503
		4.671	5.782	5.630	5.629	5.655
		1.659	1.185	1.106	0.761	0.761
過酸消	最低	1.422	0.869	0.869	0.632	0.632
		1.512	0.971	0.959	0.724	0.728
		53.000	54.000	54.000	50.500	52.000
固形物	最高	44.500	47.000	46.500	46.500	46.000
		48.714	49.571	49.357	48.500	48.500
		1.550	1.700	1.700	1.700	1.700
硬度	最低	1.400	1.400	1.400	1.400	1.400
		1.464	1.636	1.636	1.529	1.529
		2.800	2.800	2.800	2.800	2.800
鹽基度	最高	2.550	2.700	2.700	2.700	2.700
		2.671	2.780	2.736	2.750	2.750
		1.580	132	122	61	53
細聚落	最低	810	10	18	22	17
		1.038	49	45	36	40

第七表
源水百萬分ニ對シ有効鹽素〇・三瓦ヲ作用セシメタルモノ
(自大正二年六月十日 至大正二年六月十七日)

檢水種類	試驗回数	化學的 細菌的	源	第沈	第沈	第濾	第濾	備考						
			水	一澱 號池	二澱 號池	一過 號槽	二過 號槽							
溫度	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	23.5	24.0	24.0	24.0	24.0
									最低	22.0	23.0	23.0	23.0	23.0
清濁	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	4.000	3.500	3.500	1.500	1.000
									最低	2.000	1.500	1.000		
臭味	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	7	7	7	7	7
									最低	7	7	7	7	7
反應	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	7	7	7	7	7
									最低	7	7	7	7	7
遊離格魯兒	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	7	7	7	7	7
									最低	7	7	7	7	7
硫酸	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	7	7	6	7	7
									最低	0	0	1	0	0
格魯兒	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	5.148	6.035	6.035	5.858	5.858
									最低	4.693	5.325	5.325	5.148	5.148
過酸消費	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	1.659	1.422	1.343	1.027	1.185
									最低	1.501	1.027	0.948	0.869	0.869
固形物	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	51.500	52.000	51.500	50.000	50.500
									最低	45.500	44.500	44.000	42.500	42.500
硬度	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	1.850	1.700	1.700	1.700	1.700
									最低	1.550	1.700	1.700	1.550	1.500
鹽基度	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	2.800	2.900	2.900	2.800	2.800
									最低	2.700	2.700	2.700	2.700	2.700
細聚落	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノナリ						
									最高	1,550	174	176	534	615
									最低	840	27	45	66	40

源水百萬分ニ對シ有効鹽素〇・一五瓦ヲ作用セシメタルモノ (自大正二年六月十九日 至大正二年六月二十九日)

第十表

檢水種類	試驗回数	化學的 細菌的	源	第沈	第沈	第濾	第濾	備考						
			水	一澱 號池	二澱 號池	一過 號槽	二過 號槽							
溫度	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	25.0	25.5	26.0	25.0	25.0
									最低	23.5	24.0	24.0	24.0	24.0
清濁	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	4.000	3.500	3.000	1.500	1.500
									最低	2.500	1.000	1.000	1.000	1.000
臭味	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	7	7	7	7	7
									最低	7	7	7	7	7
反應	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	7	7	7	7	7
									最低	7	7	7	7	7
遊離格魯兒	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	7	7	6	7	7
									最低	0	0	1	0	0
硫酸	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	6.380	7.277	7.455	7.100	7.100
									最低	4.693	5.858	6.035	5.858	5.858
格魯兒	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	5.047	6.312	6.314	6.252	6.236
									最低	5.047	6.312	6.314	6.252	6.236
過酸消費	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	1.817	1.185	1.948	0.948	0.948
									最低	1.580	0.761	0.948	0.632	0.761
固形物	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	49.500	52.500	52.500	52.500	51.000
									最低	46.500	47.500	47.500	48.000	47.500
硬度	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	47.571	49.928	49.500	49.214	49.143
									最低	47.571	49.928	49.500	49.214	49.143
鹽基度	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	1.700	1.850	1.850	1.700	1.700
									最低	1.550	1.700	1.700	1.550	1.550
細聚落	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	1.636	1.764	1.764	1.678	1.678
									最低	1.636	1.764	1.764	1.678	1.678
鹽基度	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	2.800	2.900	2.900	2.900	2.900
									最低	2.700	2.750	2.750	2.800	2.800
細聚落	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	2.707	2.890	2.800	2.857	2.857
									最低	2.707	2.890	2.800	2.857	2.857
細聚落	7	7	7	7	7	7	7	沈澱池第一號ハ藥物混入後一時間半同第二號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス						
									最高	1.500	201	200	410	202
									最低	1.100	20	28	34	28

源水百萬分ニ對シ有効鹽素〇・四五瓦ヲ作用セシメタルモノ (自大正二年六月二十七日 至大正二年七月四日)

第九表

第十一表

源水百萬分ニ對シ有効鹽素〇・六瓦ヲ作用セシメタルモノ (自大正二年五月十二日 至大正二年五月三十一日)

檢水種類	源水							備考
	第一號池	第二號池	第三號池	第四號池	第五號池	第六號池	第七號池	
試驗回数	7	7	7	3	3	7	7	號ハ六時間半同第四號ハ九時間後採酌檢査セルモノトス 母尼亞等ハ何レモ檢出セズ 濾過槽ハ第一號ハ四百立方呎同第二號ハ六百立方呎ノ濾過速度トス、硝酸、亞硝酸、安
温 度	化學的	7	7	7	3	3	7	
	細菌的	7	7	7	3	3	7	
	最低平均	21.0	22.0	22.0	22.0	23.0	21.0	
清 濁	最高	17.6	20.0	19.0	20.0	20.5	19.0	
	最低	19.3	20.4	20.1	20.2	21.3	20.2	
	平均	7.000	5.000	4.000	3.500	3.000	4.000	
臭 味	最高	2.500	2.500	2.500	2.000	2.500	1.000	
	最低	4.500	3.900	3.500	2.800	2.800	1.900	
	平均						1	
反 應	異常ナシ	7	7	7	3	3	7	
	微弱アリ	7	7	7	3	3	7	
	力アリ							
硫 酸 格 魯 兒	檢出	7	7	7	3	3	7	
	痕跡	7	7	7	3	3	7	
	最高	4.693	7.623	7.455	7.100	7.100	6.745	
過 酸 消 費	最低	4.615	6.035	6.213	6.213	6.213	6.035	
	平均	4.660	6.538	6.539	6.564	6.509	6.335	
	最高	1.550	1.106	1.185	0.948	0.948	0.761	
固 形 物 量	最低	1.264	0.948	0.948	0.948	0.869	0.553	
	最高	1.456	1.004	1.038	0.948	0.922	0.676	
	平均	47.500	50.500	50.500	50.000	49.000	49.000	
硬 度	最高	45.500	47.500	47.000	48.000	47.500	47.000	
	最低	46.429	49.286	48.714	49.333	48.000	47.714	
	平均	1.900	1.700	1.700	1.606	1.600	1.700	
鹽 基 度	最高	1.350	1.350	1.350	1.350	1.350	1.350	
	最低	1.464	1.464	1.443	1.450	1.433	1.414	
	平均	2.700	2.800	2.800	2.800	2.800	3.000	
細 菌 落 數	最高	2.600	2.700	2.600	2.700	2.700	2.600	
	最低	2.680	2.730	2.700	2.770	2.770	2.750	
	平均	2,220	41	72	41	89	54	
聚 落 數	最高	760	5	32	20	12	14	
	最低	1,232	25	49	28	35	31	
	平均							

右ノ成績ニ由リテ本清淨法ノ特點ヲ案ズルニ遲緩濾過法ニアリテハ細菌ヲ濾砂上ニ抑留スルノ作業減少スルヲ以テ或ハ其濾過速度ヲ大ナラシムルコトヲ得ベク從來ニ比シ其規模ヲ小ナラシムルコトヲ得ベシ、又彼ノ藥物ヲ併用セル急速濾過法ニアリテハ、藥物ノ使用量ヲ減少スルコトヲ得ルノミナラズ特ニ硫酸礬土ノ併用ニ由リ其殺菌力ヲ増大セシムルノ利益アルハ實驗ノ結果ニ徴シ明ナル事實ナリ、其他彼ノ清澄ナル源水ヲ有スル水道ニ本法ヲ應用スルニ於テハ全ク他ノ藥物ヲ使用スルノ必要ナキニ至ルヲ以テ人類生活ニ必須ナル、飲料水ノ清淨費用ヲ大ニ節減シ且衛生上無害ノ飲料水ヲ供給スルニ至ルベシ

本研究ニ密接ノ關係アル、病原性細菌ニ對スル殺菌力ノ効果如何ハ、今猶研究中ニ屬スルヲ以テ他日食鹽ノ電解ニヨリ生ズル次亞鹽素酸「ナトリウム」ヲ用フル方法ト共ニ詳細ナル報告ヲナス期アルヲ信ズルナリ

○大坂市報告

(一) 濾過池砂層厚薄ト濾過効力ニ就テ(第一回報告)

第九回上水協議會議事録ニ於テ本市ヨリ濾過池砂層汚染程度第二回報告ヲナセリ、其實驗成績ニ依レバ、濾過池汚染ハ砂層表面僅カノ層ニ於テ最モ著シク汚染シ其ノ他ノ砂層ハ比較的清潔ナリシ、此事實ニ據テ考フルトキハ現今唱ヘラル、如ク濾過作用ノ主動者ヲ濾過池ノ上層ニ沈澱スル汚泥層ニ歸スルトキハ、濾過動力上砂ノ表層約三寸位最モ重要ニシテ、其他ノ砂層ハ粗砂以下ノ如ク只支持ノ用ヲナスニ過ギザラン乎、斯ク論ゼバ從來唱ヘラル、砂層厚キハ幾分効力多キトノ說ニ矛盾セザルヲ得ズ、茲ニ於テ櫻ノ宮水源池ニ構成スル面積二坪ノ試驗的濾過ニ於テ大正二年二月以降砂層ト濾過効力ニ就テ實驗シタル成績ヲ些カ之ニ報告セントス

試驗方法

濾過池砂層ハ粗砂以下ハ普通濾過池ニ均シキ層寸ニシテ細砂ハ初メ一尺五寸ヲ疊積シ後一尺ニ減セリ、而シテ掃除ノ場合ハ汚泥層削取層寸ハ約二分トナシ、汚泥層全部ハ之レヲ除去セザルニ務メタリ、濾過速度ハ十呎内外ヨリ二十呎迄達シタルコトアリ、尙細砂ハ一分目ノ篩ヲ以テ篩ヒ落シタルモノヲ用ヒタリ、試驗ハ主トシテ細菌學的試驗ニ據ルコト、セリ

試驗濾過池水質試驗成績

濾過池ハ大正二年二月十九日砂入ヲナシ全月二十二日ヨリ濾過ヲ始メシモ「メートル」其他ニ故障ヲ生シ時々濾過中止セシコトアルモ同年四月七日完全ニ濾過効力ヲ顯セリ

第一表

年 月 日		沈 澱 池	濾 過 水	摘 要
大正二年	四月九日	六九五	一六	
同	四月十四日	一四五〇	三九	
同	四月二十一日	一三三〇	三七	
同	四月二十八日	四四〇〇	三三	本日掃除
同	五月三十日	二五五〇	三	
同	五月三日	液化	液化	
同	五月五日	同	同	
同	五月十二日	三三五〇	三三	

濾過池細砂層約一尺五寸ノトキニ於ケル濾過効力

信スルヲ以テ之ヲ全成績ヨリ除去シ計算セリ
而シテ濾過効率八九・四%ナリ

第二表

濾過池細砂層約一尺ニ減ジタルトキノ濾過効力		沈澱池	濾過水	摘要
年	十月二十六日	二〇〇	二五	
月	二十九日	一八五〇	二〇	
日	十二月三日		一四	
	五日		二五	
	八日	二八〇〇	六五	
	十二日		二四	
	十五日	〇〇〇〇	三三	
同		三〇〇〇	三五	
最	高	一〇〇〇	一四	
最	低	二二六三	二九	
平	均			

備考 細砂層約一尺ノ場合ニ於ケル細菌ノ濾過効率八九・七「プロセント」ナリ

前二表共理化學的試験ハ時々之ヲ施行シタルモ、其成績ハ極メテ善良ニシテ普通ノ成績ト異ナラズ
以上試験成績表ニ就テ閲覧スルニ、試験ハ毎日連續セザルト試験回数少ナキヲ以テ各表共敢テ正確ナル成績
ト云フヲ得ザレ共、濾過効力ハ概シテ良好ナリ、六月二十四日濾水ニ於テ細菌數一八〇ノ多數ヲ現ハセシハ
摘要欄ニ記スル如ク、其前日掃除ヲ行ヒ直ニ濾過速約三十呎ニ昇リタルニ基因スルモノナラント信ズ、而シ
テ第一表ニ記スル如ク四月九日ヨリ九月二十二日ノ間ニ於ケル濾過池細砂層約一尺五寸ノ時ニ於ケル細菌ノ
濾過効率八九・四%ヲ現セリ、尙濾過池細砂層、約一尺ニ減ジタルモノ、濾過効率八九・七%ナリ、此等
ノ事實ヲ綜合シ考フルトキハ濾過池ノ細砂層ハ或ル程度マデ薄クトモ、濾過池掃除ノ場合汚泥層ヲ全部除去
セザルニ務ムルトキハ濾過効力ハ依然トシテ減退セザルモノ、如シ、尙引續キ之カ調査ヲナシ其成績ハ重ネ
テ報告セントス

(二) 鉛管腐蝕ノ一例

本市北區曾根崎新地三丁目ニ於テ埋設瓦斯漏泄シタルコトアル爲メ、其漏泄部ニ於テ同瓦斯管上ニ跨ル上水
供給用鉛管(布設後約一ケ年ヲ經過セルモノ)著シク腐蝕セルヲ大正三年四月之ヲ發見セリ、是レ漏泄瓦斯ニ
基ケルモノナリヤ亦何等カ他ノ原因ニヨルモノナルカラ調査シタル其成績ヲ報告セントス
先ツ之カ調査ヲナスニ當リ之ヲ一、鉛管腐蝕ヲ生ゼシ場所ノ狀況並ニ其土地ノ土壤試験ニ、腐蝕鉛管ノ調査
三、瓦斯ノ鉛管ニ及ボス影響ノ三試験ニ分ツコト、セリ

一、鉛管腐蝕ヲ起セシ場所ノ狀況並ニ其土地ニ於ケル土壤試驗

鉛管腐蝕ヲ起セシ場所ノ土地ハ比較的乾燥シテ其附近ニハ製造工場ノ如キモノ、設立ハ之ヲ見ズ又鉛管腐蝕ノ場所ヲ發掘シ瓦斯管ノ周圍ニ於テ管ノ上部下部ニ於テ、各左右ニケ所ヨリ土壤各々約二千瓦ノ採取ヲナシ直ニ其濕リタル土壤五十瓦ヲ各蒸餾水「リートル」ヲ有スル硝子瓶中ニ投シ劇シク振盪シ五日間靜置シタル後チ上清液ニ付各反應ヲ檢シタルニ何レモ微弱亞爾加里性ヲ呈ス亦「クロール」炭酸、硫酸ハ何レモ僅微ナリキ、尙比較ノタメ衛生試驗所内ノ土壤ニ就テ前同様ノ試驗ヲ遂グルニ其成績敢テ前者ト異ナラズ、之ヲ以テ考フルトキハ鉛管腐蝕ハ土壤ニ何等ノ關係ナキヲ推測シ得ベシ

二、送附ヲ受ケタル腐蝕鉛管ノ調査

送附セラレタル鉛管ハ長サ約一「メートル」ニシテ其兩端約三「デシメートル」宛ハ其質堅固ナルモ中央即チ瓦斯管上ニ交叉セシ部ノ約三「デシメートル」ハ著シク腐蝕シテ其質脆弱ナリ尙其腐蝕部ヲ蒸餾水ヲ以テ洗滌シ其洗滌水ニツキ炭酸、硫酸、ノ定性試驗ヲ施行シタルニ何レモ痕跡ニシテ鉛ハ多量ナリキ、只異様ニ考ヘラル、ハ鉛管ノ瓦斯管上ニ位セシ部分ニ限り斯ク腐蝕ヲ起セシコトニシテ、瓦斯管ト何等カノ關係ナキヤヲ疑ハシメタリ

三、瓦斯ノ鉛管ニ及ボス影響

燈用瓦斯ノ鉛管ニ及ボス影響ヲ調査センニハ可成鉛管ガ腐蝕當時濕潤セル泥土中ニアリシト同様ノ狀態ニ於テ瓦斯ヲ通ゼザル可カラザルモ、泥土中ニ於テハ僅微ナル鉛管ノ變化ハ之ガ檢明至難ナルヲ以テ單ニ普通ノ

水ニ鉛管ヲ浸シ、其水中ニ瓦斯ヲ流通セシメテ鉛管ノ溶解量ヲ以テ其腐蝕程度ヲ認識スルコト、セリ其試驗方法ハ先ツ内溶「リートル」ノ細口硝子壺二個ヲ準備シ其硝子壺ニ水道水各一「リートル」宛ヲ滿シ、而シテ直徑約四「センチメートル」長サ約一「デシメートル」ニシテ重量約二百瓦ノ鉛管一個宛ヲ各硝子壺ニ容レ次デ、二個ノ硝子壺中一個ハ比較試驗ノ爲メ之ヲ其儘保存シ置キ他ノ一個ハ毎日十分乃至三十分時間ツ、數十日ニ亘リ瓦斯ヲ流通セシメテ密栓シ置キ常ニ該硝子壺ノ水ハ瓦斯ヲ以テ飽和セシメ、而シテ時々其水中ニ溶解スル鉛分其他二三ノ試驗ヲ施行シタルニ其成績左ノ如シ

第一 表

水中ニ管鉛ヲ保留シタルモノ

試驗年月日	反 應	固形物總量
大正三年四月二十日 試驗前	弱亞爾加里性	六〇・五〇〇
同 年 五月二日 試驗後	同上	六二・〇〇〇
同 年 五月二十日 試驗後	同上	六六・〇〇〇
同 年 六月廿六日 試驗後	同上	六三・〇〇〇
同 年 七月一日 試驗後	同上	六二・五〇〇
同 年 七月廿一日 試驗後	同上	六三・〇〇〇
同 年 七月廿四日 試驗後	同上	六二・五〇〇
摘 要		

第二 表

燈用瓦斯水中ニ鉛管ヲ保留シタルモノ

試驗年月日	反應	鉛	固形物總量
大正三年四月二十日 試驗前	弱亞里性	ナシ	六〇五〇〇
同五月二日 試驗後	微弱亞里性	〇〇〇〇三	六九〇〇〇
同五月二十日 試驗後	同上	〇〇〇〇五	六六〇〇〇
同六月廿六日 試驗後	中性	〇〇〇〇八	六五〇〇〇
同七月一日 試驗後	同上	〇〇〇一	八四〇〇〇
同七月廿一日 試驗後	微弱酸性	〇〇〇一五	八五〇〇〇
同七月廿四日 試驗後	同上	〇〇〇三三	一〇四〇〇〇
摘要			

備考 前表中鉛ノ數字ハ水「リートル」中「グラム」ヲ以テ示ス固形物總量ハ「ミリグラム」ヲ以テ示ス右二表ノ試驗成績ヲ閱覽スルニ、第一表鉛管保留ノ普通水ハ其反應始終弱亞里性ヲ呈シテ變化ヲ示サズ、鉛分モ一程度マデ溶解シタル後ハ更ニ夫レ以上ノ溶解ハ之ヲ見ズ、固形物總量モ著シキ増加ヲ認メズ、然レドモ第二表ノ鉛管保留ノ瓦斯水ニ於テハ、瓦斯中ニ含有スル亞硫酸炭酸等ノ酸性瓦斯ノ爲メ水ノ亞里性ハ漸次中和セラレ、其結果亞里性ハ變化シテ中性次テ微弱酸性反應ヲ呈スルニ至リ固形物總量モ幾分増加ノ傾キアリ、鉛分ニ於テハ其溶解量漸次増加ヲ示セリ之ヲ以テ考フレバ瓦斯ヲ通ジタル水ノ鉛管ニ對スル腐蝕度ハ比較的多キヲ證明シ得ベシ

結論

一、北區管根崎新地三丁目ニ於テ埋設セシ上水供給用鉛管ノ腐蝕シタルハ其場所ノ土壤ニハ何等關係ナキモノト認ム

一、前三試驗結果ノ如ク瓦斯ヲ通シタル水ノ鉛管ニ及ボス腐蝕度著シキト尙(二)試驗ニ述タル如ク、鉛管ガ瓦斯管上ニ誇リタル部分ニ限リ腐蝕シタルトヲ綜合シテ考フルトキハ今回發見シタル埋設鉛管ノ腐蝕ハ漏泄瓦斯ニ基因シタルモノト堆定シ得ベシ

(三) 沈澱池ニ發生セシ硅藻ニ就テ

大正二年六月二十日ヨリ降雨等ノ原因ナクシテ柴島水源地沈澱池水ニ於テ別表ノ如ク過滿俺酸カリウム消費量源水ヨリ稍々増加セルニヨリ之ガ調査ヲナスニ、沈澱池並ニ濾過池末濾水中ニ無數ノ硅藻發生セルヲ認メタリ其繁殖ノ急劇ナル約九日後ニ於テハ硅藻ノ數著シク増加シ夫ガ爲メ池水甚シク濁濁ヲ來シ其時酌ミ取リタル水ハ瓶ヲ透視スル能ハザル程度ニ達シタリ、最モ肉眼の所見ニヨレバ硅藻ノ數ハ天候並ニ採酌時ニヨリ多少ノ増減アルヲ認メタルモ概シテ漸次増加セリ、茲ニ於テ其處置ニ着手セリ、處置トシテ第一ニ沈澱池水ノ水ハ各地共順次之ヲ放棄セリ、次テ濾過地モ各池トモ之ガ掃除ヲ行ヒ爾後沈澱池ノ水ハ可成流通速度ヲ早ムルニ努メタリ、其結果硅藻ハ漸次減少シ遂ニ驅除スルヲ得タリ而シテ當時發生セシ硅藻ハ調査ノ結果「シネドラ」Synedraノ如シ

濁度	色	過滿俺酸カリウム消費量
河水	沈澱池水	河水
三〇〇	三三〇	三〇〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇

平均	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
均	三十日	二十八日	二十七日	二十六日	二十五日	二十四日	二十三日	二十一日		
二二四	二〇〇	二〇〇	一八〇	一五〇	一五〇	二四〇	二一〇	三〇〇		
二二二	二五〇	一八〇	一四〇	一七〇	一六〇	二六〇	一五〇	二五〇		
二〇二	一八〇	一九〇	一五〇	一九〇	一九〇	三三〇	二五〇	二五〇		
一八二	二〇〇	一八〇	一四〇	一六〇	一七〇	二〇〇	一三〇	二四〇		
五三七四	四七四〇	五三七二	四一〇八	六三三六	四五八二	六九五二	五八四六	六〇〇四		五〇
六九三三	一〇一一二	五八四〇	六〇〇四	六三三六	五〇五六	七六八四	八八二八			

◎東京市報告

(一) 濾過水及ビ水栓水ノ過滿俺酸加里消費量ノ差異ニ就キテ

東京市上水ニ於テ配水後ノ水栓水中ノ細菌數ハ配水前ニアル淀橋淨水場ノ濾過水中ノ其レニ比シ増加スルモノナルコトハ、既ニ報告セル處ナリトス、(遠山博士著東京市改良水道ノ衛生學的觀察)而シテ細菌數ノ増加ニ伴ヒ過滿俺酸加里消費量ノ増加スルコトハ一般ノ水質ニ於テ屢々觀察セラル、事實ナリ、此ノ事實ハ亦本市上水ニ於テモ認メ得ルヤ否ヤ、之レ本研究ノ目的ニシテ明治三十五年ヨリ明治四十三年ニ亘ル九ケ年間ニ於ケル淀橋淨水場濾過水並ビ市内水栓水々質試驗成績ニ基キ調査シタルモノナリ

一、濾過水及ビ市内水栓水ノ過滿俺酸加里消費量年別比較表

年別	淀橋淨水場濾過水		市内水栓水		差異	備考
	試驗回数	過滿俺酸加里消費量(一立中密瓦)	試驗回数	過滿俺酸加里消費量(一立中密瓦)		
明治三十五年	七六四	〇・六一九	二〇五	〇・六四九	(+)	〇・〇三〇
同 三十六年	九一七	〇・五九七	二四一	〇・四七九	(-)	〇・一一八
同 三十七年	九一五	〇・五三四	二四八	〇・五二五	(-)	〇・〇〇九

明治三十八年	九〇八	〇・五四九	二七三	〇・五三六	(-)	〇・〇一三
同三十九年	八七三	〇・五六〇	二四五	〇・五四四	(-)	〇・〇一六
同四十年	八八三	〇・五六九	二四四	〇・五四九	(-)	〇・〇二〇
同四十一年	八六四	〇・五九五	二七七	〇・五七五	(-)	〇・〇二〇
同四十二年	九〇〇	〇・五八三	二七五	〇・五六〇	(-)	〇・〇二三
同四十三年	八七七	〇・五三〇	二八三	〇・四八一	(-)	〇・〇四九
九ヶ年平均		〇・五七一		〇・五四四	(-)	〇・〇二七

二、濾過水及水栓水ノ過滿俺酸加里消費量(自明治三十八年六ヶ年至同四十三年六ヶ年)月別比較表

一	三九五	〇・四九三	一四〇	〇・五二四	(+)	〇・〇三〇
二	四二二	〇・五四三	一三〇	〇・五三六	(-)	〇・〇〇七
三	四六〇	〇・五八四	一五八	〇・五四四	(-)	〇・〇四〇
四	四六一	〇・五九五	一九六	〇・五六六	(-)	〇・〇二九

五	四七八	〇・五四四	一六二	〇・五四八	(-)	〇・〇〇四
六	四八三	〇・五八二	一五八	〇・五六四	(-)	〇・〇一八
七	四八七	〇・六二〇	一五五	〇・六〇三	(-)	〇・〇二七
八	四九五	〇・五八八	五八	〇・五七八	(-)	〇・〇一〇
九	四三九	〇・五五六	九八	〇・四〇二	(-)	〇・〇一四
十	四二四	〇・五四九	一三九	〇・五一八	(-)	〇・〇三一
十一月	四三〇	〇・五〇六	一五五	〇・五一八	(+)	〇・〇二二
十二月	三九三	〇・五四一	一一七	〇・五二三	(-)	〇・〇一八
平均		〇・五五九		〇・五三五	(+)	〇・〇二四

三、濾過水及市内水栓水中ノ細菌數年別比較表

明治三十五年	七六四	三五	二〇五	八八	(+)	五三
同三十六年	九一七	三一	二四一	四二	(+)	一一

明治三十七年	九一五	二二	二四八	三〇	(十)	八
同三十八年	九〇八	一七	二七三	二二	(十)	六
同三十九年	八七三	二七	二四五	三一	(十)	四
同四十年	八八三	二〇	二四四	二二	(十)	五
同四十一年	八六四	二〇	二七七	二二	(十)	五
同四十二年	九〇〇	一四	二七五	二二	(十)	七
同四十三年	八七七	二〇	二八三	二六	(十)	六
九ヶ年平均				三五		二

四、濾過水及び市内水栓水中ノ細菌數 (自明治三十八年六月至同四十三年六月) 月別比較表

三	二	一					
月	月	月	淀橋淨水場濾過水	市内水栓水	差異	備考	
四六〇	四二二	三九五	試驗回数	試驗回数	(十)	六	
			細菌數(一立方仙米中)	細菌數(一立方仙米中)	(十)	三	最
					(十)	八	小

平	十	十	十	九	八	七	六	五	四
均	月	月	月	月	月	月	月	月	月
三九三	四三〇	四二四	四二八	四三五	四八七	四八三	四七八	四六一	
一九	一九	一七	一八	二二	二二	二二	一八	一六	
一一七	一五五	一三九	九八	五八	一五五	一五八	一六二	一九六	
二六	二六	二四	二二	三二	三三	二六	二二	二〇	
(十)	(十)	(十)	(十)	(十)	(十)	(十)	(十)	(十)	
七	七	七	四	二	一〇	四	五	四	
			最						
				大					

結論

- 一、濾過水ハ配水セラル、ニ至リ細菌數ハ増加スルモ過滿俺酸加里消費量ハ却テ減少ス
- 二、市内水栓水中ノ細菌數ハ毎年七、八、九、ノ三ヶ月間ニ於テ最高ノ増加率ヲ示スモ、過滿俺酸加里消費量ノ減少率ハ之レト伴ハズ
- 三、濾過水ト水栓水ノ過滿俺酸加里消費量ノ差異ハ略ホ一定ニシテ「リートル」ニ對シ〇・〇二四乃至〇・

〇二七密瓦ノ間ニアリ

(二) 東京市上水ニ於テ「クロール」ノ定量ニ際シ硝酸銀ノ總消費量ヨリ炭酸鹽ニ對スル消費量ヲ減算スル必要ノ有無ニ就キテ

上水協議會協定試験法ニヨル「クロール」定量ニ際シ硝酸銀ノ總消費量ヨリ炭酸鹽ニ對スル硝酸銀量ヲ減算スル必要ノ有無ニ關シ本市上水ニ就キテ研究シタル成績ナリ

試験方法

- 一、重量法ニヨル「クロール」定量
 - 二、「モール」氏法(協定試験法)ニヨル「クロール」ノ定量
 - 三、「モール」氏法改良「チルマン」氏法ニ據ル「クロール」ノ定量
- 本市上水中ノ「クロール」量ハ百萬分中

最高 三・五五〇瓦
最低 〇・八八八瓦
平均 一・三二三瓦

ナリ因テ試験ハ百萬分中二瓦以下ニ於テ行ヘリ
本市上水ノ硬度ハ

最高 (獨逸度) 一・七七五

最低 一・二五〇
平均 一・四三二

ナリ因テ供試水ニ獨逸硬度一・五五ニ相當スル様ニ重炭酸「カルチウム」(Ca(HCO₃)₂)ヲ加ヘタリ
本市上水ノ「アルカリ」度ハ「エラムス」氏法ニ從ヘバ最高、四一度ナリ因テ供試水ニ此ノ度ニ達スルマデ炭酸曹達溶液ヲ加ヘテ試験セリ其ノ成績次ノ如シ

理論數	蒸餾水	モール氏法	チルマン氏法	モール氏法	チルマン氏法	モール氏法
〇・五	〇・五三一九	〇・五六七四	〇・五三一九	〇・五三一九	〇・五四九六	〇・五六七四
〇・七	〇・七四四七	〇・七八〇一	〇・七八〇一	〇・七八〇一	〇・七八〇一	〇・七八〇一
〇・九	〇・九九二九	一・〇二八三	〇・九五七四	〇・九九二九	〇・九七五二	〇・九九二九
一一	一・一五二二	一・一五二五	一・二〇五六	一・二〇五六	一・二〇五六	一・二〇五六
一三	一・三八二九	一・三八二九	一・三八二九	一・四一八四	一・三八二九	一・三八二九
一五	一・六三一一	一・五九九七	一・六三一一	一・六三一一	一・六三一一	一・六三一一
一七	一・八四三九	一・八四三九	一・七七三〇	一・八四三九	一・八四三九	一・八四三九
一九	二・〇三一一	二・〇三一一	二・〇五六七	二・〇五六七	二・〇五六七	二・〇三一一

二・三	二・一	二・三	二・一	二・三	二・一
二・四一三	二・三三〇	二・四一三	二・三三〇	二・四一三	二・三三〇
二・四四七	二・三三〇	二・四四七	二・三三〇	二・四四七	二・三三〇
二・四四七	二・一九八五	二・四四七	二・一九八五	二・四四七	二・一九八五
二・四四七	二・三三〇	二・四四七	二・三三〇	二・四四七	二・三三〇
二・四四七	二・一九八五	二・四四七	二・一九八五	二・四四七	二・一九八五

右ノ結果ニヨルトキハ本市上水ニ於テハ「クロール」定量ノ際硝酸銀ノ總消費量ヨリ炭酸鹽ニ對スル硝酸銀量ヲ減算スルノ必要ナシト認ム

附言 「チルマン」氏法ハ第十回協議會ニ於テ、南滿州鐵道會社ノ提案ニシテ研究題トナレルモノナルガ本試験ノ結果ハ從來ノ「モール」氏ト比較シテ著シキ優劣ナキモノナルコトヲ示セリ

(三) 各種培養基上ニ於ケル棲水細菌ノ發育數比較表(大正二年度ノ成績)

試験回数	均		
	微	平	菌
一九	肉エツキスゲラチン	肉エツキス寒天	ヘツセ氏ハイデン寒天
三			
二			
一五			

備考 「ゲラチン」ハ二十二度、寒天ハ三十七度ノ孵化器ニテ四日間培養セリ

結論

肉エツキス寒天ハ肉エツキス膠質ニ及バザレドモ、普通寒天ヨリモ(最後參照)棲水菌ノ發育ニ適ス

試験回数	均		
	微	平	菌
四三	肉エツキス寒天	ヘツセ氏ハイデン寒天	
九			
二			

結論

「ヘツセ」氏、ハイデン寒天ハ、ゲラチン培養基ニ及バザレドモ、肉エツキス寒天ヨリモ細菌ノ發育ニ適當ス其他乙培養基ハ、甲培養基ニ於ケルガ如キ棲水菌集落ノ融合(之レガタメ菌數計算ヲ不能トナサシム)ヲ見ルコト稀ナリ

附記 明治四十年ヨリ大正元年ニ至ル六ケ年間ノ肉エツキス膠質及普通寒天ニ於ケル棲水菌ノ發育比較數ハ左ノ如シ

細菌數	普通寒天	
	肉エツキス膠質	普通寒天
1000		
二五八九		

(四) 水菌種類ト季節トノ關係

月別	試驗回数	非液化菌	液化菌	糸狀菌	總平均數
大正二年九月	九一	一〇・六六	二八〇	三・〇九	一六・五五
十月	九六	九・〇二	二〇九	三・〇〇	一四・一一
十一月	一一八	一一・九〇	一八九	五・八一	一九・六〇
十二月	八五	一六・〇一	一八一	三・二四	二〇・九六
大正三年一月	九七	一七・九六	一八七	一・四〇	二一・二二
二月	八六	一八・〇五	二三五	一・〇三	二二・四三
三月	一〇六	一八・二五	二〇八	〇・八六	二一・一七
四月	一〇四	一七・三九	二〇三	一・一一	二〇・五三
五月	一一〇	一一・九〇	二九五	一・五一	一七・三六
六月	一一四	一一・八一	三〇四	一・二一	一六・九六
七月	一二四	一〇・四七	一九九	一・六六	一四・二二
八月	七六	八・五三	二九五	二・三九	一三・八七
平均		一三・六六	二二三	二・一八	一八・一六

結論

- 一、糸狀菌ハ、八、九、十、十一、十二月ノ候ニ多クニ、三、四月ノ候ニ少シ
 - 二、膠質液化菌ハ、五、六、七、八、九月ノ候ニ多ク十一、十二、一、二、三、四月ノ候ニ少シ
- 明治四十年ヨリ大正三年八月迄七年八月間ノ水菌種類ト季節トノ關係ヲ通覽シ結論ヲ下セバ左ノ如シ
- 一、糸狀菌ハ、六、七、八、九月ノ候ニ多ク一、二、三、四月ノ候ニ少ナシ
 - 二、膠質液化菌ハ、五、六、七、八月ノ候ニ多ク一、二、三、四月ノ候ニ少シ
 - 三、非液化菌ハ、十一、十二、一、二、三、四月ニ多ク六、七、八、九月ニ少ナシ
 - 四、總細菌數ハ、十二、一月ノ候ニ最モ多シ

(五) 飲料水ニ對スル「オゾン」殺菌裝置ノ殺菌力實驗

本殺菌裝置ハ「シーメンス」會社ノ特製品ニシテ、水道水栓口ヨリ流出スル以前ノ水ニ「オゾン」發生機ヨリ生ズル「オゾン」ヲ可及的充分ニ接觸セシメテ殺菌スル式也、水壓ハ二・五氣壓(換言スレハ水栓口ヨリノ流量ハ一分間三立三分ノ一ナラザル可カラズ)ヲ要シ又水質中有機物(過滿俺酸加里消費量)ノ含量ハ二十五密瓦ヲ最高限トス試驗成績次ギノ如シ

試驗時ノ一分時排水量ハ三立半也

◎臺灣總督府報告

(一) 鐵管內水温ノ變化

鐵管內水温ノ變化ニ就テハ曩ニ第拾回上水協議會ニ報告セシモ尙ホ今回重ネテ之ヲ説述セントス
抑モ鐵管內水温ノ變化ハ最重要ノ問題ナリ、本島ノ如キ亞熱帶地ニ於テハ一層其感ヲ深クス、河水ヲ源水
トナス水道ニ於テ水温ハ大氣ノ影響ヲ受クル事ハ一般ノ認メラル、處ニシテ、元來大氣ト水トハ比熱ノ差ア
ルガ故ニ、各直接正比例スルモノニアラザルモ其變化ヲ來スベキハ最も大ナリトス、即チ冬期ノ酷寒時ニ於
テハ氷點ニ近ク夏季ニ至レバ八十度以上ニ達スベシ故ニ、各地ニ於ケル水道給水未成前井水ノ使用ニ慣レタ
ル市民ハ水道給水開始後何處モ夏季ハ水温高クシテ冬季低キヲ感ズ、今茲ニ臺北水道ニ於ケル三四年間ノ氣
温ト水道水トノ温度ヲ比較スルニ左表ノ如シ

年	月	水温	氣温
明治四十四年	四	二二	二三
	五	二三	二四
	六	二八	二九
	七	二八	三〇
	八	二七	二八
大正二年	一	一七	一七
	二	一八	一八
	三	二〇	二〇
	四	二二	二二
	五	二二	二二

年	月	水温	氣温
大正元年	六	二七	二九
	七	二八	三〇
	八	二八	二八
	九	二七	二七
	一〇	二四	二四
	一一	二三	二三
	一二	二〇	一九
	一	一八	一七
	二	一七	一八
	三	一九	一九
	四	二二	二二
	五	二四	二四
四十五年	六	二七	二九
	七	二八	三〇
	八	二八	二八
	九	二七	二七
	一〇	二四	二四
	一一	二三	二三
	一二	二〇	一九
	一	一八	一七
	二	一七	一八
	三	一九	一九
	四	二二	二二
	五	二四	二四
三年	六	二七	二九
	七	二八	三〇
	八	二八	二八
	九	二七	二七
	一〇	二四	二四
	一一	二三	二三
	一二	二〇	一九
	一	一八	一七
	二	一七	一八
	三	一九	一九
	四	二二	二二
	五	二四	二四

同	同	同	大正元年
二二	二二	二〇	九
一九	二二	二三	二六
二	五	七	七
一九	二〇	二三	二七
〇	四	八	〇
同	同	同	大正三年
九	八	七	六
二六	二八	二七	二六
七	三	五	四
二七	二九	二九	二七
〇	六	五	五

前回ニ掲載セル統計表ハ明治四十四年四月ヨリ大正二年三月迄ナリシガ、更ニ大正二年四月ヨリ大正三年九月迄ヲ加ヘタルモノニ依レバ、一月二月ノ兩月ハ氣温水温共ニ、十七度内外ヲ示シ七月ニ至リ忽チ二十九度内外ニ昇リ然ル後漸次下降ス、而シテ一月ヨリ九月ニ至ル間ハ水温殆ンド常ニ氣温ヨリ低ク、之ニ反シ九月ヨリ一月迄ハ水温ノ氣温ヨリ稍高キ現象ヲ見ル尙ホ當地ニ於ケル地温觀測ノ結果ニ因レバ、地下一米突ノ地温ハ二月ノ最低十八度ヨリ漸次八月ノ最高二十八度ニ達シ而シテ八月ヨリ二月ニ至ル間ハ漸次下降ス、更ニ氣温、水温、地温ノ三者ヲ比較スルニ水温ハ氣温、地温兩者ノ稍中間ニアルヲ知ル而シテ一月ヨリ九月ニ至ル間ノ水温ハ氣温ヨリ低クシテ九月ヨリ一月ニ至レバ、水温ハ氣温ヨリ高キコトヲ知ル之レニ因リテ考フレバ源水ハ鐵管内ヲ通シ給水セラル、其間地温ノ影響ヲ受クルモノナルコトヲ証スルニ足ルベシ

臺北ニ於ケル地温ヲ見ルニ地下〇・五米突ハ年中平均二十三度内外ヲ示シ八月ノ最高三十度、二月ノ最低十八度即チ最高低ノ差十二度ヲ示ス、更ニ深サ三米突ニ達セバ年中ノ平均温度ハ二十三度内外ニアリ、十月ノ最高二十五度四月ノ最低二十一度ニアリ、最高低ハ一年ヲ通ジ四度ニ過キズ而シテ地温ハ地下ノ深サヲ増ス

ニ從ヒ漸次年中略ホ一定ノ温度ヲ保ツベシ、鐵管埋設ハ深サ大ナルニ從ヒ其工費ヲ増加スルモノナレドモ、氣温、水温、地温ノ三者ハ何レモ關係ヲ有スルモノニシテ地温ハ地下ノ深サヲ増スニ從ヒ高低ノ差少ナキヲ以テ水温ノ高低ヨリ之ヲ推セバ益々其必要ヲ感ズルモノナリ

本島ト滿洲地方トハ寒暑反對ノ氣候ナレドモ兩地ニ於ケル鐵管埋設ハ、防寒若クハ防暑上何レモ相當ノ深サヲ要スルガ如ク、寒暑反對ハ事實上ニ於テ等シク同方法ヲ必要トスルニ至ルベク給水上此等最モ注意ヲ要スルモノナリ

(二) 鑄鐵管ト「マンネスマン」鋼鐵管トノ經濟的得失

何レノ水道ニ於テモ、鐵管費ハ工事費ノ大部分ヲ占ムルモノナルヲ以テ鐵管費ノ經濟ハ大ニ考慮ヲ要スルモノナリ

水道ニ於テ普通使用スル鑄鐵管ハ作用壓力貳百五拾尺以内トス、若シ夫レ以上ニ達セバ漸次其厚ヲ加ヘ隨テ其重量ヲ増スモノトス、島内嘉義水道ニ於テハ七百貳拾五尺ヲ示セル取入口ト水源地參百貳拾尺ノ中間ニ於テ百八拾五尺ノ低地アリテ、地勢上普通水道ニ於ケルヨリモ壓力大ニシテ、七百貳拾尺ト百八拾五尺ノ差五百四拾四尺ニ達ス、故ニ本水道ハ幹線七千九百七間ノ内取入口ヨリ貳千貳百參拾七間ハ、壓力貳百五拾尺以内ナルニヨリ鑄鐵管ヲ採用シ五千六百七拾間ハ鋼鐵管ヲ採用セリ、若シ壓力五百四拾四尺ニ對シ鑄鐵管ヲ採用セントセバ普通鐵管ニ比シ厚サノ増加ト共ニ其重量ヲ増シ從テ價格ニ於テ少ナクトモ二割乃至三割ヲ増加セザル可カラズ

近時鋼鐵管ノ製造進歩ノ結果、價格ハ鑄鐵管ノ夫レニ接近シツ、アリ從テ鋼鐵管ハ高壓力ノ鑄鐵管ニ比シ優ニ其ノ價格ノ廉ナルヲ見ルニ至レリ、今其價格ヲ比較スルニ鑄鐵管口徑拾貳吋厚サ參拾貳分ノ拾九吋長拾貳尺ニシテ、壹本參拾六圓トシ壹尺參圓トセバ五百尺ノ壓力ノモノハ壹尺參圓九拾錢ヲ要ス、然ルニ鋼鐵管ニ於テハ口徑拾貳吋長サ貳拾八尺以上參拾六尺ニシテ壹尺參圓四拾五錢ナリ、試驗壓力每平方吋千百封度以上ニ耐フ如斯高壓管ニ於テ鑄鐵管ハ鋼鐵管ニ比シ割合ニ高價ナルニ依リ、鋼鐵管ヲ使用スルノ經濟上得策ナルヲ知ルベシ、尙ホ鋼鐵管ハ鑄鐵管ニ比シ継手ノ少ナキヲ以テ接合部ノ填充材料ノ節約勞働賃金並ニ埋設時間ノ減少ト重量ハ殆ド其半ナレバ、市街地ヨリ使用場所ニ至ル山野ニ於ケル運搬ノ如キニ至リテハ費用ヲ節約スルヲ得ベシ嘉義地方ハ數年前大地震ノ起リタルコトアリ、若シ今後震災ニ際會スルモ鋼鐵管ハ彈性ニ富ムヲ以テ破裂ノ危險ヲ免ルヲ得ベシ、而シテ耐久力ニ對シテハ鑄鐵管ト鋼鐵管ノ各化合物の性分ト組織其ノ他ノ關係上ニ於ケル優劣ヨリ之レヲ判定ス可キモノナルモ其一例ヲ舉グレバ基隆水道ニ於テ鑄鐵管管理設後既ニ拾數年ヲ經過セリ、最近ニ於テ工事ノ都合上一部ノ敷設換ニ際シ耐久力ヲ觀ルニ毫モ腐蝕ノ狀態ヲ認メズ鋼鐵ヲ以テ鐵管ヲ製造シ之レヲ水道ニ使用スルニ至リタルハ實ニ近來發達ノ新工業ニシテ現今鐵工業社會ニ於テ鋼鐵ハ鑄鐵ヲ壓倒シ鐵道ニ於テハ橋梁ニ家屋建築ニ於テハ屋梁ニ各此材ヲ用フル等其使用範圍ハ愈々多大ナラントス、現時一般土木事業ニ對シ鑄鐵ハ鋼鐵ヲ以テ代用セラル、ノ機運ニ際シ、獨リ鐵管ハ鑄鐵ヲ維持スベキモノトモ思考セラレズ、水道當局者タルモノ鐵管材料トシテ鋼鐵採用如何ハ大ニ考慮ヲ要ス可キ事ト思料セラル、固ヨリ現下我國ニ於テ財政ノ關係上内地品採用ノ時運ニ際シ外國製鋼鐵管ヲ主張スルモノニ

ズ將來我國ニ於テ鋼鐵管製造業ノ起ルヲ期待スルモノニシテ、目下鋼鐵管會社ノ設立ヲ見ルニ何レモ口徑小ナルモノニ止マルヲ以テ其產出進デ大口徑ノモノヲ製出シ一般需要ニ應ズルヲ切望スルモノナリ

(二) 硝酸ノ定量方法ニ就テ

簡單ナル硝酸定量方法トシテ從來應用セラレタル「プルチン」「ジフェニールアミン」以外ニ近來ニ至リ研究セラレタルモノ頗ル多シ、而シテ其ノ主ナルモノニ二三ヲ舉グレバ「(一)ニトロン」法「(二)還元法(硝酸ヲ亞硝酸トナシ定量スルノ法)」(三)「フェニールズルフォン」法「(四)ヒドロストリヒニン」法等ナルベシ
由來硝酸ニ對スル確證的試藥ハ極メテ多シ、然レドモ簡單ニ定量セルニ際シ何レノ場合ニ於テモ適用シ得ルノ方法ハ甚ダ尠キガ如シ「プルチン」及ビ「ジフェニールアミン」ハ其ニ英敏ナル確證的試藥タルモ直ニ變色ヲ來タシ「ニトロン」法ハ比較的少量ナル場合ニ於テ理想的ナルモ水中ニ於ケルガ如ク、極メテ微量ナル場合ニ於テ甚ダ不確實ナルハ先輩ノ實驗ニヨリテ明ナリ、還元法ハ復雜ナル手數ヲ要シ、其ノ他ノ方法モ一得一失ヲ有シ上水中ニ於ケルガ如ク微量ナルモノニ對シ簡單ニ且ツ比較的正確ナル方法ハ未ダ聞カザリシ
稍古キコトニ屬ス Grand und Layoux「フェニールズルフォン」酸及安母尼亞ヲ應用シ「フェニールズルフォン」(酸法)硝酸ヲ「ビクリン」酸安母尼亞ニ變ジ其ノ呈スル黃色層ニヨリ定量セラル可キヲ報告セリ、此方法ハ「プルチン」及ビ「ジフェニールアミン」ノ如ク變色セズ、當時最モ簡單ナル方法トシテ費用セラレタリ、然レドモ研究ノ結果此ノ方法ハ「フェニールズルフォン」酸ノ製造後直チニ使用セザレバ大ナル誤差ヲ來シ且ツ硫酸ト「フェニール」ノ接觸時ニ於ケル溫度ノ高低モ成績ニ誤差ヲ生ズルコトヲ發見セラレ簡單ナル此ノ方法

モ種々ナル不便ヲ來タスニ至レリ

七〇

然ルニ近來ニ至リCaron und Raquet (Annal. chem. analyt. 16, 85—86) 兩氏ハ「フェノールズルフォン」酸以外ノ「フェノール」化合物モ亦此ノ目的ニ應用セラル可キヲ認メ遂ニ「ズルフォザリチル」酸法ヲ選定シ而シテ此ノ方法ニ從フトキハ「フェノールズルフォン」酸法ニ於ケル總テノ欠點ヲ除去シ得可シト報告セリ
余ハ實驗ノ結果「ズルフォザリチル」酸法ハ現今報告セラレツ、アル種々ナル硝酸定量法中簡單ニシテ「フェノールズルフォン」酸ニ於ケル欠點ヲ除去シ得、且ツ英敏度モ「ブルチン」等ニ劣ラザルヲ以テ水中硝酸ノ簡易定量方法トシテ正確ナル方法ノ一ナルヲ信ズルモノナリ左ニ其ノ方法ヲ記ス
檢水二〇c.c. (或ハ少シク多量)ヲ取り一%「サリチル」酸「ナトリウム」液一c.c.ヲ加ヘ重湯煎上ニ蒸發乾燥ス、然ル後濃硫酸一c.c.ヲ徐々ニ加ヘ靜カニ全面ヲ濕ホシ一、二分間放置シ蒸餾水及一〇%安母尼亞水各一〇c.c. (場合ニヨリ或ハ増減ス)ヲ加フ茲ニ生ジタル黄色層ヲ比色定量ス可シ

(四) 硬度ノ定量方法トシテ「クラーク」氏ノ石鹼法ガ誤差ヲ生ズル原因ニ就テ(第二回報告)
前回報告ニ於テ本原因ニ關シ「カルシウム」及「マグネシウム」ハ石鹼液ニ對シ一様ニ作用セズ「カルシウム」ハ大ナル相違ヲ認メザレドモ「マグネシウム」ハ常ニ實際數ニ對シ低キ數ヲ示セルコト及ビ「カルシウム」「マグネシウム」ノ兩混液モ亦「マグネシウム」ノミニ於ケル場合ノ如ク實際數ヨリ低キ數ヲ示セル等ノ實驗成績ニ依リ誤差ヲ生ズル原因ガ主トシテ「マグネシウム」ノ存在ニ起因スルモノナル可キコトヲ報告シ置ケリ、然ルニ近來ニ至リMaster氏ハ (Chem. Soc. Proc. 1913) 本原因ニ關シ左ノ如キ報告ヲナセリ

石鹼法ニ據レル硬度ノ定量方法ハ其ノ使用セル脂肪酸ノ異ナルニ依リ其結果ヲ異ニス、即チ飽和脂肪酸ヨリ作ラレタル石鹼ハ誤差ヲ生ゼザレドモ不飽和ノ脂肪酸ヨリ作ラレタル石鹼ハ常ニ誤差ヲ生ズト、而シテ著者ハ此ノ目的ニ對シ「ミリスチン」酸「カリ」ヲ推選セリ

此ノ報告ハ「クラーク」氏ノ石鹼液ガ誤差ヲ生ズル實驗ト對照シテ興味ヲ有ス、如何トナレバ「クラーク」氏ノ指定シタル脂肪ハ「オレフ」油ニシテ(單鉛硬膏ヨリ作ルヲ以テ)不飽和ナル油酸「グリセリド」ノ八〇%以上ヲ含ム不飽和ナル脂肪酸ヲ以テ誤差ヲ生ズル原因ナリトスンバ「クラーク」氏ノ石鹼液ガ誤差ヲ生ズル原因モMaster氏ノ報ズル說ニ一致ス可シ

此ノ學說發表以來此ノ方面ニ於ケル研究者モ尠カラザルガ如ク既ニ二三ノ報告ヲ見タルモ未ダ此ノ說ヲ非認シタルモノアルヲ聞カズ只ク研究者ノ異ナルニ依リ其ノ推選セル脂肪酸ノ異ナルノミ

余ハ果シテ不飽和脂肪酸ガ誤差ヲ生ズル原因ナルヤ否ヤヲ解決セント欲シMaster氏ノ云ヘル「ミリスチン」酸「カリ」ヲ製セントシタレドモ材料ヲ得ズ止ナク不飽和脂肪酸ノ含量少キ脂肪(可及的沃度數少ナキモノ)ヲ選ビ其ノ「カリ」石鹼ヲ作り「クラーク」氏ノ石鹼液ト比較シタリ、使用シタル脂肪ハ「カカオ」脂、牛脂、椰子油、「ステアリン」酸ノ四種ニシテ苛性加里ヲ以テ鹼化シ「クロールバリウム」液ヲ以テ獨逸十二度ニ對シ四十五c.c.ヲ消費ス可ク製セリ(即チ「クラーク」氏製法ニ從フ)

十二硬度ヲ有スル「クロールカルシウム」液ニ對スル各石鹼液消費量

七一

第一表

	クロールカルシウム量	消費石鹼液量	硬 度	硬 度 數
「クラーク」氏石鹼液	100 c.c.	4400		1169
「カカオ」脂石鹼液	100 c.c.	4450		1185
牛 脂石鹼液	100 c.c.	4350		1152
椰子油石鹼液	100 c.c.	4400		1169
「ステアリン」酸「カリ」液	100 c.c.	4400		1169

第二表

	硫酸「マグネシウム」量	消費石鹼液量	硬 度	硬 度 數
「クラーク」氏石鹼液	100 c.c.	2900		727
「カカオ」脂石鹼液	100 c.c.	3900		1017

十二硬度ヲ有スル「クロールカルシウム」及「硫酸」マグネシウム「ノ同量混液ニ對スル各石鹼液消費量」

第三表

	混 液 量	消費石鹼液量	硬 度	硬 度 數
牛 脂石鹼液	100 c.c.	3400		870
椰子油石鹼液	100 c.c.	3300		841
「ステアリン」酸「カリ」液	100 c.c.	4300		1137
「クラーク」氏石鹼液	100 c.c.	2300		560
「カカオ」脂石鹼液	100 c.c.	3900		1017
牛 脂石鹼液	100 c.c.	3750		971
椰子油石鹼液	100 c.c.	3600		928
「ステアリン」酸「カリ」液	100 c.c.	4400		1160

以上ノ實驗ヲ綜合スルニ不飽和ノ脂肪酸ガ誤差ヲ生ズル主ナル原因ナルヤ否ヤハ尙ホ研究ヲ重スルノ後ニアラザレバ決定シ難カル可キモ其ノ脂肪ノ異ナルニ依リ其ノ成績ヲ異ニセルハ、實驗ノ結果ニ依リテ明ラカナ

リトス、而シテ本實驗ニ依レバ「ステアリン」酸ハ常ニ正確ニ近キ數ヲ示セドモ他ノ三種ハ各場合ニ於テ其ノ成績ヲ異ニセリ

從來使用シ來リタル石鹼液ガ常ニ誤差ヲ生ジ實際ニ使用シ難ク他ノ方法ニ據ラザル可カラザルコトハ豫テ余ノ主張セル所ナリシ、然ルニMaster氏ノ報告ニ依リ又此ノ實驗ニ依リ石鹼液ハ、其ノ製スル脂肪ノ異ナルニ依リ其ノ成績ヲ異ニスルヲ知レリ、之レ確ニ今マデノ石鹼法ニ對シ光明ヲ與ヘタルモノト云ハザル可カラズ、僅ナル此ノ實驗ニ於テスラ「ステアリン」酸加里ノ從來使用シ來タリシ石鹼ニ比シ遙ニ實數ニ近キ結果ヲ示セルヲ知レリ、更ニ尙ホ此ノ研究ヲ進メバ他ノ復雜ナル方法ニ據ラズシニ簡單ナル石鹼法ヲ以テ充分目的ヲ達スルニ至ルモ決シテ難キニアラザル可シ

○新潟市報告

新潟市上水中ニ於ケル硫酸含有ノ原因調査第一回報告

朝鮮ニテ第十回協議會ヲ開催セル際當市ヨリ上水中ニ於ケル硫酸ハ幾何迄飲料トシテ差支ヒナキヤト云フ問題ヲ呈出セルニ他ノ市水道ニ在リテハ、斯カル現象ナキヲ以テ當市ニ於イテ原因調査ノ上第十一回協議會ノ節報告スル様ニトノ決議アリシヲ以テ、大正二年十一月ヨリ大正三年九月迄十一ヶ月間之ガ調査ニ從事セリ、之レガ原因トシテ凡ソ三ツニ區別セリ、前述ノ問題ヲ呈出セル際附言セシ如ク石油會社ニ使用セル硫酸ニ關係アルナラント思ヒシ故ニ之ガ調査ヲ第一ニ施行シタリ、已ニ知ル如ク當市上水ノ源水ハ信濃川ヨリ仰ギ、其ノ信濃川ノ上流ニハ幾多ノ石油會社アリテ此石油會社ニテハ原油ヲ精製スルタメニ多量ノ硫酸ヲ常ニ使用スル故ニ、大正二年十一月最モ石油會社ノ多クアル長岡市ニ行キ同市内ヲ貫流スル川ノ上層並ビニ下層ヲ採水シ同時ニ夫レヨリ上流三里ノ宮内村ニ行キ其沿岸及ビ中流ヲ採酌ノ上試驗ニ供セリ、此宮内村以東ハ全ク石油會社ニ關係ナキ土地ナリ、更ニ本年四月水源調査ニ出張ノ歸途長岡程盛大ナラザルモ同ジク石油精製ノ盛ナル新津町ニ行キ同町内ヲ流ル、河ノ上層及ビ下層ヲ採酌シテ試驗ヲ施行セリ

採酌場所	長岡市内川上層	長岡市内川下層	宮内村沿岸	宮内村中流	新津町内川上層	新津町内川下層
採酌月日	十一月十日	十一月十日	十一月十日	十一月十日	四月二十一日	四月二十一日

天候	温度	湿度	濁度	色度	臭	反	クロール	硫	硝	亞	ア	有	固	細
當前	温	温	度	度	味	應	ル	酸	酸	硝	モ	機	形	菌
日	度	度	度	度	性	力	六	千	千	シ	シ	痕	痕	數
雨曇	一一〇度	八五	二〇	僅石油臭	弱	カ	六	千	ナ	ナ	微			
同	同	同	九二	泥	同	同	七	千	同	同	痕			
同	同	同	九二	臭	同	同	七	千	同	同	跡			
同	同	同	九二	ナ	同	同	七	千	同	同	ナ			
同	同	同	九二	シ	同	同	七	千	同	同	シ			
同	同	同	九二	同	同	同	七	千	同	同	同			
同	同	同	九二	同	同	同	七	千	同	同	同			
同	同	同	九二	石油臭	同	同	七	千	同	同	同			
同	同	同	九二	臭	同	同	七	千	同	同	同			
同	同	同	九二	異	同	同	七	千	同	同	同			
同	同	同	九二	同	同	同	七	千	同	同	同			
同	同	同	九二	同	同	同	七	千	同	同	同			

採水後長岡新津ノ各石油會社技師ニ就キテ洗滌ニ使用セル硫酸ノ行衛ヲ問ヒタルニ殆ンド河川ニ流捨セル旨

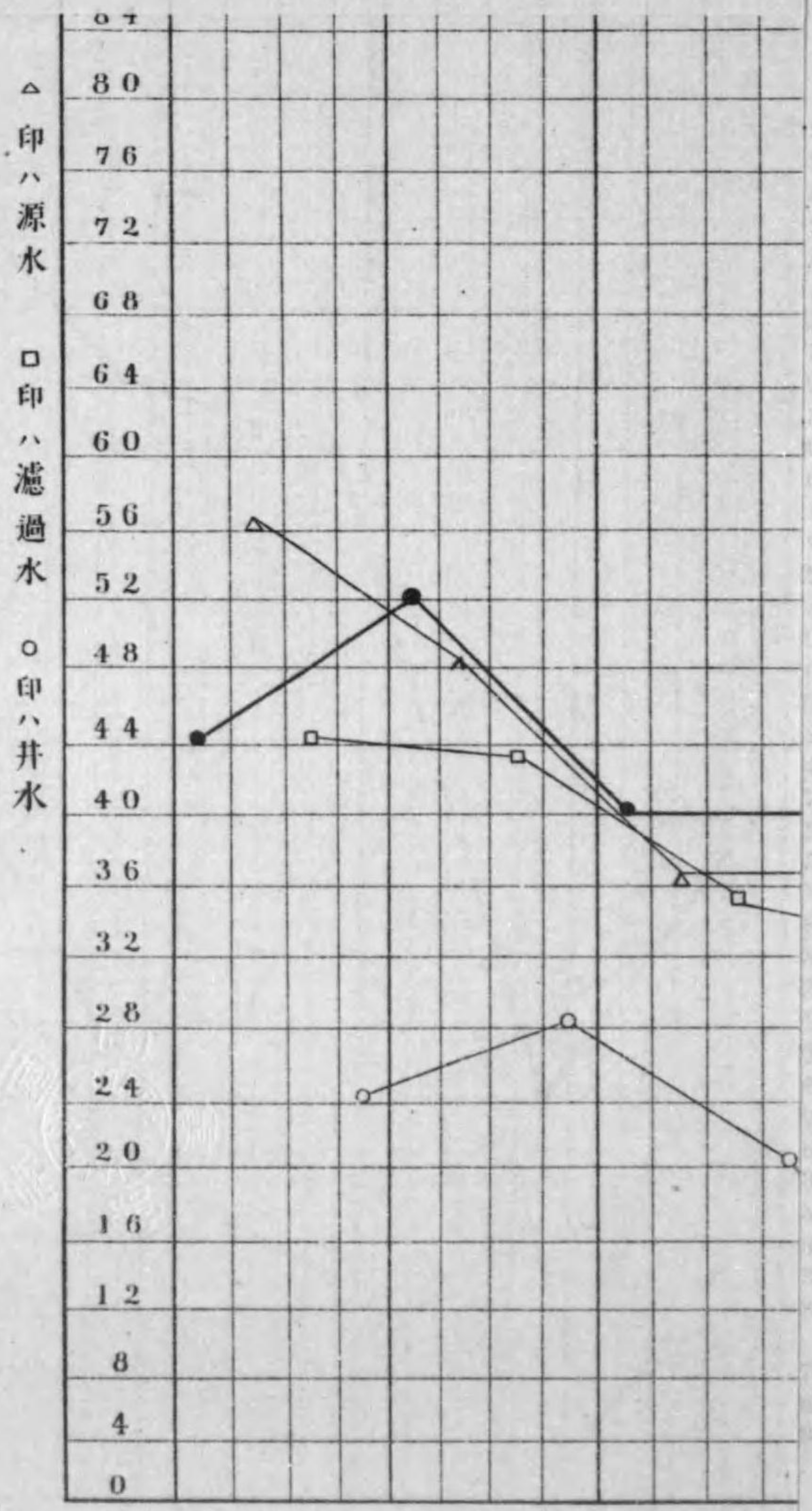
言明スレドモ、長岡ノ或一會社ニテハ更ラニ之レヲ精製スルカ又ハ芒硝トシテ販賣スルト稱セシモ實際ニ就
 キテ調査スル所ニ由レバ、再製スルヨリモ寧ロ新ラシキモノヲ購入スル方經濟ナルヲ以テ他ノ會社ト同ジク
 市内ニ流ル、河水中ニ投入流捨セシムル如シ、以上ノ調査並ビニ試驗成績ニ由テモ信濃川中ニ硫酸含有スル
 最大原因ハ、之レ等ノ上流各地ノ石油會社ニ重大ナル關係アルコト明ラカナリ
 第二ニハ水道布設勸誘ノ目的ヲ以テ、昨秋ヨリ大正三年五六月頃迄市内ヲ十區ニ分ケ、一區ニ就キ平均五六
 ケ所ノ井水検査ヲ施行シタルコトアリ、此ノ時井水中ニモ比較的多量ノ硫酸ヲ含有スルコトヲ發見シ次イデ
 本年四月水源水質調査トシテ當市ヨリ信州國境迄ノ間信濃川ニ流入スル比較的大ナル河川ノ出口十二ヶ所ヲ
 採水ノ上硫酸含有ノ試驗ヲ施行セリ、今二三ノ井水中ニ於ケル硫酸含量ト共ニ其ノ成績ヲ示サン（一般化學
 試驗ハ之レヲ略ス）

採酌場所	採酌月日	硫酸
西川	五月一日	千四分
賀小川	四月十九日	千四分
口中川	四月十九日	千四分
加茂川	四月十九日	千四分
五川	四月二十日	千四分
黒川	四月廿一日	千四分
刈谷田	四月廿一日	千四分
澁海川	四月廿二日	千四分
魚野川	四月廿三日	千四分
清津川	四月廿五日	千二分
信濃國境	四月廿六日	千一分
長岡	四月廿七日	千七分
新津	四月廿七日	千八分
西堀	十二月二日	千四分
四ッ谷	十二月二日	千四分
井翁	九月十八日	千八分
入舟	十月二日	千六分
日和山下	二月二日	千二分

右ノ試験ニ由リテ長岡以東信州國境邊ニ於テモ未ダ二〇——一二密瓦ノ硫酸ヲ含有セリ、尙ホ又當試驗所ニ於テ施行シタルモノニ非ラザルモ新潟縣廳衛生課ニ於テ目下縣内一般ノ飲料水ヲ検査中ニシテ、其ノ試験ノ成績ニ由レバ全ク信濃川ニ關係ナキ土地ノ井水中ヨリモ亦硫酸現ハル、ナリ、以上ノ試験ニ徴スルモ地質即チ天然ニモ尙ホ多少硫酸鹽ヲ含有スルコト疑ヒナキ事實ナリ、而シテ地質ノ何タルヤヲ農商務省地質調査所ニ就キテ取調べタルモ不明ナリシ

第三ノ原因ハ源水ヨリモ寧ロ沈澱水及濾水ニ關係スルモノニシテ、即チ源水ニ少量ニシテ沈澱水及ビ濾水ニ増加スルコトアリ、勿論明礬又ハ礬土ヲ使用セザルトキナリ、即チ當市外ニシテ信濃川ニ沿ヒタル所ニ硫酸會社アリ、此硫酸會社ニテ常ニ亞硫酸瓦斯ヲ發シ風ノ方向或ハ天候ノ如何ニアリテ、甚シキトキニハ市内ニアリテモ鼻腔ヲ刺撃スルコトアリ、斯カル亞硫酸瓦斯ガ、ソレト程遠カラヌ淨水工場ニ吹キ付ケラレテ或ハ沈澱水ノ濾水ニ吸收セルニ基因スルナラント思ハルレドモ此試験ハ未ダ五六回ノ試験ヲナスニ過ギザルヲ以テ確實ナルヤ否ヤ判然セズ

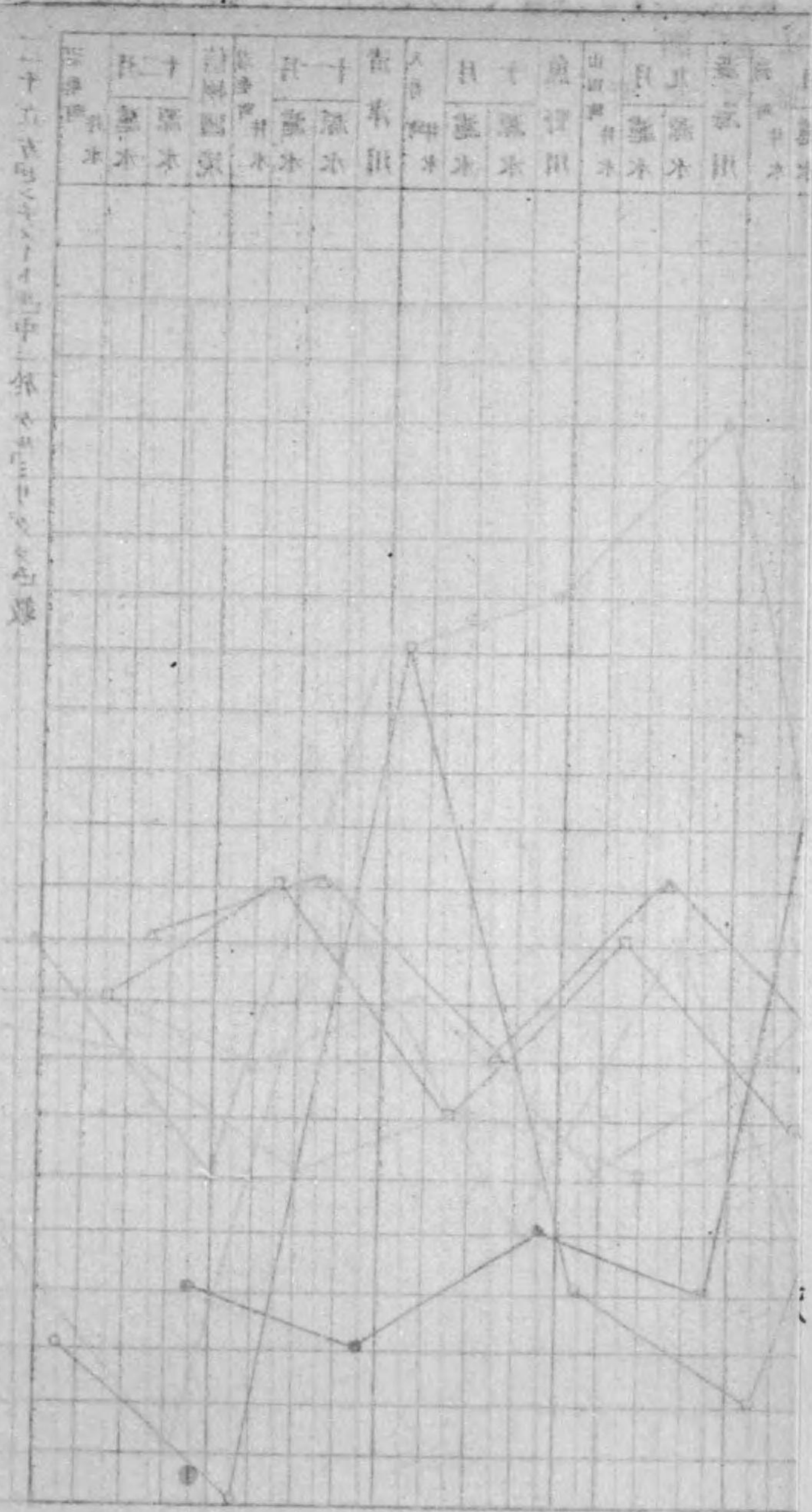
要スルニ本市上水中ニ於ケル硫酸ノ原因ハ略ボ以上ノ三種ニ基スルモノト認ムルコトヲ得ルトモ本年ハ只ダ原因ノミヲ調査セシモノナル故、更ニ「アルカリ」度ト對稱並ビニ第三原因ヲ尙ホ詳細ニ試験ノ上來ル十二回協議會ニ報告セン



萬國原子量表

大正三年(1914)

Ag	銀	107.88	Na	ナトリウム	23.00
Al	アルミニウム	27.1	Nb	ニオブウム	93.5
Ar	アールゴン	39.88	Nd	ネネヂウム	144.3
As	砒素	74.96	Ne	ネオン	20.2
Au	金	197.2	Ni	ニッケル	58.68
B	硼素	11.0	Nt	ニトン(ラザウム エマネーション)	222.4
Ba	バリウム	137.37	O	酸素	16.00
Be	ベリリウム	9.1	Os	オスミウム	190.9
Bi	砒鉛	208.0	P	燐	31.04
Br	臭素	79.92	Pb	鉛	207.10
C	炭素	12.00	Pd	パラヂウム	106.7
Ca	カルシウム	40.07	Pr	プラセオヂウム	140.6
Cd	カドミウム	112.40	Pt	白金	195.2
Ce	セリウム	140.25	Ra	ラザウム	226.4
Cl	塩素	35.46	Rb	ルビヂウム	85.45
Co	コバルト	58.97	Rh	ロヂウム	102.9
Cr	クロム	52.0	Ru	ルテニウム	101.7
Cs	セシウム	132.81	S	硫黄	32.07
Cu	銅	63.57	Sb	アンチモン	120.2
Dy	ヂスプロシウム	162.5	Sc	スカンジウム	44.1
Er	エルビウム	167.7	Se	セレン	79.2
Eu	ユーロピウム	152.0	Si	珪素	28.3
F	弗素	19.0	Sm	サマリウム	150.4
Fe	鐵	55.84	Sn	錫	119.0
Ga	ガリウム	69.9	Sr	ストロンチウム	87.63
Gd	ガドリニウム	157.3	Ta	タンタル	181.5
Ge	ゲルマニウム	72.5	Tb	テルビウム	159.2
H	水素	1.008	Te	テルル	127.5
He	ヘリウム	3.99	Th	トウリウム	232.4
Hg	水銀	200.6	Ti	チタン	48.1
Ho	ホルミウム	163.5	Tl	タリウム	204.0
I	沃素	126.92	Tu	ツリウム	168.5
In	インヂウム	114.8	U	ウラン	238.5
Ir	イリヂウム	193.1	V	ヴァナヂウム	51.0
K	カリウム	39.10	W	タングラム	184.0
Kr	クリプトン	82.92	Xe	キセノン	130.2
La	ランタン	139.0	Y	イトリウム	89.0
Li	リチウム	6.94	Yb	イテルビウム(ネ オイテルビウム)	172.0
Lu	ルテシウム	174.0	Zn	亜鉛	65.37
Mg	マグネシウム	24.32	Zr	ジルコニウム	90.6
Mn	マンガン	54.93			
Mo	モリブデン	96.0			
N	窒素	14.01			



統
計
表

東京市水道統計表 (一)

大正二年十二月三十一日現在

期	著手	敷設年月	工費	水源	取入方法	一平方呎水壓
第一期		明治二十四年十一月	七三六〇八三 <small>四</small>	多摩川	自然流入	
第二期擴張		明治三十三年五月	九二二六〇			
第三期擴張		同 三十八年八月	七〇一、二四			
第四期擴張		同 四十二年四月	二四、四七三			

同

(二)

同

戶計		口		給水	
戶數	人口	戶數	人口	豫定一人一日平均水量	豫定給水人口
二八七八三	一二九八六一	五九七三五	二〇三三三〇	四 <small>方尺</small>	一五〇〇〇〇
明治二十一年十月	明治二十一年十月	大正二年十月	大正二年十月		二〇〇〇〇〇
戶口調査年月	戶口調査年月	戶口調査年月	戶口調査年月	極度給水人口	

同

沈澄池 (三)

大正二年十二月三十一日現在

池數	四	容積	三〇〇〇〇〇 立方米	上部長	七二〇 尺	下部長	六六一 尺	上部幅	三三〇 尺	下部幅	二八一 尺	總深	二〇 尺	有効水深	一四 尺
----	---	----	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	----	------	------	------

同

(四)

同

池數	二四	面積	九四六〇〇 平方尺	上部長	二五八 尺	下部長	二五七 尺	上部幅	一六八 尺	下部幅	一六七 尺	總深	九 尺	濾床厚	四二 尺	濾速	一〇	池數	一	容積	一〇〇〇〇〇〇 立方尺	上部長	二五三 尺	下部長	二五一 尺	上部幅	一七七 尺	下部幅	一七七 尺	水深	一五 尺	有効	一五 尺	芝本郷	淀橋
	二五八		二五七		一六八		一六七		九		四二		一〇		一		一〇〇〇〇〇〇		二二八		二二五		二二五		一五〇		一四八		一五		一五		二二		

同

(五)

同

延長	二、九六八 間	上斷幅	三〇 尺	下斷幅	一〇 尺	溝深	一〇 尺	送水管延長	口徑	一、〇〇〇 尺	一、〇〇〇 尺	一、〇〇〇 尺	三六八五間
延長	同	上斷幅	同	下斷幅	同	溝深	同	送水管延長	口徑	同	同	同	三、五〇五
延長	同	上斷幅	同	下斷幅	同	溝深	同	送水管延長	口徑	同	同	同	二、四二五

同

(六)

同

延長	三九二、三三〇	最大管內徑	三百	最小管內徑	百	專用栓計量栓	四二、二五六	專用栓計量栓引用戶數	一五三、〇四三	共用栓使用戶數	一四四、五三二
----	---------	-------	----	-------	---	--------	--------	------------	---------	---------	---------

同

(七)

大正二年中

配水水量	六、六二八、八三二 立方米	普通計量	二、四〇八、五九一 立方米	特別計量	一、七四、三八四 立方米	其他計量	一、八五、一三五 立方米	市外給水	一、四三〇、三九 立方米	計	二、一九一、一四九 立方米	配水水量ト計量供給水量ノ差	三、九七、七、六七三 立方米
------	---------------	------	---------------	------	--------------	------	--------------	------	--------------	---	---------------	---------------	----------------

本年中に於ケル最大一ヶ月給水量	同上	最小一ヶ月給水量	同上	平均一ヶ月給水量
七月	五八九、八二七 <small>立方米</small>	二月	四一三六、八二九 <small>立方米</small>	五、一三五、七三五 <small>立方米</small>

同

(八)

大正二年度

放任供給水料		常計量供給水料		入		經常費	
專用栓	共用栓	計	普通計量特別計量	計	雑収入	合計	維持費
五七九、五九五	一七八、九二八	七五八、五三三	六一〇、二五二	三〇、一〇五	三二、一〇〇	一六〇、一〇〇	五〇九、〇四一
				六四〇、四五七			二〇、八五八
							五二九、八九九

同

(九)

全市戸口ニ對スル水道使用者ト堀井又ハ河水等使用ノ比

戸數、人口、水道使用戸數ハ大正二年十二月三十一日現在
本市ニハ河水等ノ使用者ナシ
堀井數ハ本市十五區ノ内十一區ハ明治三十九年九月ノ調査ニ係リ他ノ四區ハ調査未濟ニヨリ明治三十六年十月調査ニ據ル
細菌數ハ大正二年度三十八回試験ノ平均數ナリトス

全市ノ戸口	水道使用戸數	堀井使用戸數	堀井ノ數	堀井ノ水質概況
五一九七三五	二九七五四六	九七四五三	一九、〇四八	細菌數
				五四〇七



水道使用戸數ハ例之日本橋、京橋兩區ノ如キ全區水道使用者ニシテ一ノ堀井ナキヲ以テ戸籍上ノ戸數ハ水道使用戸數(水道課調査ノ)ト一致スヘキ筈ナルニ戸籍ハ日本橋區二一、六五六、京橋區四二、五四四ニシテ水道使用戸數ハ日本橋區二〇、一五七、日橋區二四、九五五ナルノ差アリ之レ一戸ノ使用者中ニハ戸籍上ノ二戸以上ヲ含ムモノアルカ爲メナラン
堀井使用戸數ニ付テハ調査材料ナキヲ以テ全市戸數ヨリ水道使用戸數ヲ減シタル數ハ二二二、一八九ニテ此數ハ堀井使用戸數ナリト雖モ實際ハ前項ノ如ク戸籍上ノ數ハ水道課調査ノ數ヨリ大ナルカ故ニ之ヲ直ニ對照スルハ不穩當ナルヲ以テ戸籍上ノ堀井使用戸數ヨリ日本橋、京橋兩區ノ平均割合ヲ標準トシテ二割一分ヲ減シタル數ヲ掲ケ姑ク後日精確ノ統計ヲ得ルノ日ヲ俟タントス

東京市水道統計表(十)
自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	74	72	66	85	75	76
色度	最高	0	0	0	0	0
	最低	0	0	0	0	0
	平均	0	0	0	0	0
濁度	最高	0	0	0	0	0
	最低	0	0	0	0	0
	平均	0	0	0	0	0
臭味	無臭味	74	72	66	85	75
	無臭味	74	72	66	85	75
	無臭味	74	72	66	85	75
反應	中性	0	0	0	0	0
	微弱アルカリ性	0	0	0	0	0
	弱アルカリ性	74	72	66	85	75
格魯兒	最高	1.420	1.420	1.420	1.420	1.420
	最低	1.243	1.243	1.243	1.065	1.243
	平均	1.339	1.314	1.308	1.273	1.285
硫酸痕跡	74	72	66	85	75	76
硝酸痕跡	74	72	66	85	75	76
亞硝酸檢出セズ	74	72	66	85	75	76
安母尼亞檢出セズ	74	72	66	85	75	76
硬度	最高	1.450	1.450	1.425	1.425	1.425
	最低	1.400	1.400	1.375	1.375	1.400
	平均	1.410	1.420	1.400	1.399	1.403
固形物總量	最高	57.000	57.667	66.667	62.000	58.333
	最低	48.333	51.000	50.333	52.000	53.000
	平均	56.378	54.523	58.662	56.231	55.609
過滿俺酸加留膜消費量	最高	0.790	0.711	0.711	0.632	0.553
	最低	0.395	0.395	0.395	0.395	0.395
	平均	0.611	0.531	0.563	0.431	0.442
細菌聚落數	最高	92	194	98	100	88
	最低	4	7	3	1	1
	平均	34	27	23	16	19

濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
76	90	68	65	77	58		培養液シ細菌聚落數ヲ計算スル能ハス依テ平均數中之ヲ省ケリ 本年一月ニ二回、三月ニ二回、七月ニ一回、八月ニ七回、九月六回、十二月ニ五回細菌 臭味、反應、硫酸、硝酸、亞硝酸、安母尼亞ノ數字ハ試驗回数ヲ示シタルモノナリ 平均數ヲ更ニ平均シタルモノナリ 各成分ノ平均數ハ各個ノ試驗ノ總數ヲ試驗回数ヲ以テ除シタルモノ 本表ノ濾過水ハ濾過、淨水池、溜井等ノ中央濾水ヲ謂フ
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
76	90	68	65	77	58		
76	90	68	65	77	58		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
76	90	68	65	77	58		
1.331	2.130	1.864	1.420	1.420	1.420		
1.065	1.154	1.243	1.243	1.154	1.154		
1.198	1.409	1.408	1.324	1.267	1.243	1.306	
76	90	68	65	77	58		
76	90	68	65	77	58		
76	90	68	65	77	58		
76	90	68	65	77	58		
1.575	1.575	1.575	1.425	1.400	1.425		
1.425	1.400	1.425	1.375	1.375	1.400		
1.498	1.550	1.466	1.400	1.399	1.400	1.429	
70.667	77.778	71.000	66.667	58.333	56.667		
60.000	66.667	56.667	51.333	51.667	50.000		
64.399	70.772	63.946	59.831	55.048	54.224	58.852	
0.790	0.790	0.632	0.711	0.632	0.632		
0.395	0.395	0.395	0.395	0.395	0.395		
0.672	0.563	0.528	0.526	0.460	0.502	0.522	
41	78	33	69	31	95		
2	2	1	2	2	2		
13	12	10	13	13	19	18	

東京市水道統計表(七)各種水質試驗成績
自正大二一年一月至大正二二年十二月

備考	市內栓	濾水	沈澄池	源水	種類		試驗回数
					最高	最低	
市內栓ニ七回細菌培養壞液化シ細菌聚落數ヲ計算スル能ハス依テ平均數中之ヲ省ケリ 濾過水ハ第十表全年平均欄ノモノヲ記載ス 記載例ハ第十表(濾過水質試驗成績)ニ同シ	332	882	30	17	17	17	17
	0	0	15	20	0	0	20
	0	0	2	0	2	0	0
	0	0	8	2	2	0	2
	0	0	30	20	0.5	0	20
	0	0	2	30	4	0	4
	332	882	30	17	17	332	17
	332	882	30	17	17	332	17
	332	882	30	17	17	332	17
	1598	2130	1775	1420	1.420	1.598	1.420
	1154	1065	1243	0.532	0.532	1.154	0.532
	1288	1306	1352	1.091	1.091	1.288	1.091
	-	-	-	9	9	-	9
	332	882	30	8	8	332	8
	-	-	-	9	9	-	9
	332	882	30	8	8	332	8
	332	882	30	17	17	332	17
	332	882	30	17	17	332	17
	1450	1575	1575	1.425	1.425	1.450	1.425
	1375	1400	1375	0.525	0.525	1.375	0.525
1406	1426	1426	1.129	1.129	1.406	1.129	
71667	77778	92000	75000	57490	71667	75000	
50000	48333	55000	31333	57490	50000	31333	
56632	58852	65611	57490	57490	56632	57490	
0.711	0.790	2.370	2.765	2.765	0.711	2.765	
0.395	0.395	0.790	0.553	0.553	0.395	0.553	
0.459	0.322	1.162	1.255	1.255	0.459	1.255	
98	194	24500	4400	2294	98	4400	
2	1	400	900	900	2	900	
22	18	3382	2294	2294	22	2294	

東京市水道統計表 (十二)

大正二年	雨	源水	濾水	源水	濾水	源水	濾水	源水	濾水
一	五〇・四耗	二七五	三	一三三九	〇・六一	五八・二五〇	五八・二五〇	五八・二五〇	五八・二五〇
二	八〇・八	一五二五	二七	一三三三	〇・五三二	五九・一六七	五九・一六七	五九・一六七	五九・一六七
三	四六・五	一〇五〇	二二	一三三一	〇・五六三	六二・三三四	六二・三三四	六二・三三四	六二・三三四
四	五九・〇	一六〇〇	一六	一三三一	〇・四三一	五六・一六七	五六・一六七	五六・一六七	五六・一六七
五	一七七・〇	八八五〇	一九	一三三一	〇・四三二	五六・一六七	五六・一六七	五六・一六七	五六・一六七
六	一三七・六	二二五〇	二二	一三三一	〇・四三二	五六・一六七	五六・一六七	五六・一六七	五六・一六七
七	五二・四	一九二五	一一	一三〇九	〇・六七二	六四・三三九	六四・三三九	六四・三三九	六四・三三九
八	二四九・三	五五〇〇	一一	一四〇八	〇・五六三	七〇・七七二	七〇・七七二	七〇・七七二	七〇・七七二
九	二四〇・〇	五五〇〇	一〇	一四〇八	〇・五六三	七二・〇〇〇	七二・〇〇〇	七二・〇〇〇	七二・〇〇〇
十	二〇四・三	五一〇〇	一三	一三〇九	〇・五二六	八三・〇〇〇	八三・〇〇〇	八三・〇〇〇	八三・〇〇〇
十一	九五・四	四五〇〇	一三	一三三二	〇・五二六	六一・六六七	六一・六六七	六一・六六七	六一・六六七
十二	二九・八	一九五〇	一九	一三三三	〇・五〇二	六一・六六七	六一・六六七	六一・六六七	六一・六六七
平均	一一八・五	二六七三	一八	一三〇六	〇・五二二	五八・八五二	五八・八五二	五八・八五二	五八・八五二

備考 雨量ハ東京市水道浄水所ニテ測定シタル各月ノ總雨量ヲ示ス
本表ノ源水ハ沈澄池ヲ採リ濾水ハ中央濾水ヲ採リ凡テ各月平均數ヲ示ス

東京市水道統計表 (十三)

年次	人口	戸數	給水栓數	虎列刺死亡數	腸室扶斯死亡數	赤痢死亡數	三病死亡總數	人口十萬對三病死亡數
明治二十七年	一、二九八、五七六	二九〇、九八六		一一	二四五	三三	二七八	二一、四〇八
同二十八年	一、三二九、七二六	二九四、四五六		一一〇〇	三〇四	三九	二、五四三	一九、二四一
同二十九年	一、三六五、〇六八	二九八、九〇二		二二五	六〇三	一〇八	九二六	六七、八三三
同三十年	一、四〇三、七六九	三〇三、七七一		四六	二五二	六八〇	九七九	六九、七四一
同三十一年	一、四二五、三六六	三一六、五二七		三三	三二六	三〇九	六五七	四六、〇九三
同三十二年	一、四九七、七八四	三二七、七九六	一四、一七三	一〇	三一四	一八三	五〇七	三三、八五〇
同三十三年	一、四九七、五六三	三五五、五一七	四三、七三九	六	三〇二	九九	四〇七	三三、八五五
同三十四年	一、六三〇、八九四	三八一、三八六	三九、五一〇	三	二八五	八四	三七二	二一、八一〇
同三十五年	一、七〇五、〇二八	四〇八、三八八	六七、六六四	三	二四九	一一	三九八	二二、三四三
同三十六年	一、八〇三、五八四	四四七、二一三	七五、二九四	一四	二二八	一四九	三八一	二二、二二五
同三十七年	一、八七〇、六二八	四五八、五三八	七九、八九〇		四八〇	二二〇	六〇〇	三三、〇六九
同三十八年	一、九六九、八三三	四八五、〇三三	八七、五七八		三〇三	七七	三八〇	一九、二一九

同三十九年	二、〇六三、八二八	五〇五、二四一	九七、六六三		四二七	一一五	五四二	二六、二六二
同四十年	二、一四六、〇四三	五二二、五五八	一〇九、一七三	八九	三四一	七四	五〇四	二三、四八五
同四十一年	二、一六八、一五一	五四二、〇九〇	一一八、七七四	四	三四六	九八	四四八	二〇、六六三
同四十二年	一、六二五、〇七九	四二九、一二七	一二七、三六〇		三九〇	九九	四八九	三〇、二二八
同四十三年	一、八〇五、八一二	四六六、一六四	一三五、九三二	一	一、一五九	一〇九	一、二六九	七〇、二七四
同四十四年	一、九〇七、二七二	四八八、〇二五	一〇七、〇八〇		四八九	一七〇	六五九	三四、五五二
同四十五年	二、〇〇九、九八一	五一一、三九四	一四六、一七四	一六八	四八四	四三二	一〇八四	五三、九三二
同正元	二、〇三三、三三二	五一九、七三五	一六七、七二二		四二六	四〇四	八三〇	四〇、八〇二
計				二八二七	七、九四四	三、四八二	一四、二五三	

備考 本市ノ水道ハ明治三十一年十二月開始セリ
給水栓數ハ飲料ニ供スル總テノ水栓數ヲ謂フ

京都市水道統計表 (一)

大正二年十二月三十一日現在

第一期 明治四十二年六月	第二期擴張 同 四十五年七月	著 手 完 成	敷 設 年 月	工 費	水 源	取 入 法	一 平 方 呎 壓
			明 治 四 十 五 年 三 月	二 七 三 九 〇 八 五 五 二 一	琵琶湖	重 力 式	一 定 セ ス

同

(二)

同

戸 設 計 人 口	戸 口 調 査 年 月	戸 數 人 口	戸 口 調 査 年 月	日 平 均 水 量	豫 定 給 水 人 口	豫 定 給 水 人 口	極 度 給 水 人 口

同

沈澄池 (三)

同

池 數	容 積	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	總 深	濾 床 厚 度	池 數	容 積	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	總 深	濾 床 厚 度	池 數	容 積	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	總 深	濾 床 厚 度	
二	二〇、八二六	二二	二二	二二	二二	七六	三九	四	五八二、九一二	一一〇	一一〇	八四	八四	一五	八	二〇	八三二〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

同

(四)

同

池 數	面 積	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	總 深	濾 床 厚 度	池 數	容 積	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	總 深	濾 床 厚 度	池 數	容 積	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	總 深	濾 床 厚 度
二〇	八三二〇	二二	二二	二二	二二	七六	三九	四	五八二、九一二	一一〇	一一〇	八四	八四	一五	八	二〇	八三二〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二

同

(五)

同

延 長 容 積	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	水 深	六 時	三 十 三 十 八	六 時	三 十 三 十 二	八 時	六 時	十 八 十 二	計		
二 一六七八六	一三〇・六	一三〇・六	一一三三	一一三三	五・三	三二二六	一七	一〇二	一九五	三三六	一三八	九四・五	五二	一一七	八八六二

同

(六)

大正三年九月三十日現在

延長	配水管		專用栓及計量栓引用戸數	共用栓使用戸數
	最大	最小		
九一三二八丁五二間	二六時	三五時	一四四〇二	一〇、一三三
			二〇四六	一六四四八

同

(七)

大正二年十二月三十一日現在

配水水量	消費計		特別計	給水量	配水水量ト計
	普通計量	噴水、撒水等用			
配水池ヨリ市内ニ配水セシ水量	一八三、七三三、四〇〇	二四〇、三、九四〇	五、三三三、二七〇	一八九、〇〇〇	一、二八〇、三八六、〇〇〇
	立方尺		湯屋 原動力	七、五四七、五〇〇	一、二八〇、三八六、〇〇〇
本年中ニ於ケル最大一ヶ月給水量	二〇、一八〇、五〇〇				一、五三三、〇一三
同上					
同上					
平均一ヶ月給水量					

同

(八)

大正二年度決算

放任供給水料		常計量供給水料		雑収入		合計		經常費	
專用栓	共用栓	計	普通計量特別計量	計	合計	維持費	修繕費	合計	
〇、〇〇〇、〇〇〇	七、六七九、〇〇〇	二八、九六六、三〇〇	六、六三三、五九〇	五、一七九、一七〇	三三、九八八、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	—	三、四八八、〇〇〇	—

同

(九)

大正二年十二月三十一日現在

全市ノ戸口	水道使用戸數	堀井又ハ河水等使用戸數	堀井ノ數	堀井又ハ河水等ノ水質概況
九一、〇〇五	五〇、七、九一九	一、四、二八一	—	—

京都市水道統計表(十)
自大正二年一月

大正二年		一	二	三	四	五	六
		月	月	月	月	月	月
試驗回数	化學的	8	7	9	9	9	8
	細菌學的	19	13	13	17	20	28
色度	最高	0	0	0	0	0	0
	最低	0	0	0	0	0	0
	平均	0	0	0	0	0	0
濁度	最高	0	0	0	0	0	0
	最低	0	0	0	0	0	0
	平均	0	0	0	0	0	0
臭味	異狀ナシ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
	微弱アルカリ性	シ	シ	シ	シ	シ	シ
格魯兒	最高	4.615	4.693	4.615	4.693	4.693	4.693
	最低	4.438	4.438	4.438	4.438	4.438	4.435
	平均	4.577	4.601	4.595	4.545	4.525	4.622
硫酸	痕跡	5	2	7	7	6	6
	痕跡極少	0	0	0	0	0	0
	檢出セズ	3	5	2	2	3	2
硝酸	檢出セズ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
亞硝酸	檢出セズ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
安母尼亞	檢出セズ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
鹽基度	最高	2.550	2.500	2.500	2.700	2.500	2.500
	最低	2.500	2.100	2.300	2.500	2.200	1.550
	平均	2.506	2.393	2.400	2.500	2.370	2.340
固形物總量	最高	50.000	52.000	48.500	48.500	47.500	52.000
	最低	42.500	44.000	44.500	40.500	44.500	46.000
	平均	46.500	47.214	46.111	45.222	46.056	48.500
過滿俺酸加 留膜脫色量	最高	0.761	0.869	0.790	0.790	0.869	0.790
	最低	0.553	0.553	0.632	0.632	0.632	0.632
	平均	0.659	0.643	0.687	0.730	0.765	0.736
細菌聚落數	最高	122	148	100	80	87	93
	最低	6	15	16	18	18	12
	平均	50	56	46	39	37	53

濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七	八	九	十	十一	十二	平均	備考
月	月	月	月	月	月		
9	9	8	9	9	7		一、本表ノ濾過水ハ濾過槽ニ就キ探酌試驗セルモノヲ云フ 一、表中各月成分ノ平均數ハ該月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ヲ以テ除シタ ル數ナリ
52	62	58	60	54	48		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
シ	シ	シ	シ	シ	シ		
シ	シ	シ	シ	シ	シ		
4.693	4.693	5.148	4.615	4.693	4.615		
4.438	4.438	4.438	4.438	4.438	4.260		
4.613	4.621	4.660	4.517	4.545	4.438		
6	4	7	4	7	7		
1	0	0	0	0	0		
2	5	1	5	2			
シ	シ	シ	シ	シ	シ		
シ	シ	シ	シ	シ	シ		
シ	シ	シ	シ	シ	シ		
2.750	2.800	2.500	2.650	2.600	2.600		
2.350	2.450	2.300	2.000	2.300	2.400		
2.560	2.610	2.460	2.267	2.478	2.540		
53.000	55.500	60.000	56.000	58.500	55.500		
45.000	47.500	51.000	49.500	48.000	48.000		
47.889	50.444	53.375	52.556	51.389	50.571		
0.948	0.869	1.185	0.948	0.790	0.869		
0.790	0.790	0.790	0.761	0.761	0.632		
0.851	0.825	0.879	0.822	0.774	0.756		
127	190	91	356	106	196		
33	24	17	11	18	23		
76	73	50	64	41	73		

京都市水道統計表(二)各種水質試驗成績
自大正二年一月至大正二年十二月

試驗種類	源水	沈澱池	濾過池	市内栓	備考	
					一、市內栓ハ市内定期栓四ヶ所ニ就キ採酌セルモノヲ一括シタルモノナリ	一、本表ノ濾過水ハ濾過槽ニ就キ採酌試驗セルモノヲ云フ
試驗回数	101	101	101	202	一、表中各成分ノ平均數ハ該年度中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ヲ以テ除シタル數ナリ	
色度	最高	0	0	0		
	最低	0	0	0		
	平均	0	0	0		
濁度	最高	32.000	11.000	0	6.000	
	最低	1.500	0	0	0	
	平均	4.559	2.549	0	0.151	
臭味	異常ナシ	シ	シ	シ	シ	
	微弱アリ	シ	シ	シ	シ	
格魯兒	最高	5.148	5.148	5.148	4.976	
	最低	4.260	4.260	4.260	3.151	
	平均	4.697	4.642	4.572	4.566	
硫酸	痕跡	91	35	68	161	
	極少	1	0	1	1	
	痕跡量	9	66	32	36	
硝酸	痕跡	2	0	0	0	
	檢出	99	101	101	202	
	檢出	シ	シ	シ	シ	
鹽基度	最高	2.900	2.800	2.800		
	最低	1.550	1.700	1.550		
	平均	2.726	2.470	2.452		
固形物總量	最高	61.000	61.000	60.000	57.000	
	最低	42.000	42.500	40.500	40.500	
	平均	49.925	51.865	48.819	48.638	
過滿俺酸加量	最高	2.291	1.817	1.185	1.501	
	最低	1.027	0.869	0.553	0.553	
	平均	1.639	1.256	0.761	0.774	
細菌聚落數	最高	6310	2720	356	560	
	最低	430	160	6	16	
	平均	1403	709	55	66	

京都市水道統計表 (十二)

大正二年	雨 量	細菌數		格魯兒量		カメレオン消費量		固形物總量	
		源水	濾水	源水	濾水	源水	濾水	源水	濾水
一	六五・四	一・七二四	五〇	四・七七六	四・五七七	一・三〇四	〇・六五九	四八・〇六三	四六・五〇〇
二	六五・九	一・四二三	五六	四・六八二	四・六〇一	一・四五六	〇・六四三	四七・五〇〇	四七・二二四
三	六六・八	二・七〇四	四六	四・八〇六	四・五九五	一・四九二	〇・六八七	四七・七二二	四六・一一一
四	一六六・九	一・七一八	三九	四・五七一	四・五四五	一・四六六	〇・七三〇	四六・六一一	四五・二二二
五	二四五・三	一・三〇五	三七	四・六九〇	四・五二五	一・五四二	〇・七六五	四六・六六一	四六・〇五六
六	一八二・〇	一・〇八九	五三	四・七四四	四・六二二	一・六二〇	〇・七三六	四九・三二二	四八・五〇〇
七	三七・八	一・三一一	七六	四・七二四	四・六一三	一・六九四	〇・八五一	四七・九四四	四七・八八九
八	一八三・六	一・〇六二	七三	四・八二九	四・六二二	一・六九八	〇・八二五	四九・八八九	五〇・四四四
九	一三一・四	一・二七三	五〇	四・六七一	四・六〇一	一・七六九	〇・八七九	五三・九三八	五三・三七五
十	二二・六	一・四三六	六四	四・六五〇	四・五一七	二・〇二七	〇・八二二	五六・二七八	五二・五五六
十一	一一二・二	九三六	四一	四・七九八	四・五四五	一・八三二	〇・七七四	五三・四四四	五一・三八九
十二	七六・〇	八五三	七三	四・五一四	四・四三八	一・七七二	〇・七五六	五一・七八六	五〇・七五一

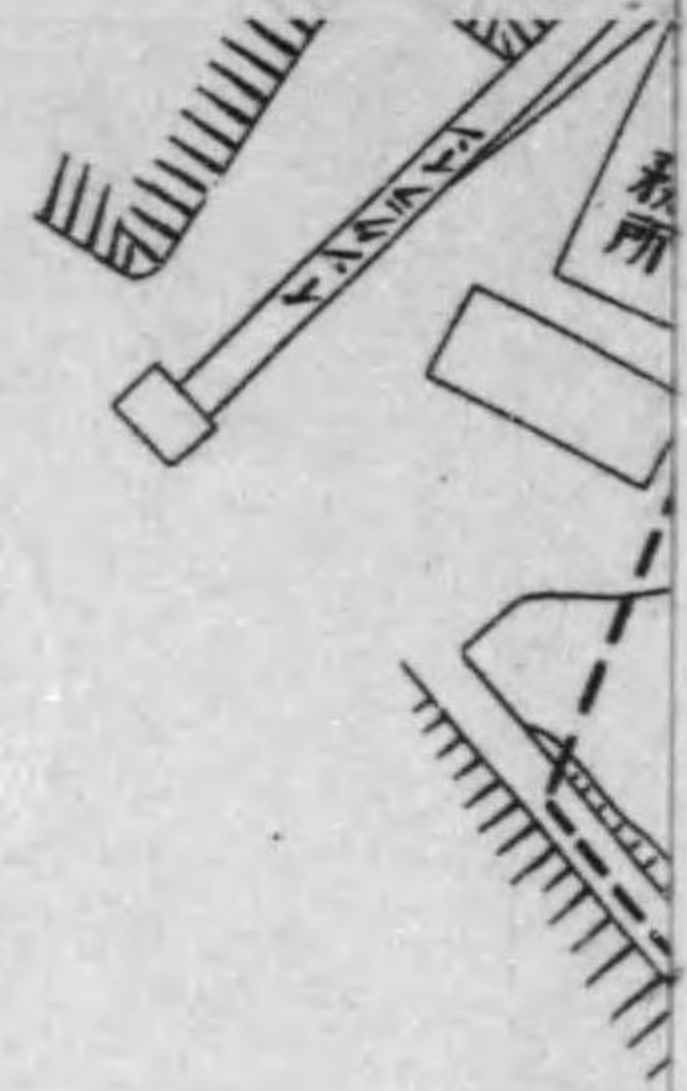
備考 一、雨量ハ大津測候所ニ於テ觀測セル各月總雨量(單位耗)ヲ示ス
 一、本表ノ源水ハ除砂井ヲ採リ濾過水ハ濾過槽ニ就キ採酌試驗セルモノニシテ凡テ各月平均數ヲ示ス
 一、本表ノ濾過水ハ濾過槽ニ就テ採酌試驗セルモノヲ云フ

京都市水道統計表

(十三)

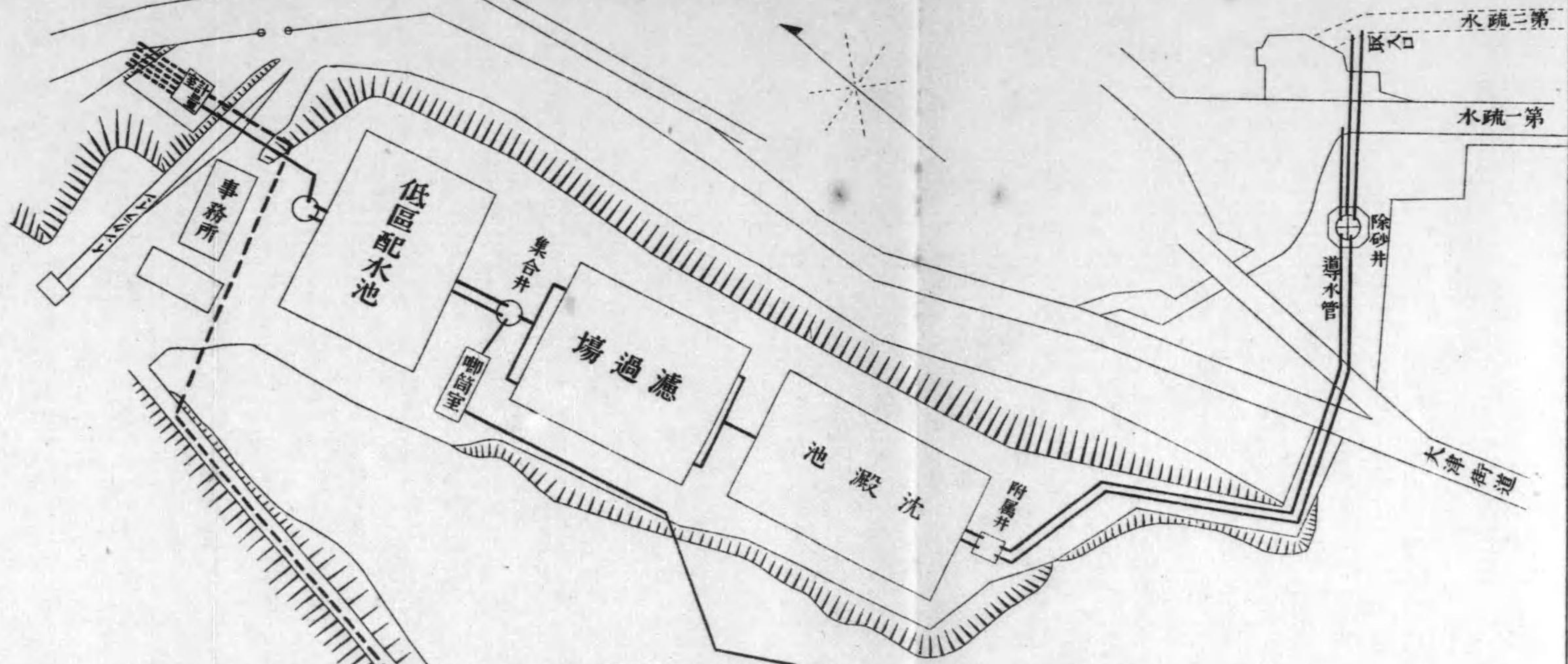
大正二年十二月三十一日現在

年次	人口	戸數	給水栓數	コレラ死亡數	腸チブス死亡數	赤痢死亡數	三病死亡數	人口十萬對三病死亡數
明治四十年	四〇七四三三	七七九七二		一九	一一三	一五四	二九五	七二四
同 四十一年	四四一、二六四	八二〇六八		一四	一四〇	一一四	二六八	六〇七
同 四十二年	四五三〇四六	三八、九四二		一七	一五一	一三七	三〇五	六七三
同 四十三年	四七〇〇三三	八六三〇九		二六	一六七	一九九	四九二	一〇四六
同 四十四年	四八三、一九七	八七、八八三		一一	一三三	二三一	三七五	七七六
同 四十五年	四九五、二九四	八一〇四三	五七八九	五	七〇	一八四	二五九	五二三
大正元年	四九七、一九	九一、〇五	一四、四六七	〇	九八	一六一	二五九	五〇九九
計				一九三	八八一	一一八〇	二二五三	



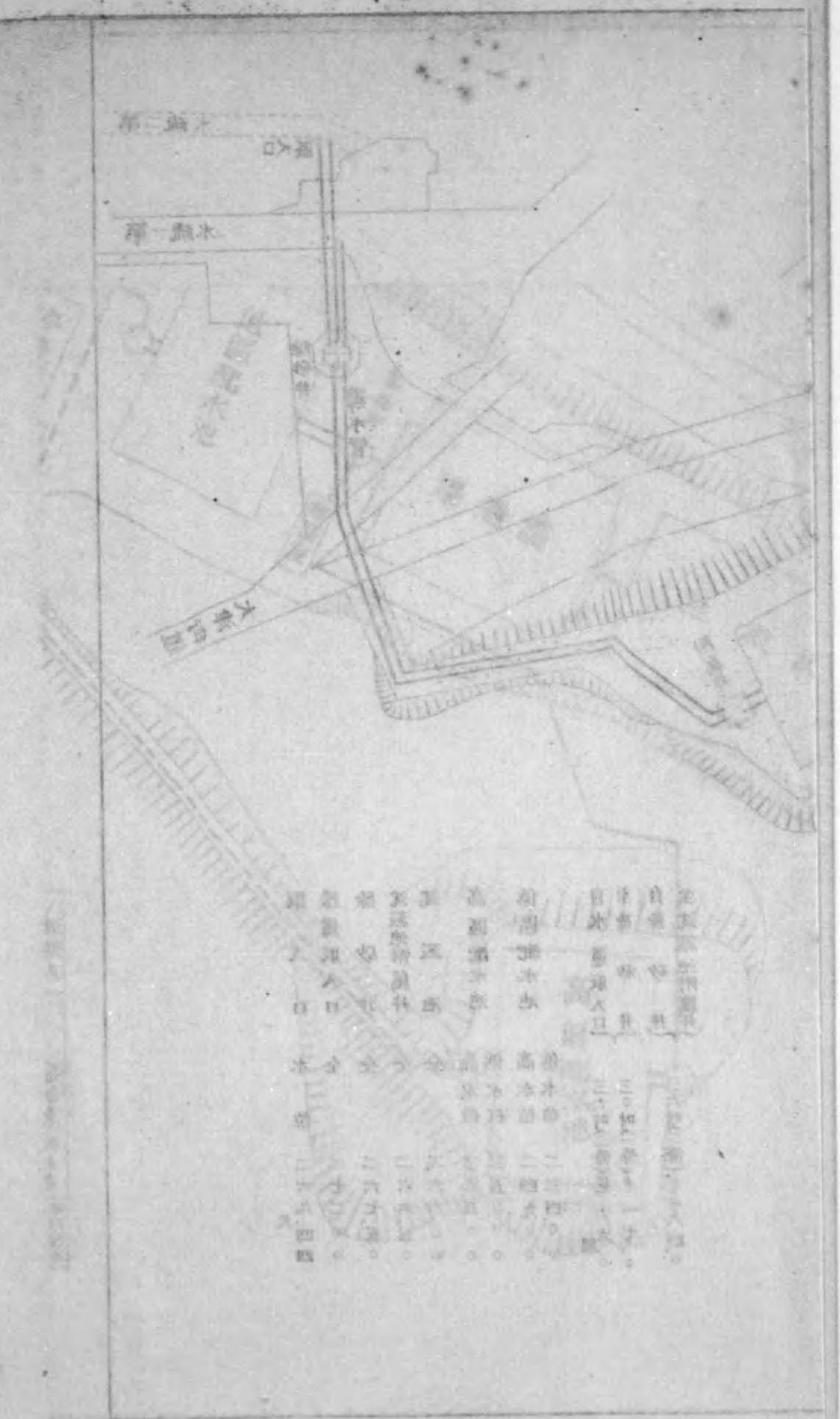
區別	高全長	地盤高	効水頭	勾配
高地區	三三、七九六尺	三三、三八〇尺	五〇〇尺	二、六五
北部幹線	三三、三二八尺	三三、四〇五尺	六〇〇尺	三、〇〇
全區	一三、四六一尺	一三、五八四尺	一、二〇〇尺	五、五〇
東山幹線	二、七八六尺	七、六〇〇尺	八、〇〇〇尺	三、三三〇
低地區	一、八七六尺	九、三〇〇尺	八、〇〇〇尺	三、〇〇〇
南部幹線				
全區				

圖畧水道市都京



距離及 全長	最遠距 地盤高	同上有 効水頭	平均動水 勾尺
區別	全長	最遠距	同上有
高地區	三三九六尺	三三八〇尺	五〇〇尺
北部幹線	三三三八尺	三三四五尺	二六五尺
全區	三三三八尺	三三四五尺	三〇〇尺
南部幹線	一三四六一尺	一五〇八四尺	五五〇尺
東山幹線	二七八六尺	七八六〇尺	三三〇尺
低地區	二七八六尺	七八六〇尺	三三〇尺
北部幹線	一八七六尺	九三〇尺	八〇〇尺
全區	一八七六尺	九三〇尺	三〇〇尺
南部幹線			

取水入口	水位	二六九、四四
豫備取水入口	全	二七二、〇〇
除砂井	全	二六七、五〇
沈澱池附屬井	全	二六六、五〇
沈澱池	全	二六六、〇〇
高區配水池	高水位	三六五、〇〇
	低水位	三五〇、〇〇
低區配水池	高水位	二四九、〇〇
	低水位	二三四、〇〇
自水道取入口	三六吋(二條)管	三六六、〇〇
至除砂井	三〇吋(一條)管	三〇七、一七、〇
自除砂井	三六吋(二條)管	一六四、〇
至沈澱池附屬井		



大阪市水道統計表 (一)

大正二年度末現在

期	著手設		年月	工費	水源	取入ノ方	一平方時水
	數	手					
第一期	明治二十五年八月	同	明治二十八年十月	三二八八八三	淀川	唧筒式	平均動水壓三十五封度
第二期擴張	同	同	同	七八七三四五	同	同	同
第三期擴張	同	同	同	八七五四八七一	同	同	同

同

(二)

同

戶設		口計		時	口		給		水
數	人	口	口		戶口調查年月	戶數	人口	日平均水量	
一〇〇一七八	四七二二四七	明治二十二年	三〇一〇六一	一三八八、九〇九	大正二年	十二月末	立方尺三年	一五〇〇〇〇〇	一

同

(七)

大正二年度

配水水量	普通計量	特別計量	其他ノ用計量	計	市自身ニ使用シタル水量防火栓用及管末排水等
	消費	費	給	水量	
本年中に於ケル最大一ヶ月給水量	一六九、三四六、四二六 石	—	—	—	—
同上	—	—	—	—	—
本年中に於ケル最小一ヶ月給水量	—	—	—	—	—
同上	—	—	—	—	—
平均一ヶ月給水量	—	—	—	—	—

同

(八)

同

専用使用料	共用使用料	雑収入	合計	維持費	修繕費	合計
七、一五七、九 円	四、四八八、二 円	六、四七、八八一 円	一、七七四、三四二 円	四、四二、二二六 円	—	四、四二、二二六 円

同

(九)

大正二年度末現在

全市ノ戸口	水道使用戸數	堀井又ハ河水等使井戸數	堀井數	堀井又ハ河水等ノ水質概況
一九八、〇四二	一、八二六、九三	一、五三四、九	調査材料ナシ	水質不良

大阪市水道統計表(六) 櫻宮
自大正二年一月

大正二年			一	二	三	四	五	六
年			月	月	月	月	月	月
試驗回数			22	23	25	25	27	25
色度	最高 最低 平均	高低	0	0	0	0	0	0
		均	0	0	0	0	0	0
		平均	0	0	0	0	0	0
濁度	最高 最低 平均	高低	0	0	0	0	0	0
		均	0	0	0	0	0	0
		平均	0	0	0	0	0	0
臭味	無 無 中	臭味	22	23	25	25	27	25
		無	22	23	25	25	27	25
		性	0	0	0	0	0	0
反應	微弱 弱	アルカリ性	0	0	0	0	0	0
		アルカリ性	22	23	25	25	27	25
		性	22	23	25	25	27	25
格魯兒	最高 最低 平均	高低	7.000	8.000	8.000	7.500	7.000	7.000
		均	6.000	5.500	6.500	5.500	6.000	5.500
		平均	6.341	6.457	7.000	6.260	6.400	6.160
硫酸痕跡		22	23	25	25	27	25	
硝酸痕跡		22	23	25	25	27	25	
亞硝酸檢出	セ	22	23	25	25	27	25	
安母尼亞檢出	セ	22	23	25	25	27	25	
硬度	最高 最低 平均	高低						
		均						
		平均						
固形物總量	最高 最低 平均	高低	61.000	60.000	68.000	65.000	66.000	64.000
		均	50.000	48.500	44.000	47.000	47.000	48.000
		平均	57.182	55.348	50.160	55.115	57.400	55.240
過滿侖酸加 留膜脫色量	最高 最低 平均	高低	2.844	4.108	3.476	2.528	3.472	3.160
		均	1.896	2.212	1.378	1.896	2.212	2.084
		平均	2.542	2.659	2.054	2.330	2.727	2.675
細菌聚落數	最高 最低 平均	高低	53	104	87	17	27	140
		均	5	7	3	4	3	7
		平均	17	28	25	11	15	23

水源池濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七	八	九	十	十一	十二	平均	備考
月	月	月	月	月	月		
26	26	25	25	25	25		臭味ハ異狀ヲ呈シタルコトナシ 硫酸、硝酸、亞硝酸、安母尼亞、臭味、反應ノ數字ハ試驗回数ヲ示ス ヲ更ニ平均シタルモノナリ 各成分ノ平均數ハ各成績ノ總數ヲ試驗回数ヲ以テ除シタルモノ、同年平均ハ各月ノ平均數 本表ノ濾過水ハ濾過池(量水池)ノ濾水ヲ云フ
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
26	26	25	25	25	25		
26	26	25	25	25	25		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
26	26	25	25	25	25		
7.000	7.500	7.500	7.000	7.000	7.000	7.292	
5.500	6.000	6.000	5.000	5.500	6.000	5.750	
6.750	6.493	6.700	6.440	6.479	6.400	6.549	
26	26	25	25	25	25		
26	26	25	25	25	25		
26	26	25	25	25	25		
26	26	25	25	25	25		
94.000	85.000	77.000	75.500	64.000	64.000	70.292	
50.000	48.000	56.000	52.000	46.000	48.000	48.708	
59.731	65.135	66.680	57.340	55.760	53.580	52.910	
2.896	2.999	2.844	2.844	2.844	2.999	3.085	
1.980	2.212	2.212	1.898	1.898	1.898	1.985	
2.434	2.572	2.478	2.402	2.448	2.352	2.430	
28	42	38	58	36	61	58	
11	9	6	9	8	12	7	
15	16	13	23	16	34	19	

大阪市水道統計表(左) 柴島
自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	
試験回数							25
色度	最高	最低	平均				0
							0
							0
濁度	最高	最低	平均				0
							0
							0
臭味	無	無	臭味				25
							25
							25
反應	中	微弱	アルカリ性				0
							0
							25
格魯兒	最高	最低	平均				7.000
							6.000
							6.560
硫酸痕跡						25	
硝酸痕跡						25	
亞硝酸檢出						25	
安母尼亞檢出						25	
硬度	最高	最低	平均				70.000
							51.000
							58.240
固形物總量	最高	最低	平均				2.999
							2.372
							2.774
過滿俺酸加 留膜脫色量	最高	最低	平均				156
							6
							29

新水源池濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
26	26	25	25	23	25		柴島水源池ハ大正二年五月二十八日ヨリ給水ヲ開始セリ 臭味ハ異常ヲ呈シタルコトナシ 硫酸、硝酸、亞硝酸、安母尼亞、臭味、反應ノ數字ハ試驗回数ヲ示ス ヲ更ニ平均シタルモノナリ 各成分ノ平均數ハ各試驗ノ總數ヲ試驗回数ヲ以テ除シタルモノ、同年平均ハ各月ノ平均數 本表ノ濾過水ハ濾過池(量水池)ノ濾水ヲ云フ
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
26	26	25	25	23	25		
26	26	25	25	23	25		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
26	26	25	25	23	25		
7.500	7.500	8.000	8.000	8.000	7.500	7.643	
6.000	6.500	6.000	6.000	6.000	6.000	6.071	
7.000	7.135	6.980	6.720	6.957	6.760	6.873	
26	26	25	25	23	25		
26	26	25	25	23	25		
26	26	25	25	23	25		
26	26	25	25	23	25		
96.000	88.000	87.500	74.000	63.000	61.000	77.071	
55.500	54.000	54.000	53.000	52.000	48.000	52.500	
61.154	68.938	70.310	58.400	55.780	57.323	61.449	
3.160	3.792	2.999	3.476	2.999	2.844	3.181	
2.212	2.054	2.212	2.054	2.054	1.898	2.122	
2.406	2.717	2.547	2.597	2.459	2.461	2.609	
133	46	29	91	99	74	89.7	
9	8	8	11	8	14	9	
29	19	19	37	30	30	28	

大阪市水道統計表(十一ノ二) 柴島水源池
各種水質試験成績 大正二年自六月至十二月

験水種類	源水	沈澱池	濾過池(量水池)	市内栓	備考
試験回数	177	177	175		記載例ハ第十一表一ニ同シ 市内栓ハ第十一表ノ一ニ同シ
色度	最高	699.9	52.5	0	
	最低	10.0	8.0	0	
	平均	22.4	15.8	0	
濁度	最高	150.0	47.5	0	
	最低	8.5	7.0	0	
	平均	22.9	15.6	0	
臭味	無臭味	177	177	175	
	無臭味	177	177	175	
	中性	0	0	0	
反應	微弱アルカリ性	0	0	0	
	弱アルカリ性	177	177	175	
	弱アルカリ性	177	177	175	
格魯兒	最高	9.000	8.000	8.000	
	最低	5.500	6.000	6.000	
	平均	7.149	7.143	6.873	
硫酸痕跡	177	177	175		
硝酸痕跡	177	177	175		
亞硝酸檢出セス	177	177	175		
安母尼亞檢出セス	177	177	175		
硬度	最高				
	最低				
	平均				
固形物總量	最高	493.500	106.000	96.000	
	最低	48.000	43.000	48.000	
	平均	87.278	71.251	61.449	
過滿俺酸加留膜脱色量	最高	41.712	10.112	3.792	
	最低	3.630	2.212	1.896	
	平均	6.012	5.445	2.609	
細菌聚落數	最高	7,360	3,230	156	
	最低	255	125	9	
	平均	1,813	945	28	

大阪市水道統計表(十一ノ一) 櫻島水源池
各種水質試験成績 大正二年自一月至十二月

験水種類	源水	沈澱池	濾過池(量水池)	市内栓	備考
試験回数	299	299	299	598	臭味、反應、硫酸、硝酸、亞硝酸、安母尼亞ハ試験數ヲ示ス モノナリ 濾過水ハ第十表ノ全年平均欄ノモノヲ記載ス市内栓ハ定期採酌場所六ヶ所ヲ平均ヲシタル
色度	最高	666.0	60.0	0	
	最低	8.0	2.0	0	
	平均	24.0	15.3	0	
濁度	最高	534.0	60.0	0	
	最低	9.0	3.0	0	
	平均	24.1	16.0	0	
臭味	無臭味	299	299	299	
	無臭味	299	299	299	
	中性	0	0	0	
反應	微弱アルカリ性	0	0	0	
	弱アルカリ性	299	299	299	
	弱アルカリ性	299	299	299	
格魯兒	最高	9.000	8.500	8.000	
	最低	5.000	5.000	5.500	
	平均	6.908	6.636	6.549	
硫酸痕跡	299	299	299	598	
硝酸痕跡	299	299	299	598	
亞硝酸檢出セス	299	299	299	598	
安母尼亞檢出セス	299	299	299	598	
硬度	最高				
	最低				
	平均				
固形物總量	最高	534.000	94.000	94.000	
	最低	51.000	52.000	44.000	
	平均	78.554	64.816	52.910	
過滿俺酸加留膜脱色量	最高	39.654	10.744	4.108	
	最低	3.318	3.160	1.896	
	平均	5.974	4.643	2.430	
細菌聚落數	最高	10,650	6,300	140	
	最低	430	98	3	
	平均	2,047	1,231	19	

大阪市水道統計表 (十二)

大正二年	櫻宮水源		柴島水源	
	細菌數	格魯兒量	細菌數	格魯兒量
一月	一五〇〇	六・三〇一	一七	二・五四二
二月	一九三六	六・四五七	二八	二・六五九
三月	二二四六	七・〇〇〇	二五	二・〇五四
四月	一六〇三	六・二六〇	一一	二・二九九
五月	一四五〇	六・四〇〇	一五	二・七二七
六月	八一九	六・一六〇	二三	二・六七五
七月	六六七	六・七五〇	一五	二・四三四
八月	五七一	六・九四三	一六	二・五七二
九月	九〇九	六・七〇〇	一三	二・四七八
十月	一三三二	六・四四〇	二三	二・四〇二
十一月	一四一二	六・四七九	一六	二・四四八
十二月	一四三五	六・四〇〇	三四	二・三五二
平均	一三三一	六・四四九	一九	二・四三〇
雨量	四五・五			

備考 雨量ハ大阪一等測候所内ニ於テ測定シタル各月總雨量ヲ示ス
 本表ノ源水ハ沈澱池ヲ採リ濾水ハ濾過池(量水池)ヲ採リ各月平均ヲ示ス
 柴島水源池ハ大正二年五月二十八日ヨリ給水ヲ開始セリ

大阪市水道統計表 (十三)

年次	人口	戸數	給水栓數	虎列刺死亡數	腸窒扶斯死亡數	赤痢死亡數	三病死亡總數	人口十萬對三病死亡數
明治三十二年	八四九、一七一	一九四、六八四	三三、四二一	九	六一	七八	一四八	一七・五
同三十三	八八一、三四四	二〇四、八七二	二五、〇七七	五	一〇八	五三	一六六	一八・八
同三十四	九二一、六一七	二二一、三三三	三八、三九四		六九	二八	九七	一〇・五
同三十五	九五、四九六	二二二、五二二	四一、六四〇	六一	六	四七	七二六	一・四
同三十六	九八、七二八	二二一、四九五	四三、九七一		五六	八八	一四四	一・四
同三十七	一〇、二六七	二三八、九六九	四五、四七九		五四	六二	一一六	一・三
同三十八	一〇、六九四	二四四、四六五	四七、五四〇		一一四	六二	二七八	二・六〇
同三十九	一一、一七一	二五〇、五三六	四九、八二二		一一二	八三	二〇五	一・八四
同四十	一一、七二一	二七一、三〇〇	五二、六三六	八六	一〇六	六七	二五九	二・二一
同四十一年	一二、一七六	二七八、七七六	五五、一一二	一	一一六	六三	一八〇	一・四八
同四十二年	一二、〇四五	二七七、〇八五	五八、三六三	三	一四六	五八	二〇七	一・七二
同四十三年	一二、三九三	二八六、四九四	六五、一六五	三五	一一二	六一	六三八	五・一五
同四十四	一二、七三六	二九四、〇三五	七一、一八八	二	一三一	九一	四一四	三・二五
大正元年	一、三三三	三〇六、七三一	七六、七八一	九	三五三	七八	五二二	三九・二
同二年	一、三八九	三〇一、〇六一	八一、八六六		二九三	四四	三三七	二四・三

備考 本市水道ハ明治二十八年ヨリ給水ヲ始ム、給水栓數ハ飲料ニ供スル總テノ水栓數ヲ謂フ

堺市水道統計表

(一)

大正三年三月三十一日現在

第一期	著手	完成	工費	水源	取入方	一平方呎
	明治四十一年八月	明治四十三年三月				

同

(二)

同

戸設	計	當	時	戸	口	給	水	
								戸口調査年月
一〇、九〇七	五四、九四〇	明治三十八年十二月末日	一二、七九九	六七、三九九	大正二年十二月末日	立方尺 三〇	六〇〇〇	八〇〇〇

同

沈澄池

(三)

同

池數	容積	上部	下部	池	幅	深	有効水深
二	三、四〇〇、〇〇〇	五二〇尺	四八四尺	二六〇尺	二三四尺	一八尺	一五尺

同

(四)

同

池數	面積	上部	下部	池	幅	深	有効水深							
								二四、〇〇〇平方尺	一〇〇尺	九九尺	六〇尺	五九尺	八二〇	四尺
四	二四、〇〇〇	一〇〇	九九	六〇	五九	八二〇	四	一〇	七二、一〇五	一〇四、五	一〇四、五	六九	六九	一〇

同

(五)

同

延長	斷	溝	面	導	水	管	延	長	通	水	管	延	長

同

延 長 最 大 最 小	鐵 管 內 管 徑	專用栓及計量栓引用戶數	共用栓 使用戶數
		計量栓	計
三八六三〇	一六吋	四二五九	九二三
	三吋	五〇八二	三六三二

(六)

同

同

配水水量	普通計量	噴水、撒水等用	特別計量	其他ノ用	計	配水水量ト計 量供給水量ノ差
五八三四五二三	二四八二四一九	七六六			二四八三、一八五	三三五、三三八
本年中之於ケル最大一ヶ月給水量	同上	同上	同上	同上	同上	平均一ヶ月給水量
六月	六、一五、一九三	二月	四、六、二、二〇八			五、三、七、四三

(七)

同

同

(八)

大正二年度

同

(九)

大正三年三月三十一日現在

放任 專用栓	供給 共用栓	計量 普通計量特別計量	供給 特別計量	收入 雜收入	合計	維持費	修繕費	合計
一五、一七三	四、一八七	一三〇、二五	三、四	一、〇	三三、四一九	二、五三三	三、四二	二、八六四
一、二、七、九九	六、七、三、九九	八、七、一、四	四、〇、八、五	堀井ノ數	堀井又ハ河水 等使用戶數	調査材料ナシ	堀井又ハ河水等ノ水質概況	本市ニハ河水ヲ使用スル 者ナシ水質ハ概シテ不良

全市ノ戸口	水道使用戶數	堀井又ハ河水 等使用戶數	堀井ノ數	堀井又ハ河水等ノ水質概況
一、二、七、九九	六、七、三、九九	四、〇、八、五	調査材料ナシ	本市ニハ河水ヲ使用スル 者ナシ水質ハ概シテ不良



堺市水道統計表(十)
自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	4	4	5	4	4	4
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無臭	4	4	5	4	4
	微弱	4	4	5	4	4
	中
反應	アルカリ性	4	4	5	4	4
	アルカリ性	4	4	5	4	4

格魯兒	最高	15.000	15.000	16.000	16.500	14.000
	最低	14.000	15.000	14.500	15.000	12.500
	平均	14.700	15.000	15.200	15.700	13.200
硫酸痕跡	4	4	5	4	4	4
硝酸痕跡	4	4	5	4	4	4
亞硝酸檢出	4	4	5	4	4	4
安母尼亞檢出	4	4	5	4	4	4
硬度	最高
	最低
	平均
固形物總量	最高	106.000	106.000	108.000	98.000	113.000
	最低	83.000	95.000	86.000	81.500	81.000
	平均	96.000	100.000	93.000	91.000	92.000
過滿俺酸加留膜脱色量	最高	3.476	4.112	3.634	4.424	3.160
	最低	2.686	3.160	2.528	2.686	2.686
	平均	3.199	3.477	3.002	2.180	2.922
細菌聚落數	最高	56	85	42	48	55
	最低	19	30	6	12	22
	平均	40	65	24	24	37

濾過水質試驗成績
自大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
5	4	5	4	4	4		一、臭味、反應、硫酸、硝酸、亞硝酸、安母尼亞ハ試驗回数ヲ示ス 一、各月ノ平均ハ當月ニ施行シタル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ヲ以テ除シタルモノナリ 一、全年ノ平均ハ各月ノ平均ヲ更ニ平均シタルモノナリ 一、本表ノ濾過水ト稱スルハ濾過水溜井ヨリ採酌シタルモノナリ
...		
...		
...		
5	4	5	4	4	4		
5	4	5	4	4	4		
...		
...		
5	4	5	4	4	4		
23.500	36.000	18.000	16.500	15.000	14.000		
13.500	34.000	16.500	14.000	14.000	13.000		
20.200	33.300	17.200	15.500	14.500	13.200	16.800	
5	4	5	4	4	4		
5	4	5	4	4	4		
...		
...		
...		
122.000	198.000	144.000	143.000	131.000	126.000		
112.000	151.000	107.000	88.000	84.000	100.000		
117.000	175.000	120.000	118.000	110.000	114.000	110.000	
5.056	6.794	5.688	3.850	3.476	3.950		
2.370	5.056	3.792	3.160	2.528	3.160		
3.871	5.925	4.540	3.451	3.117	3.400	3.570	
85	0	152	75	151	92		
14	0	25	18	22	21		
44	24	90	37	61	46	43	

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	
雨量	三七・四	五二・八	五六・〇	一一四・〇	一七二・四	一一四・八	二二四・八	三九・四	九〇・八	六八・二	一八三・八	一一七・〇	六九・〇	九二・二
細菌數	九〇・八	二〇二・一	一〇五・一	九五・〇	三〇〇	三九一	三〇〇	五〇二・一	六五・七	二四五	三二二	四〇八	七二七	一〇八三
格魯兒量	一五・〇〇〇	一四・八〇〇	一五・九〇〇	三三・八〇〇	一一・八〇〇	一六・七〇〇	一一・八〇〇	三六・五〇〇	三六・五〇〇	一七・七〇〇	一一・五〇〇	一四・三〇〇	一二・七〇〇	一九九〇〇
カメレオン消費量	四・九三八	四・一八四	四・二二七	五・四五一	四・六三四	五・八四三	四・六三七	一三・〇七五	一七・六一七	五・七五九	四・三一八	四・四七五	四・五二九	六・五八七
濾水量	三・一九九	三・四七七	三・〇〇二	二・一八〇	二・九二二	三・七五三	三・八七一	五・九二五	四・五四〇	四・五四〇	三・四五一	三・三一七	三・四〇〇	三・五七〇
固形物總量	一三六・〇〇〇	一一三・〇〇〇	一〇五・〇〇〇	一七三・〇〇〇	一〇二・〇〇〇	一五〇・〇〇〇	一〇二・〇〇〇	一三〇・七五	四三九・〇〇〇	三三八・〇〇〇	一一九・〇〇〇	一一三・〇〇〇	一一三・〇〇〇	一七四・〇〇〇
濾水	九六・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	九三・〇〇〇	九二・〇〇〇	九二・〇〇〇	九九・〇〇〇	九二・〇〇〇	一一七・〇〇〇	一七五・〇〇〇	一一七・〇〇〇	一一八・〇〇〇	一一〇・〇〇〇	一一〇・〇〇〇	一一〇・〇〇〇

堺市水道統計表

(十二)

堺市水道統計表(三)各種水質試驗成績
自大正二年一月至大正二年十二月

種類	回数	源水	沈澱池	濾過池	市内栓	備考
色度	最高 190.0 最低 4.0 平均 11.0	51	51	51	51	一、臭味、反應ハ試驗回数ヲ示ス 一、濾過池ハ濾水溜井ヨリ採酌シタルモノヲ示ス
濁度	最高 144.0 最低 3.0 平均 11.0	51	51	51	51	
臭味	無臭	51	51	51	51	
反應	中性 微弱アルカリ性 弱アルカリ性	51	51	51	51	
格魯兒量	最高 49.000 最低 11.000 平均 12.617	51	51	51	51	
硫酸痕跡	無	51	51	51	51	
硝酸痕跡	無	51	51	51	51	
亞硝酸檢出	七ス	51	51	51	51	
安母尼亞檢出	七ス	51	51	51	51	
硬度	最高 最低 平均	51	51	51	51	
固形物總量	最高 212.000 最低 86.000 平均 103.261	51	51	51	51	
過滿酸加 留膜脫色量	最高 7.268 最低 2.999 平均 3.896	51	51	51	51	
細菌聚落數	最高 4,545 最低 130 平均 528	51	51	51	51	

堺市水道統計表

(十三)

年次	人口	戸數	給水栓數	コレラ死亡數	腸チブス死亡數	赤痢死亡數	三病死亡數	人口十萬對スルニ病死亡數
明治三十五年	五三〇九九	一〇、七四六		二二三	三	七	一三三	二五〇・五
同三十六年	五三六二九	一〇、九三一			二	五	一三七	一三〇・〇
同三十七年	五三八六六	一〇、八四二			二	五	一三〇・九	一六・七
同三十八年	五四、九四〇	一〇、九〇〇			三	一	一三七	三〇・九
同三十九年	五七、一五四	一一、二一〇			二	五	一三七	一一・三
同四十年	五九、〇一七	一一、三〇三		四六	六	二	一三七	一一・七
同四十一年	六〇、七五六	一一、三四〇			一	八	一三三	一一・三
同四十二年	六一、四二六	一一、三五三			一	一	一三七	一一・三
同四十三年	六一、九五五	一一、四〇五	一、八八二	三三	三	一	一三七	五八・七
同四十四年	六四、四六六	一一、九七九	三、四二七		一	六	一三七	一一・四
同四十五年	六五、九五七	一二、五七八	四、四一七		七	一	一三七	一六・六
同四十六年	六七、三九九	一二、七九九	四、六九二	二〇五	三九	二	一三五	一八・九
計								

備考 本市上水道ハ明治四十三年四月ヨリ通水ス

横濱市水道統計表

(二)

大正二年十二月三十一日現在

期	著手完成年月	工費	水源	取入方	平方呎
第一期	明治十八年四月	一、〇七四七二	相模川	唧筒式	七十封度
第二期	同三十二年六月	二、〇六七四〇	相模川支流道志川	重力式	同上
第三期	同四十三年八月	豫定七、三三〇〇〇	同上	同上	百一封度

同

(二)

同

名稱	戸計		戸口調査年月	戸數	口		豫定一人一戸平均水量	豫定給水極度
	戸數	人口			戸口調査年月	人口		
創設	一五、七五〇	六三、〇〇〇	明治十六年四月				二、九三五方尺	十萬人
第一増設	二九、〇五〇	一七四、三〇〇	同二十九年九月				二、九三三方尺	三十萬人
第二増設	七〇、五八一	三五九、八六二	同三十九年十二月	八二、九六六	三九六、一〇一	大正十二年三月三十一日	四、五方尺	八十萬人

同

沈澄池 (三)

同

池數	容積	上部		下部		總深	池數	容積	上部		下部		總深	池數	容積	池數	容積	池數	容積	
		長	幅	長	幅				長	幅	長	幅								長
二	五七〇二四	一〇〇〇〇	九八〇〇	四八・八〇	四七二〇	七・五〇	二	五七〇二四	一〇〇〇〇	九八〇〇	四八・八〇	四七二〇	七・五〇	二	五七〇二四	一〇〇〇〇	九八〇〇	四八・八〇	四七二〇	七・五〇

同

(四)

同

池數	面積	上部		下部		總深	濾床厚	濾速	池數	容積	上部		下部		總深	池數	容積	池數	容積		
		長	幅	長	幅						長	幅	長	幅						長	幅
川井 二	八八〇〇	七二五〇	七二〇〇	五八五〇	五七〇〇	八〇	三〇	一七〇	二	六二九七〇	七六〇〇	七〇〇〇	五六〇〇	五〇〇〇	一六〇	二	六二九七〇	七六〇〇	七〇〇〇	五六〇〇	五〇〇〇
野毛山 三	八四〇〇	三二五〇	三〇〇〇	七五〇〇	七〇〇〇	八〇	三〇	一七〇	三	二九七七〇	一四六〇八	一四六〇八	一四六〇八	一四六〇八	一六〇	三	二九七七〇	一四六〇八	一四六〇八	一四六〇八	一四六〇八

同

(五)

同

延長	斷	上幅	下幅	深	面	二十時以上	二十五時以上	二十五時未滿	計	三十時以上	三十時未滿	未	二十時未滿	計
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

同

(六)

同

延長	鐵管	最大	內徑	鐵管	最大	內徑	鐵管	最大	內徑	專用栓	計	專用栓	計	共用栓	計
六二八	十八吋	二吋	一吋	八分五吋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

同

(七)

大正二年中

配水水量	普通計量	特別計量	噴水撒水等用	其他ノ用	計	配水水量ト計量供給水量ノ差
本年中之於ケル最大一ヶ月給水量	同	同上	同上	同上	同上	同上
本年中之於ケル最小一ヶ月給水量	同	同上	同上	同上	同上	同上
平均一ヶ月給水量	同	同上	同上	同上	同上	同上
	四八五六四六六石				一五七二七八二〇石	三二八三六八四四石

同

(八)

大正二年度

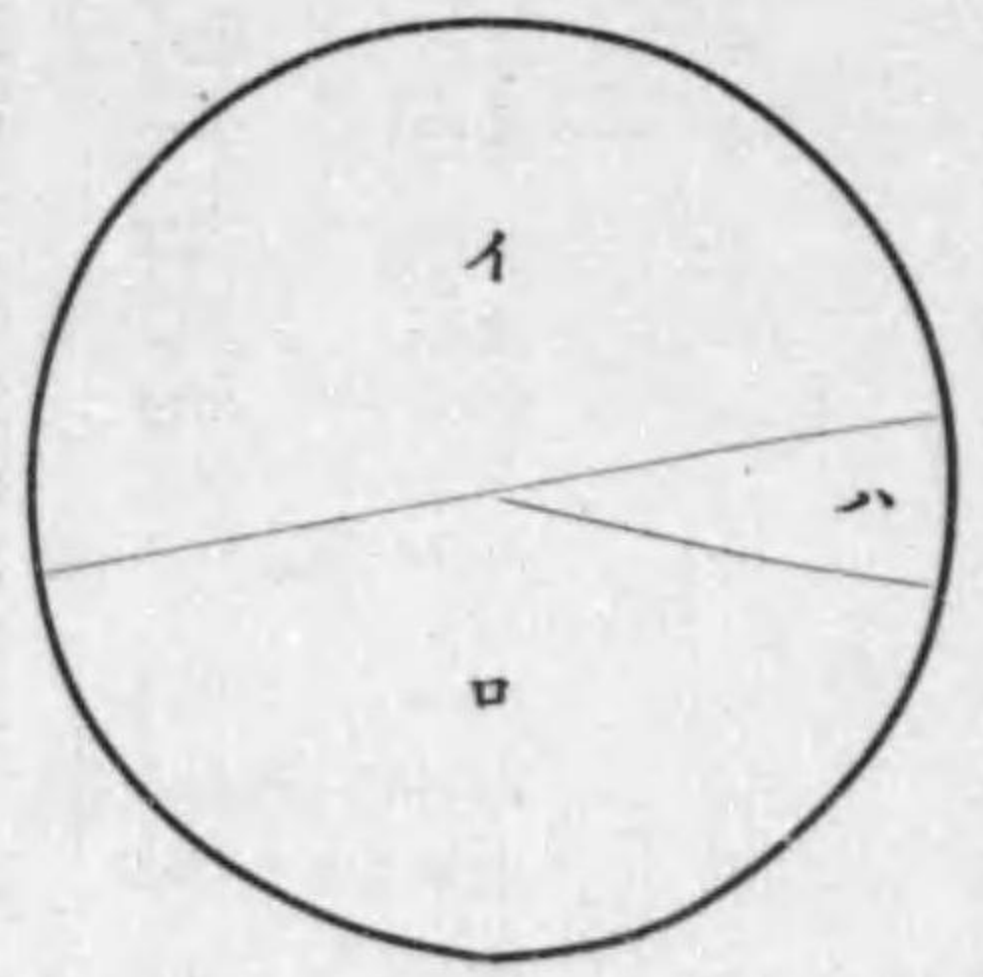
放任供給水量	專用栓共用栓計	普通計量特別計量	計量供給水量	計	雑収入	合計	維持費	修繕費	合計
一六五七六七六〇	六二九〇三〇	三八三九七九〇	一八三三二八〇	六二五〇六六三	四七四一八九五三	一五〇五八六六八			一五〇五八六六八

同

(九)

大正二年十二月三十一日現在

全市ノ戸口	八二、九六六	水道使用戸數	四六、一七九	堀井又ハ河水等使井戸數	三六七八七	堀井數	六、六八三	堀井又ハ河水等ノ水質概況	堀井中飲用三千八百十八個其他ハ雜用ニシテ何レモ不良水ナリ
-------	--------	--------	--------	-------------	-------	-----	-------	--------------	------------------------------



- イ 専ラ水道ヲ使用スル戸數
- ロ 専ラ堀井ヲ使用スル戸數
- ハ 水道及堀井兼用戸數

横濱市水道統計表(十)
自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	16	16	20	16	16	16
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	ナシ	シ	シ	シ	シ	シ
反應	中性
	微弱アルカリ性
	弱アルカリ性	16	16	20	16	16
格魯兒	最高	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
	最低	1.33	1.24	1.33	1.33	1.24
	平均	1.44	1.45	1.43	1.44	1.40
硫酸極少量	シ	シ	シ	シ	シ	シ
硝酸痕跡	シ	シ	シ	シ	シ	シ
亞硝酸檢出	セ	シ	シ	シ	シ	シ
安母尼亞檢出	セ	シ	シ	シ	シ	シ
硬度	最高	1.28	1.28	1.40	1.27	1.33
	最低	1.15	1.15	1.17	1.15	1.19
	平均	1.24	1.21	1.22	1.21	1.28
固形物總量	最高	70.8	60.0	60.4	64.4	70.4
	最低	50.8	50.4	51.2	58.8	54.8
	平均	61.3	56.9	56.0	61.9	60.3
過滿掩酸加留膜脱色量	最高	2.93	2.53	1.90	2.21	2.31
	最低	1.15	1.15	1.42	1.74	1.15
	平均	1.64	1.77	1.68	1.95	1.90
細菌聚落數	最高	87	50	23	17	12
	最低	3	3	3	3	1
	平均	20	18	10	7	5

濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
16	16	20	16	16	16	200	本表ノ濾過水ハ野毛山淨水場ニ於ケル量水井及配水池等ノ中央濾水ヲ謂フ
...	
...	
...	...	2.0	2.0	
...	...	1.0	1.0	
...	...	1.1	1.1	
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
...	
...	
16	16	20	16	16	16	200	
1.77	2.21	1.68	1.77	1.95	2.48	2.48	
1.24	1.42	1.24	1.24	1.49	1.49	1.24	
1.55	1.69	1.54	1.50	1.68	1.73	1.52	
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
1.72	1.48	1.38	1.18	1.10	1.33	1.72	
1.24	1.26	1.23	1.05	1.02	1.18	1.02	
1.31	1.37	1.29	1.12	1.06	1.27	1.23	
77.0	76.0	68.0	64.0	66.4	63.2	77.0	
60.0	61.0	54.0	50.0	52.0	45.6	45.6	
68.6	70.4	61.2	57.8	60.4	56.2	61.8	
2.60	3.22	3.46	2.23	2.53	2.25	3.46	
1.30	1.61	1.60	1.16	1.28	1.11	1.11	
2.06	2.36	2.39	1.87	1.64	1.72	1.94	
12	28	360	60	65	26	360	
5	4	1	1	5	2	1	
8	9	28	13	20	11	13	

横濱市水道統計表(土)各種水質試験成績
自大正二年一月至大正二年十二月

試験項目	種類	回数	源水			備考
			沈澱池	中濾中央水	市内栓	
色度	度	最高最低平均	100	200	98	本表ノ源水ハ専ラ着水井ヲ採リ中央濾水ハ第十表ノ全年平均數ヲ掲ク
濁度			20.0	2.0	2.0	
臭味						
反應	格魯兒	最高最低平均	10	200	98	
格魯兒			1.95	2.48	2.13	
硫酸						
硝酸	1.53	1.52	1.51			
亞硝酸				極少量	シ	
安母尼亞	痕跡	シ	シ	シ		
硬度	度	最高最低平均	シ	シ	シ	
固形物總量			1.56	1.72	1.42	
過滿俺酸加量						1.05
細菌聚落數	1.25	1.23	1.22			
				82.0	77.0	82.0
	50.8	45.6	52.0			
				61.2	61.8	61.8
	3.95	3.46	4.40			
				1.94	1.11	1.15
	2.29	1.94	1.99			
				1,010	360	171
	36	1	1			
				163	13	19

横濱市水道統計表 (十二)

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
雨量	六九・八	六八・七	四九・〇	七八・九	一一・八・六	一四七・一	一三五・四	三七五・七	一七八・九	二四五・〇	一三五・三	六八・六	一三九・三
源水細菌數	八六	二八〇	五二	一四八	一六三	一八四	一四二	一一七	三二二	一四八	一五五	一六四	一六三
細菌數	二〇	一八	一〇	七	五	八	八	九	二八	二二	二〇	一一	一三
格魯兒	一・四四	一・四五	一・四三	一・四四	一・四四	一・四四	一・四〇	一・五五	一・六九	一・五四	一・五〇	一・六八	一・五二
有機物量	一・六四	一・七七	一・六八	一・五九	一・九〇	二・三八	二・〇六	二・二六	二・三九	一・八九	一・六四	一・七二	一・九四

備考 本表ノ源水ハ着水井ヲ採リ濾水ハ第十表ノ各月平均數ニ同シ
雨量ハ神奈川縣測候所ノ報告ニ據リ水源地附近ニ於ケル各月ノ總量(耗)ヲ示ス

横濱市水道統計表 (十三)

年次	人口	戸数	給水栓数	虎列刺死亡数	腸室扶斯死亡数	赤痢死亡数	三病死亡总数	人口十萬對スル三病死亡数
明治四十年	三七八、八八四	七四、五七二	一二、六七一	六五	六九	一〇	一四四	三五・四
同 四十一年	三九二、八七〇	七八、一三六	一三、二八九	七	八八	一八	一一三	二八・七
同 四十二年	四〇七、四三二	八二、二一四	一三、六二五	三	三六	一八	五四	一三・三
同 四十三年	四一九、六三〇	八四、三六八	一四、四四二	三	八六	九	九七	二二・一
同 四十四年	四四四、〇三九	八七、九一八	一五、二二四	一	五六	〇	六六	一四・九
大正元年	四五五、二四四	八九、九三一	一五、八三五	三九	四九	一四	一〇二	二二・四
同 二年	三九六、一〇一	八二、九六六	一七、二五一	三	六七	三	七三	一八・三

神戸市水道統計表 (一)

大正三年三月三十一日現在

第一期	敷設		工費	水源	取入ノ方	一平方時水壓
	著手	完成				
明治三十五年五月	明治三十八年七月	三四〇、五八六 <small>円</small>	布川溪流 鳥原溪流	自然流下	最大七十 三封度	

同

(二)

同

戸設		計		當		時		口		給		水	
戸数	人口	戸口調査年月	戸数	人口	戸口調査年月	豫定一人一日平均水量	豫定給水人口	極度給水人口	戸数	人口	戸口調査年月	豫定一人一日平均水量	豫定給水人口
四六〇二七	一八二、六二五	明治二十九年十月	一〇一、四二一	四四〇、七六六	大正三年三月	立方尺 三・〇	一五、〇〇〇	三五、〇〇〇	四六〇二七	一八二、六二五	明治二十九年十月	一〇一、四二一	四四〇、七六六

同

沈澄池 (三)

同

池數	容積	上		下		總深	深	有効水深
		部	部	部	部			
1	1	11300	23350	11600	6000	5600	11300	11000
		135600	218346	20700	6000	3450	11350	21000

同

(四)

同

池數	面積	上		下		總深	濾床厚	濾速	池數	容積	上		下		總深	有効水深
		部	部	部	部						部	部	部	部		
1	15934	135	113	113	108	885	455	795	2	108146	115	111	102	99	10	
7	14353	135	113	113	108	885	455	795	2	11208	90	87	15	11	10	
12	3135	60	58	57	55	835	55	795	2	2208	10	11	11	11	10	

同

(五)

同

延長	上幅	下幅	深	以二十時以上	二十五時以上	十五時未滿	計	以三十時以上	二十時以上	三十時未滿	未滿	計
1	1	1	1	287	79	300	666	1745	783	2483		

同

(六)

同

延長	最長	鐵管	最大	內徑	計量專用栓	計量栓	計	專用栓及計量栓引用戶數	共用栓	使用戶數

同

(七)

配水水量	普通計量	噴水、撒水等用	特別計量	其他ノ用	計量	配水水量ト計量供給水量ノ差
本年中之於ケル最大一ヶ月給水量	三、八二六、七七六、六六八 <small>立方尺</small>	一、三七八、三六四、五九九	一、〇〇七、九七三	二、二四二、二七四、一八四	三、六三三、一八六、一六六 <small>立方尺</small>	百分ノ九十四
本年中之於ケル最小一ヶ月給水量	同	同	同	同	同	同
八月	三、六九八、一七九	二、四二六、二九四、六				三、一八八、九八〇、五六
二月						

同

(八)

計量	專用栓	共用栓	營業用	湯屋	其他	計	雜收入	合計	維持費	修繕費	合計
連合二、四、二八八 二、七四一	九、三四八	七、七三九	五、一〇五	三、一三九	五、九二九	八、六五九	六、〇一六	一、六五〇	一、〇五六	一、六六、一四四	

同

(九)

同

全市戸口	戸數	人口	水道使用戸數	堀井又ハ河水等使用戸數	堀井ノ數	堀井又ハ河水等ノ水質概況
1011111		440,766	47,414	55,007		



神戸市水道統計表(十)
奥平野浄水井 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	4	4	5	4	4	4
色度	最高
	最低均
濁度	最高
	最低均
臭味	無臭	4	4	5	4	4
	無味	4	4	5	4	4
反應	微弱アルカリ性
	微弱アルカリ性	4	4	5	4	4
格魯兒	最高	4.615	4.260	4.260	4.260	4.260
	最低均	4.260	4.260	4.260	4.260	4.260
	平均	4.349	4.260	4.260	4.260	4.260
硫酸	痕跡量	4	4	5	4	2
	痕跡	2
硝酸	痕跡	4	4	5	4	4
亞硝酸	檢出セズ	4	4	5	4	4
安母尼亞	檢出セズ	4	4	5	4	4
硬度	最高
	最低均
固形物總量	最高	53.200	52.000	53.200	52.400	53.200
	最低均	49.200	50.000	51.200	51.400	51.200
	平均	51.800	51.000	52.400	51.933	52.500
過滿俺酸加 留膜脱色量	最高	1.896	1.580	1.422	1.264	1.580
	最低均	1.580	1.264	1.264	1.264	1.580
	平均	1.659	1.422	1.327	1.264	1.580
細菌聚落數	最高	22	18	12	89	14
	最低均	9	9	9	6	3
		14	12	11	31	9

濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
4	4	5	4	4	4	合計 50	臭味、反應、硫酸、硝酸、亞硝酸、安母尼亞ノ數字ハ試驗日數ヲ示シタルモノナリ 均數ノ和ヲ十二ヲ以テ除シタルモノナリ 各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ヲ以テ除シ全年平均ハ各月平均ノ平均ヲ稱スルハ奥平野浄水構場浄水井ヨリ採酌セルモノナリ
...	
4	4	5	4	4	4	50	
4	4	5	4	4	4	50	
4	4	5	4	4	4	50	
4.260	4.260	4.260	4.260	4.260	4.260	4.260	
4.260	4.260	4.460	4.260	4.083	4.260	4.260	
4.260	4.260	4.260	4.260	4.216	4.260	4.260	
4	4	5	1	33	
...	3	4	4	17	
4	4	5	4	4	4	50	
4	4	5	4	4	4	50	
4	4	5	4	4	4	50	
...	
52.800	50.000	53.200	52.300	51.200	50.000	53.200	
52.800	50.000	51.200	51.200	51.200	50.000	49.200	
52.800	50.000	52.667	51.750	51.200	50.000	51.704	
1.264	1.264	1.580	3.792	1.422	1.422	3.792	
1.264	1.264	1.422	1.422	1.422	1.264	1.264	
1.264	1.264	1.548	2.292	1.422	1.304	1.484	
28	46	17	18	60	34	89	
2	13	7	3	7	3	2	
14	25	13	9	25	15	15	

神戸市水道統計表(±乙)各種水質試験成績
自大正二年一月至大正二年十二月

試験	種類	回数	水源			濾過水	市内栓	備考
			本流	支流	貯水			
色	度	最高	兩源水混合系統ノモノ 市内栓ハ別表濾過水質試験成績(市内栓)ノ全年平均欄ノモノヲ記載ス但シ布引谷及鳥原谷 濾過水ハ別表濾過水質試験成績(北野浄水井)ノ全年平均ヲ以テ示ス 記載例ハ別表濾過水質試験成績(ニ同シ)
		最低均	
濁	度	最高	16.0	28.0	16.0	
		最低均	3.0	3.0	8.0	
臭	味	無臭	12	12	12	50	246	
		無味	12	12	12	50	246	
反應	度	微弱アルカリ性	
		弱アルカリ性	12	12	12	50	246	
格魯兒	度	最高	6.390	5.325	5.680	4.260	4.615	
		最低均	3.905	4.260	4.615	4.260	3.905	
硫酸	痕跡	最高	4.855	4.955	5.325	4.260	4.237	
		最低均	
硝酸	痕跡	最高	12	12	12	33	161	
		最低均	
亞硝酸	檢出セス	最高	12	12	12	50	246	
		最低均	
安母尼亞	檢出セス	最高	12	12	12	50	246	
		最低均	
硬度	度	最高	
		最低均	
固形物總量	量	最高	68.400	88.400	86.200	53.200	53.200	
		最低均	49.200	59.200	67.200	49.200	50.000	
過滿俺酸加留膜脫色量	量	最高	57.442	73.217	73.567	51.704	50.921	
		最低均	4.740	4.424	6.320	3.792	4.105	
細菌聚落數	數	最高	1.264	1.580	4.740	1.264	1.106	
		最低均	1.975	2.642	5.872	1.484	1.506	
細菌聚落數	數	最高	1,091	無數	561	89	93	
		最低均	34	31	8	2	1	
細菌聚落數	數	最高	176	...	16	15	14	
		最低均	

神戸市水道統計表(±甲)各種水質試験成績
布引谷 自大正二年一月至大正二年十二月

試験	種類	回数	水源		濾過水	市内栓	備考	
			水源	貯水				
色	度	最高	ノモノナシ 市内栓ハ別表濾過水質試験成績(市内栓)ノ全年平均欄ノモノヲ記載ス但シ布引谷源水系統 濾過水ハ別表濾過水質試験成績(北野浄水池)ノ全年平均ヲ以テ示ス 記載例ハ別表濾過水質試験成績(ニ同シ)	
		最低均
濁	度	最高		
		最低均
臭	味	無臭	12	12	12	50		246
		無味	12	12	12	50		246
反應	度	中微弱アルカリ性
		弱アルカリ性	12	12	12	50		246
格魯兒	度	最高	3.905	3.905	4.083
		最低均	3.550	3.550	3.905
硫酸	痕跡	最高	3.987	3.787	3.908
		最低均
硝酸	痕跡	最高	12	12	50
		最低均
亞硝酸	檢出セス	最高	12	12	50	
		最低均	
安母尼亞	檢出セス	最高	12	12	50	
		最低均	
硬度	度	最高	
		最低均	
固形物總量	量	最高	50.000	51.200	51.200	
		最低均	48.800	50.000	46.800	
過滿俺酸加留膜脫色量	量	最高	49.500	50.375	49.043	
		最低均	1.580	3.476	2.528	
細菌聚落數	數	最高	0.948	1.580	0.948	
		最低均	1.040	1.870	1.061	
細菌聚落數	數	最高	72	141	168	
		最低均	10	12	1	
細菌聚落數	數	最高	39	49	19	
		最低均	

神戸市水道統計表 布引谷 (十二甲)

大正二年	雨量												細菌	格魯兒	カメレオン	固形物			
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二							
均	四九二	四八七	五二六	八六・九	一八三・六	一八八九	五六九	八一二	一〇八二	一九〇九	九五七	一〇一八	九七九	一一六	四	三・九〇五	一・五八〇	一〇二七	
源水	二一六	九二	五九	二二七	二二四	二二二			五〇	一五七	七三	六三	二二	二一	一九	三・九〇五	一・五八〇	一〇二七	
濾水																三・九〇五	一・五八〇	一〇二七	
源水	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	
濾水	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	三・九〇五	
源水	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	
濾水	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	
源水	一・〇二七	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	
濾水	一・〇二七	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	〇・九四八	
源水																			
濾水																			

備考 雨量ハ神戸測候所ノ観測ニ依ル
源水ハ北野源水池ヲ採リ濾水ハ同淨水池ヲ採リ總テ各月平均數ヲ示ス

神戸市水道統計表 鳥原谷 (十二乙)

大正二年	雨量												細菌	格魯兒	カメレオン	固形物			
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二							
均	六一〇	四六一	五二〇	一一六二	一五一・九	一三二・九	四七・七	一三七・七	六六・三	二四六・四	一一九・三	九一八	一〇五七	三二一	一四	五・三二五	五・六八八	一・六五九	
源水	三二一	一四五	一〇八	二六五	二四六	一〇八	二二四	二九八	九〇	四九三	一一六	六三	一九七	一一	一五	五・三二五	五・六八八	一・六五九	
濾水																五・三二五	五・六八八	一・六五九	
源水	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	
濾水	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	五・三二五	
源水	四・三九四	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・三九四	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	
濾水	四・三九四	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・三九四	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	四・二六〇	
源水	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	
濾水	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	五・六八八	
源水	一・三二七	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・三二七	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	
濾水	一・三二七	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・三二七	一・二六四	一・二六四	一・二六四	一・二六四	
源水	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	
濾水	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	一・五八〇	
源水	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	
濾水	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	一・〇二七	
源水																			
濾水																			

備考 雨量ハ神戸測候所ノ観測ニ據ル、源水ハ奥平野第二源水池ヲ採リ濾水ハ同淨水井(布引谷源水ヲ混合濾過シタルモノ)ヲ採リ總テ各月平均數ヲ示ス

神戸市水道統計表 (十三)

年次	人口	戸数	給水栓数	コレラ死亡数	腸チブス死亡数	赤痢死亡数	三病死亡總数	人口壹萬ニ對スル三病死亡数
明治三十年	一九三〇〇一	四九、二五五	—	—	—	—	—	—
三十二年	二二四、一一九	五九、〇三二	—	—	—	—	—	—
三十四年	二二六、一五九	六一、七七九	—	—	—	—	—	—
三十五年	二四、五六七五	六三、一九六	三〇、六二	—	—	—	—	—
三十七年	二五九、〇四〇	六六、〇〇一	六六、八三	—	—	—	—	—
三十八年	二七四、四四九	六九、二九〇	七、八九九	—	—	—	—	—
三十九年	二八三、八三九	七二、六六九	九、一五〇	—	—	—	—	—
四十一年	二九七、二七六	七五、一五一	九、八八七	—	—	—	—	—
四十二年	三〇二、三三一	八〇、二三四	一〇、九〇六	—	—	—	—	—
四十三年	三〇五、九五二	八五、一七一	一一、二五一	—	—	—	—	—
四十四年	三〇三、五九三	九一、一一四	一四、八九一	—	—	—	—	—
四十五年	三〇七、七五七	九六、五三九	一五、六六七	—	—	—	—	—
四十六年	三〇七、九一五	九九、九〇四	一六、二二二	—	—	—	—	—
四十七年	三〇一、九三二	一〇一、九三九	一七、三九七	—	—	—	—	—
四十八年	三〇一、五三四九	一〇三、三三三	一八、二八三	—	—	—	—	—
四十九年	三〇一、四二八	一〇五、六六一	一九、一〇一	—	—	—	—	—
大正元年	三〇一、四二八	一〇五、六六一	一九、一〇一	—	—	—	—	—
大正二年	三〇一、四二八	一〇五、六六一	一九、一〇一	—	—	—	—	—

備考 本市水道ハ明治三十三年ヨリ給水セリ
大正元年ニ比シ二年度戸數減少セシハ寄留簿整理ノ結果ニ依ル

長崎市水道統計表 (二)

大正二年十二月三十一日現在

期	著手	完成年月	工費	水源	取入ノ方	一平方吋水壓
第一期	明治二十二年四月	明治二十四年三月	二八二、〇〇〇	中島川上流本河内谷ニ粘土堰堤築造シ貯水池トシ河水ヲ貯ル	自然流下	九九三七
第二期擴張	同 三十三年三月	同 三十七年三月	一四六、一〇〇	同下流本河内谷ニ粘土堰堤築造シ貯水池トシ河水ヲ貯ル	同	五四三五
第二期擴張	同 三十三年三月	同 三十七年三月	一四六、一〇〇	西山谷ニ貯水池トシ河水ヲ貯ル	同	七九、四七

同

(二)

同

期	戸數	人口	戸口調査年月	戸數	人口	戸口調査年月	豫定一人一日平均水量	豫定給水人口	極度給水人口
第一期	六七五三	四四、七五三	明治十九年	—	—	—	—	—	—
第二期	一六五五九	一一三、三〇七	明治二十一年	—	—	—	—	—	—
第一期	六七五三	四四、七五三	明治十九年	—	—	—	—	—	—
第二期	一六五五九	一一三、三〇七	明治二十一年	—	—	—	—	—	—

同

(七)

大正二年中

配水水量	普通計量	計消	噴水、撒水等用	特別計量	其他ノ用	計給	水量	配水水量ト計量供給水量ノ差
本年中ニ於ケル最大一ヶ月給水量	二七、九二八、五四石	五〇、七二、二五〇石	一	一、七二二、〇〇八石	六、七九二、二六八石	二、一三〇、五八六石		
同上	二六〇、一五三、九石							
最小一ヶ月給水量	一九七、一三六、五石							
同上	二、三二六、〇七九石							
平均一ヶ月給水量								

同

(八)

大正二年度

放任供給水量	五〇、九一三	計常	計量供給水量	三六、三八二	計常	計量供給水量	二八、五五九	計常	計量供給水量	六四、九四一	計常	計量供給水量	六四、七四九	計常	計量供給水量	一九九、八五五	計常	計量供給水量	二二五、五七三	計常	計量供給水量	一五、四六二	計常	計量供給水量	一四、一〇三、五
專用栓	一九二、五五一	計常	計量供給水量	七〇、一六四	計常	計量供給水量	六四、九四一	計常	計量供給水量	六四、七四九	計常	計量供給水量	一九九、八五五	計常	計量供給水量	二二五、五七三	計常	計量供給水量	一五、四六二	計常	計量供給水量	一四、一〇三、五	計常	計量供給水量	一四、一〇三、五
共用栓	二二、三五五	計常	計量供給水量	一、七二二、〇〇八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八
計	二二、三五五	計常	計量供給水量	一、七二二、〇〇八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八	計常	計量供給水量	六、七九二、二六八
維持費		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量	
修繕費		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量	
合計		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量		計常	計量供給水量	

同

(九)

大正二年十二月三十一日現在

全市戸口	二二、三五五	水道使用戸數	一七、八九七	掘井又ハ河水等使井戸數	五、六五四	掘井數	一、〇〇九	掘井又ハ河水等ノ水質概況	本市ニハ河水ヲ使用スルモノナシ而シテ井水ハ概シテ水質善長ナラス從來水質善長ト信シテ今日尙ホ使用スル井水中最モ善長ナル井水十數個ヲ検査セシニ少ナキハ二百七十多キハ二萬余ノ細菌ヲ含有セリ
全市戸口	一六〇、四五〇	水道使用戸數	一七、八九七	掘井又ハ河水等使井戸數	五、六五四	掘井數	一、〇〇九	掘井又ハ河水等ノ水質概況	本市ニハ河水ヲ使用スルモノナシ而シテ井水ハ概シテ水質善長ナラス從來水質善長ト信シテ今日尙ホ使用スル井水中最モ善長ナル井水十數個ヲ検査セシニ少ナキハ二百七十多キハ二萬余ノ細菌ヲ含有セリ



長崎市水道統計表(十)
本河内 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	
試験回数	5	6	6	6	6	7	
色度	最高	
	最低	
	平均	
濁度	最高	
	最低	
	平均	
臭味	無臭味	5	6	6	6	7	
	無臭味	5	6	6	6	7	
反應	中性	
	微弱アルカリ性	5	6	6	6	7	
	弱アルカリ性	
格魯兒	最高	7.455	7.810	7.810	8.520	8.520	7.897
	最低	7.277	7.277	7.277	7.277	7.810	7.455
	平均	7.384	7.544	7.572	7.751	8.195	7.632
硫酸痕跡	5	6	6	6	6	7	
硝酸痕跡	5	6	6	6	6	7	
亞硝酸檢出セス	5	6	6	6	6	7	
安母尼亞檢出セス	5	6	6	6	6	7	
硬度	最高	1.650	1.815	1.650	1.375	1.375	1.375
	最低	1.650	1.815	1.650	1.375	1.375	1.375
	平均	1.650	1.815	1.650	1.375	1.375	1.375
固形物總量	最高	68.000	64.000	72.000	62.000	56.000	68.000
	最低	40.000	44.000	48.000	40.000	48.000	44.000
	平均	53.600	52.664	55.333	47.667	51.333	53.429
過滿俺酸加留膜脫色量	最高	2.212	2.212	2.528	2.212	1.896	2.212
	最低	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
	平均	2.022	2.107	2.159	2.001	1.896	1.986
細菌聚落數	最高	34	22	30	51	74	100
	最低	13	12	12	11	15	23
	平均	23	15	18	21	35	49

第一濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
6	7	6	6	6	5	72
...
...
...
6	7	6	6	6	5	72
6	7	6	6	6	5	72
...
6	7	6	6	6	5	72
...
9.052	8.520	8.520	8.342	6.745	6.922	9.052
7.810	8.165	7.987	6.745	6.390	6.567	6.390
8.490	8.342	8.342	7.603	6.175	6.816	7.654
6	7	6	6	6	5	72
6	7	6	6	6	5	72
6	7	6	6	6	5	72
6	7	6	6	6	5	72
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.815
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.375
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.595
64.900	60.000	60.000	60.000	64.000	64.000	72.000
44.000	52.000	48.000	48.000	48.000	56.000	40.000
53.333	56.571	54.667	55.333	57.333	60.000	54.272
1.896	1.896	2.212	1.896	1.896	1.896	2.528
1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
1.896	1.896	1.949	1.896	1.896	1.896	1.967
34	41	47	37	65	71	100
7	9	12	21	27	38	7
26	21	25	27	46	48	30

備考
數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ
各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ニテ除シ全年平均ハ各月平均
各種檢査ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル
本表第一濾過水ト稱スルハ淨水井ヨリ採酌セルモノナリ

長崎市水道統計表(十)
本河内 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	5	6	6	6	6	7
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無味	5	6	6	6	7
	無臭	5	6	6	6	7
反應	中性
	微弱アルカリ性	5	6	6	6	7
	弱アルカリ性
格魯兒	最高	7.277	7.632	7.632	8.342	8.520
	最低	7.100	7.100	7.277	7.455	7.632
	平均	7.242	7.396	7.425	7.721	8.047
硫酸痕跡	5	6	6	6	6	7
硝酸痕跡	5	6	6	6	6	7
亞硝酸檢出セス	5	6	6	6	6	7
安母尼亞檢出セス	5	6	6	6	6	7
硬度	最高	1.650	1.815	1.650	1.375	1.375
	最低	1.650	1.815	1.650	1.375	1.375
	平均	1.650	1.815	1.650	1.375	1.375
固形物總量	最高	56.000	56.000	68.000	62.000	56.000
	最低	44.000	40.000	44.000	40.000	44.000
	平均	48.800	49.320	51.333	49.333	51.333
過滿酸加 留膜脫色量	最高	2.212	2.212	2.528	2.212	1.896
	最低	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
	平均	2.022	2.107	2.107	2.001	1.896
細菌聚落數	最高	42	29	33	94	72
	最低	21	14	14	25	21
	平均	30	20	24	50	44

第二濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
6	7	6	6	6	5	72
...
...
6	7	6	6	6	5	72
6	7	6	6	6	5	72
...
6	7	6	6	6	5	72
...
9.052	8.520	8.520	8.165	6.745	7.100	9.052
7.810	7.978	7.987	6.567	6.390	6.922	6.390
8.490	8.290	8.313	7.607	6.175	6.958	7.620
6	7	6	6	6	5	72
6	7	6	6	6	5	72
...
6	7	6	6	6	5	72
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.815
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.375
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.595
64.000	64.000	60.000	60.000	64.000	60.000	68.000
41.000	40.000	44.000	52.000	56.000	48.000	40.000
53.333	54.859	54.000	57.333	60.000	56.800	53.061
2.212	1.896	2.212	1.896	1.896	1.896	2.528
1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
1.949	1.896	1.949	1.896	1.896	1.896	1.971
64	47	89	59	76	86	96
14	11	32	48	42	35	11
39	30	50	50	61	59	43

備考
均數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ
各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ヲ以テ除シ全年平均ハ各月平
各種檢査ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル
本表第二濾過水ト稱スルハ淨水池ヨリ採酌セルモノナリ

長崎市水道統計表(十)
本河内 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	10	10	14	5	14	10
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無臭	10	10	14	5	14
	有味	10	10	14	5	14
反應	中性
	微弱アルカリ性	10	10	14	5	14
	弱アルカリ性
格魯兒	最高	7.455	7.987	7.632	7.987	8.520
	最低	7.100	7.455	7.455	7.987	7.987
	平均	7.277	7.703	7.619	7.987	8.241
硫酸痕跡	10	10	14	5	14	10
硝酸痕跡	10	10	14	5	14	10
亞硝酸檢出セス	10	10	14	5	14	10
安母尼亞檢出セス	10	10	14	5	14	10
硬度	最高	1.650	1.595	1.650	1.650	1.375
	最低	1.650	1.595	1.650	1.650	1.375
	平均	1.650	1.595	1.650	1.650	1.375
固形物總量	最高	52.000	68.000	72.000	76.000	80.000
	最低	40.000	56.000	40.000	48.000	54.000
	平均	43.600	61.200	57.428	67.200	67.000
過滿俺酸加留讓脱色量	最高	2.212	2.212	2.212	2.212	2.212
	最低	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
	平均	1.959	2.022	1.987	1.959	1.986
細菌聚落數	最高	23	29	21	35	86
	最低	10	9	5	10	12
	平均	15	19	17	20	45

第三濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
11	10	10	11	10	10	130	數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ 各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ニテ除シ全年平均ハ各月平均 各種試驗ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル 本表第三濾過水ト稱スルモノハ市内給水栓ヨリ採酌セルモノナリ
...	
...	
...	
...	
11	10	10	11	10	10	130	
11	10	10	11	10	10	130	
...	
11	10	10	11	10	10	130	
...	
9.502	8.520	8.697	8.875	6.922	7.064	9.502	
8.165	8.165	8.342	7.632	6.212	6.922	6.212	
8.681	8.325	8.573	8.326	6.496	7.064	7.846	
11	10	10	11	10	10	130	
11	10	10	11	10	10	130	
11	10	10	11	10	10	130	
11	10	10	11	10	10	130	
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.375	
1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.650	1.600	
80.000	68.000	64.000	72.000	72.000	80.000	80.000	
48.000	52.000	40.000	48.000	56.000	64.000	40.000	
62.909	60.000	51.600	61.091	63.600	71.600	60.769	
1.896	1.896	2.212	1.896	2.212	2.528	2.528	
1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	2.212	1.896	
1.896	1.896	1.959	1.896	1.959	2.275	1.979	
55	64	35	72	74	58	97	
25	7	9	24	36	24	5	
37	36	17	49	51	42	38	

長崎市水道統計表(土)各種水質試験成績
本河内 自大正二年一月至大正二年十二月

試験種類	源水		濾過水	市内栓	備考
	貯水池	濾過池			
回数	2	72	144	130	記載例ハ別表(濾過水質試験成績)ニ同シ 濾過水ハ別表第一及第二濾過水質試験成績ノ全年平均ヲ示ス 市内栓ハ別表第三過水質試験ノ全年平均欄ノモノヲ記載ス
色度	最高	50.0	31.0	...	
	最低	28.0	11.0	...	
	平均	39.0	19.0	...	
濁度	最高	30.0	26.0	...	
	最低	9.0	5.0	...	
	平均	19.5	11.7	...	
臭味	無味	2	72	144	
	無臭	2	72	144	
反應	中性	
	微弱アルカリ性	2	72	144	
格魯兒	最高	7.987	8.875	9.052	
	最低	6.922	6.212	6.390	
	平均	7.455	7.680	7.654	
硫酸痕跡	2	72	144	130	
硝酸痕跡	2	72	144	130	
亞硝酸檢出セズ	2	72	144	130	
安母尼亞檢出セズ	2	72	144	130	
硬度	最高	1.650	1.815	1.815	
	最低	1.650	1.375	1.375	
	平均	1.650	1.595	1.595	
固形物總量	最高	84.000	72.000	72.000	
	最低	80.000	44.000	40.000	
	平均	82.000	63.345	54.272	
過滿俺酸加 留謨脫色量	最高	12.008	4.740	2.528	
	最低	4.740	2.528	1.896	
	平均	8.374	3.359	1.971	
細菌聚落數	最高	1,240	2,930	100	
	最低	610	140	7	
	平均	925	546	43	

長崎市水道統計表 本河内 (十二)

大正二年	均月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
雨量	七三・三	六五・二	五〇・六	二二・三	一九三・六	三〇九・六	一五六・一	七八・一	二一三・七	九・四	八三・一	一〇一・七	一三〇・六	五四・六
細菌數	七三三	三三三	二七八	三三〇	四三〇	八七七	一、一三〇	三五四	四七〇	三〇二	四〇二	九二六	五四六	五四六
格魯兒量	七・四五五	七・五四三	七・六三二	七・九二八	八・二二四	七・七〇八	八・四九〇	八・三六八	八・二八三	七・六〇二	六・三六〇	六・五六七	七・六八〇	七・四六一
カメレオン消費量	三・二八六	三・三一一	三・四七六	三・一六〇	三・〇〇二	三・五二一	三・一六〇	三・一六〇	三・四二二	三・四二二	三・六八九	三・四七六	三・三五九	三・三五九
固形物總量	二〇・三三	二〇・〇七	二〇・三三	二〇・〇一	一九九六	一九六四	一九九六	一九二二	一九九六	一九九六	一九九六	一九九六	一九六五	一九六五

備考 雨量ハ長崎測候所ノ觀測ニ係ル
源水ハ濾過池ヲ採リ濾水ハ淨水井、淨水池ノ平均數ヲ示ス

長崎市水道統計表(十)
西山低部 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	6	6	6	6	7	6
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無臭	6	6	6	6	7
	無臭	6	6	6	6	7
反應	中性
	弱アルカリ性	6	6	6	6	7
格魯兒	最高	8.697	8.697	9.230	9.762	8.875
	最低	8.165	8.165	8.342	9.052	8.342
	平均	8.401	8.428	8.788	9.378	8.621
硫酸痕跡	6	6	6	6	7	6
硝酸痕跡	6	6	6	6	7	6
亞硝酸檢出	6	6	6	6	7	6
安母尼亞檢出	6	6	6	6	7	6
硬度	最高	3.750	2.640	2.750	3.025	2.750
	最低	3.750	2.640	2.750	3.025	2.570
	平均	3.750	2.640	2.750	3.025	2.570
固形物總量	最高	84.000	76.000	88.000	88.000	80.000
	最低	60.000	48.000	52.000	52.000	60.000
	平均	67.333	66.000	70.000	73.333	68.000
過滿俺酸加量	最高	1.896	2.528	2.212	2.212	2.844
	最低	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
	平均	1.896	2.159	2.054	2.159	2.347
細菌聚落數	最高	47	50	66	81	93
	最低	18	18	13	7	33
	平均	31	27	31	58	57

第二濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
7	7	6	6	6	6	75
...
7	7	6	6	6	6	75
7	7	6	6	6	6	75
7	7	6	6	6	6	75
9.052	10.295	10.472	10.117	7.632	8.520	10.472
8.342	8.875	9.230	6.745	6.922	7.632	6.745
8.748	9.534	9.969	8.697	7.247	8.372	8.706
7	7	6	6	6	6	75
7	7	6	6	6	6	75
7	7	6	6	6	6	75
7	7	6	6	6	6	75
3.025	3.300	3.575	2.750	2.500	2.750	3.750
3.025	3.300	3.575	2.750	2.500	2.750	2.500
3.025	3.300	3.575	2.750	2.500	2.750	2.964
84.000	72.000	84.000	84.000	92.000	88.000	92.000
62.000	60.000	76.000	64.000	80.000	80.000	48.000
70.571	68.000	78.667	74.000	86.000	86.667	73.492
2.212	1.896	2.528	1.896	2.212	2.528	2.844
1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
1.941	1.896	2.159	1.896	2.001	2.054	2.051
44	39	23	102	66	19	102
16	14	11	30	6	4	4
36	21	15	46	14	7	33

備考
數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ
各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ニテ除シ全年平均ハ各月平均
各種檢査ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル
本表第二濾過水ト稱スルハ淨水池ヨリ採酌セルモノナリ

長崎市水道統計表(十)
西山低部 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	10	10	10	11	10	10
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無臭味	10	10	10	11	10
	無臭味	10	10	10	11	10
反應	中性
	弱アルカリ性	10	10	10	11	10
格魯兒	最高	8.342	8.520	8.875	9.407	8.697
	最低	8.165	8.165	8.697	9.230	8.342
	平均	8.271	8.413	8.839	9.246	8.538
硫酸痕跡	10	10	10	11	10	10
硝酸痕跡	10	10	10	11	10	10
亞硝酸檢出	10	10	10	11	10	10
安母尼亞檢出	10	10	10	11	10	10
硬度	最高	2.997	2.640	2.750	3.025	3.750
	最低	2.452	2.475	2.750	3.025	3.750
	平均	2.593	2.508	2.750	3.025	3.750
固形物總量	最高	120.000	92.000	72.000	92.000	84.000
	最低	52.000	76.000	44.000	52.000	64.000
	平均	66.400	84.400	62.400	72.364	73.200
過滿俺酸加量 留膜脱色量	最高	2.212	2.212	2.212	2.212	2.212
	最低	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
	平均	1.959	2.050	1.959	2.011	1.959
細菌聚落數	最高	32	28	48	91	68
	最低	19	8	17	15	48
	平均	22	20	31	42	57

第三濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
10	10	10	10	10	10	121
...
10	10	10	10	10	10	121
10	10	10	10	10	10	121
10	10	10	10	10	10	121
10	10	10	10	10	10	121
9.052	10.295	10.117	9.762	7.100	8.520	10.295
8.520	8.697	9.407	6.567	6.745	7.277	6.567
8.786	9.478	9.762	8.318	6.906	7.970	8.578
10	10	10	10	10	10	121
10	10	10	10	10	10	121
10	10	10	10	10	10	121
10	10	10	10	10	10	121
3.300	3.300	3.575	2.750	2.750	2.750	3.575
3.300	3.300	3.575	2.750	2.750	2.750	2.452
3.300	3.300	3.575	2.750	2.750	2.750	2.983
88.000	80.000	80.000	84.000	84.000	92.000	120.000
76.000	72.000	72.000	72.000	76.000	72.000	44.000
82.800	74.800	76.400	78.000	78.400	82.800	75.180
2.528	1.896	2.212	2.212	1.896	2.212	2.528
1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
2.117	1.896	2.086	1.959	1.896	1.959	1.989
42	44	37	53	35	20	91
13	11	6	20	12	5	5
29	24	20	32	21	13	30

備考
數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ
各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ニテ除シ全年平均ハ各月平均
各種試驗ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル
本表第三濾過水ト稱スルハ市内給水栓ヨリ採酌セルモノナリ

長崎市水道統計表(二)各種水質試験成績
西山低部 自大正二年一月至大正二年十二月

驗試	水種	類回	源水		濾過水	市内栓	備考
			貯水池	濾過池			
色度	度	最高	38.6	28.8	記載例ハ別表(濾過水質試験成績)ニ同シ 濾過水ハ別表第一及第二濾過水質試験成績ノ全年平均ヲ示ス 市内栓ハ別表第三濾過水質試験ノ全年平均欄ノモノヲ記載ス
		最低	21.0	8.0	
		平均	30.0	17.7	
濁度	度	最高	23.0	27.0	
		最低	7.0	2.0	
		平均	15.0	10.5	
臭味	味	無臭	2	150	225	121	
		無臭	2	150	225	121	
反應	應	中性	
		微弱アルカリ性	2	150	
格魯兒	兒	最高	8.165	10.295	10.472	10.295	
		最低	6.390	6.390	6.567	6.567	
		平均	7.278	8.510	8.706	8.578	
硫酸	酸	痕跡	2	150	225	121	
		痕跡	2	150	225	121	
亞硝酸	酸	檢出セズ	2	150	225	121	
		檢出セズ	2	150	225	121	
硬度	度	最高	1.650	2.200	3.750	3.575	
		最低	1.650	1.375	2.500	2.452	
		平均	1.650	1.758	2.964	2.983	
固形物總量	總量	最高	80.000	92.000	92.000	120.000	
		最低	72.000	48.000	48.000	44.000	
		平均	76.000	73.129	73.492	75.180	
過滿俺酸加 留膜脫色量	量	最高	6.636	5.688	2.844	2.528	
		最低	3.476	2.528	1.896	1.896	
		平均	5.070	3.524	2.051	1.989	
細菌聚落數	數	最高	1,210	6,620	102	91	
		最低	750	120	2	5	
		平均	980	622	33	30	

長崎市水道統計表 西山低部 (十二)

大正二年	月											均	
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一		十二
雨量	73.2	65.2	50.6	23.6	19.3	30.9	15.6	78.1	21.7	9.4	83.1	10.7	130.6
細菌數	1,707	481	288	713	872	525	917	297	280	309	350	724	623
格魯兒量	8.446	8.387	8.870	9.348	8.570	8.268	8.545	9.420	9.792	8.387	6.863	7.366	8.510
カメレオン消費量	3,784	3,633	3,765	3,262	4,311	3,634	3,318	3,183	3,723	3,291	3,107	3,291	3,524
濾水	1,923	2,173	2,081	2,173	2,101	2,054	1,971	1,908	2,028	2,002	1,949	2,002	2,039
固形物總量													
濾水													
固形物總量													

備考 雨量ハ長崎測候所ノ觀測ニ係ル
源水ハ濾過池ヲ採リ濾水ハ淨水井、淨水池ノ平均數ヲ示ス

長崎市水道統計表(十)
西山高部 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	12	10	14	12	14	12
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無味	12	10	14	12	14
	無臭	12	10	14	12	14
反應	中性
	微弱アルカリ性
	弱アルカリ性	12	10	14	12	14
格魯兒	最高	9.052	9.230	9.585	9.762	9.762
	最低	8.165	8.520	8.875	9.052	9.052
	平均	8.683	8.910	9.188	9.378	9.433
硫酸痕跡	12	10	14	12	14	12
硝酸痕跡	12	10	14	12	14	12
亞硝酸檢出セズ	12	10	14	12	14	12
安母尼亞檢出セズ	12	10	14	12	14	12
硬度	最高	3.025	2.640	2.750	3.025	2.750
	最低	3.025	2.640	2.750	3.025	2.750
	平均	3.025	2.640	2.750	3.025	2.750
固形物總量	最高	92.000	96.000	100.000	88.000	92.000
	最低	72.000	76.000	72.000	72.000	72.000
	平均	84.417	86.000	85.429	82.750	82.571
過滿俺酸加留膜脱色量	最高	2.528	2.844	2.844	2.844	2.844
	最低	1.896	2.212	2.212	1.896	2.212
	平均	2.212	2.560	2.411	2.291	2.599
細菌聚落數	最高	54	35	46	117	70
	最低	8	8	6	19	25
	平均	25	22	21	43	43

第一濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
14	12	14	10	14	10	148	均數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ 各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ヲ以テ除シ全年平均ハ各月平 各種檢査ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル 本表第一濾過水ト稱スルハ淨水井ヨリ採酌セルモノナリ
...	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	
14	12	14	10	14	10	148	

長崎市水道統計表(十)
西山高部 自大正二年一月

大正二年	一	二	三	四	五	六
年	月	月	月	月	月	月
試験回数	6	5	7	6	7	6
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無臭	6	5	7	6	7
	無味	6	5	7	6	7
反應	中性
	微弱アルカリ性
格魯兒	最高	8.875	9.230	9.585	9.762	9.762
	最低	8.520	8.520	8.875	9.230	9.407
	平均	8.757	8.910	9.240	9.407	9.509
硫酸痕跡	6	5	7	6	7	6
硝酸痕跡	6	5	7	6	7	6
亞硝酸檢出	6	5	7	6	7	6
安母尼亞檢出	6	5	7	6	7	6
硬度	最高	3.025	2.640	2.750	3.052	2.750
	最低	3.025	2.640	2.750	2.750	2.750
	平均	3.025	2.640	2.750	2.750	3.055
固形物總量	最高	88.000	88.000	96.000	91.000	88.000
	最低	80.000	80.000	80.000	76.000	76.000
	平均	85.000	84.000	85.143	86.500	82.857
過滿俺酸加 留膜脫色量	最高	2.212	2.528	2.844	3.160	3.476
	最低	1.896	2.212	1.896	1.896	2.212
	平均	2.107	2.465	2.393	2.317	2.618
細菌聚落數	最高	68	38	46	84	72
	最低	20	12	15	48	24
	平均	32	22	26	61	44

第二濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七	八	九	十	十一	十二	平均
月	月	月	月	月	月	月
7	6	7	5	7	5	74
...
7	6	7	5	7	5	74
7	6	7	5	7	5	74
7	6	7	5	7	5	74
7	6	7	5	7	5	74
9.940	10.295	10.472	9.940	8.520	8.520	10.472
9.407	9.940	9.585	7.810	7.810	8.342	7.810
9.686	10.088	10.016	9.443	8.139	8.413	9.278
7	6	7	5	7	5	74
7	6	7	5	7	5	74
7	6	7	5	7	5	74
7	6	7	5	7	5	74
3.300	3.575	3.575	3.025	3.025	2.750	3.575
3.300	3.575	3.575	3.025	3.025	2.750	2.640
3.300	3.575	3.575	3.025	3.025	2.750	3.039
88.000	88.000	84.000	84.000	92.000	88.000	96.000
84.000	84.000	80.000	76.000	84.000	84.000	76.000
86.857	85.333	81.714	79.200	88.000	87.200	85.523
3.476	3.476	2.528	2.528	2.528	2.844	3.476
2.844	1.896	1.896	2.212	1.896	1.896	1.896
3.174	2.686	2.343	2.285	2.257	2.402	2.478
78	32	72	98	66	43	98
19	11	9	24	26	17	9
44	20	32	70	46	27	40

備考
數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ
各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ニテ除シ全年平均ハ各月平均
各種檢査ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル
本表第二濾過水ト稱スルハ淨水池ヨリ採酌セルモノナリ

長崎市水道統計表(十)
西山高部 自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試験回数	9	10	6	14	11	10
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無臭味	9	10	6	14	11
	無臭味	9	10	6	14	10
反應	中弱アルカリ性
	弱アルカリ性	9	10	6	14	11
格魯兒	最高	8.520	9.052	9.052	9.585	9.762
	最低	7.277	8.342	8.875	9.052	9.230
	平均	8.289	8.657	8.993	9.381	9.520
硫酸痕跡	9	10	6	14	11	10
硝酸痕跡	9	10	6	14	11	10
亞硝酸檢出セス	9	10	6	14	11	10
安母尼亞檢出セス	9	10	6	14	11	10
硬度	最高	2.750	2.640	2.750	3.025	2.750
	最低	2.750	2.640	2.750	3.025	2.750
	平均	2.750	2.640	2.750	3.025	2.750
固形物總量	最高	80.000	80.000	92.000	92.000	88.000
	最低	44.000	56.000	80.000	76.000	76.000
	平均	63.600	70.000	86.667	84.000	83.273
過滿掩酸加量	最高	2.212	2.212	2.212	2.528	2.528
	最低	1.896	1.896	1.895	1.892	2.212
	平均	2.024	2.159	2.054	2.167	2.208
細菌聚落數	最高	35	23	58	91	48
	最低	17	7	13	23	18
	平均	24	19	24	60	33

第三濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
9	10	10	9	10	10	118
...
9	10	10	9	10	10	118
9	10	10	9	10	10	118
9	10	10	9	10	10	118
9.762	10.117	10.295	10.117	8.165	8.520	10.295
9.585	9.585	9.585	7.277	7.455	7.810	7.277
9.604	9.851	9.993	8.539	7.828	8.129	9.052
9	10	10	9	10	10	118
9	10	10	9	10	10	118
9	10	10	9	10	10	118
9	10	10	9	10	10	118
3.300	3.575	3.575	2.750	3.025	2.750	3.575
3.300	3.575	3.575	2.750	3.025	2.750	2.640
3.300	3.575	3.575	2.750	3.025	2.750	3.015
92.000	88.000	80.000	84.000	92.000	88.000	92.000
76.000	80.000	76.000	68.000	80.000	68.000	44.000
84.000	84.000	77.200	78.000	86.000	80.000	79.962
3.160	2.528	2.528	2.212	2.528	2.528	2.844
1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896	1.896
2.563	2.212	2.275	2.036	2.218	2.117	2.205
52	27	92	104	42	45	104
12	6	21	63	15	5	5
33	15	45	89	26	19	38

備考
數ノ和ヲ十二ニテ除シタルモノナリ
各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ニテ除シ全年平均ハ各月平均
各種試驗ノ方法ハ總テ協定試驗法ニ據ル
本表第三濾過水ト稱スルハ市内給水栓ヨリ採酌セルモノナリ

長崎市水道統計表(二)各種水質試験成績
西山高部 自大正二年一月至大正二年十二月

試験種類	源水		濾過水	市内栓	備考	
	貯水池	濾過池				
回数	2	148	222	118	記載例ハ別表(濾過水質試験成績)ニ同シ 濾過水ハ別表第一及第二濾過水質試験成績ノ全年平均ヲ示ス 市内栓ハ別表第三過水質試験ノ全年平均欄ノモノヲ記載ス	
色度	最高	20.0	31.0	...		
	最低	20.0	12.0	...		
	平均	20.0	20.4	...		
濁度	最高	12.0	27.0	...		
	最低	8.0	5.0	...		
	平均	10.0	15.8	...		
臭味	無臭	2	148	222		118
	有味	2	148	222		118
反應	中性
	酸性	2	148
格魯兒	最高	9.230	10.117	10.472		10.295
	最低	7.810	7.100	7.632		7.277
	平均	8.520	8.919	9.278		9.052
硫酸	痕跡	2	148	222		118
	檢出	2	148	222		118
硝酸	痕跡	2	148	222		118
	檢出	2	148	222		118
硬度	最高	3.025	2.475	3.575		3.575
	最低	1.925	1.650	2.750		2.640
	平均	2.480	1.919	3.039	3.015	
固形物總量	最高	88.000	104.000	100.000	92.000	
	最低	84.000	52.000	72.000	44.000	
	平均	86.000	84.596	85.523	79.962	
加色量	最高	3.972	5.372	3.476	2.844	
	最低	3.476	2.844	1.896	1.896	
	平均	3.720	3.815	2.478	2.205	
細菌聚落數	最高	2,130	3,850	117	104	
	最低	430	120	5	5	
	平均	1,280	584	40	38	

長崎市水道統計表 西山高部 (十二)

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
雨量	73.2	65.2	50.6	232.6	193.6	309.6	156.1	78.1	213.7	9.4	83.1	101.7	130.6
細菌數	73.2	33.4	31.8	82.3	102.8	52.2	34.1	23.5	58.6	84.3	38.5	85.8	58.4
格魯兒量	7.455	8.893	9.055	9.452	9.306	9.559	9.559	9.792	9.864	9.212	7.429	7.455	8.919
カメレオン消費量	328.6	388.7	351.7	334.5	419.8	402.9	446.9	383.8	369.7	340.9	331.8	331.8	381.9
固形物總量	21.6	25.1	24.0	23.0	26.0	26.7	28.7	25.4	27.8	22.5	26.7	27.6	27.8

備考 雨量ハ長崎測候所ノ觀測ニ係ル
源水ハ濾過池ヲ採リ濾水ハ淨水井、淨水池ノ平均數ヲ示ス

長崎市水道統計表 (十三)

年次	人口	戸数	給水栓数	虎列刺死亡数	腸管扶斯死亡数	赤痢死亡数	三病死亡总数	人口十萬對三病死数
明治十九年	四三、九六九	六、七五二		四一七	一		四一八	九五〇
二十年	四〇、一八七	六、八四六			二		六	一四
二十一年	四二、三五五	六、八四六			三		七	一六
二十二年	五四、五〇二	九、二三〇			三	一〇八	一一一	二〇三
二十三年	五七、五〇〇	九、一八三		五八一	四	一〇	五九五	一〇三四
二十四年	五九、六二七	九、二九四		一三七	三	三六	一七五	三九五
二十五年	六一、九九九	九、三六八			四	八	一三	二〇
二十六年	六五、五三八	九、四〇八			四	一三	一七	二五
二十七年	六六、八六一	九、五五五			四	六	一四	二〇
二十八年	七一、四八三	九、五五七		二二四	一	二	二四八	三四六
二十九年	七三、九七四	九、六三八			九	二	一一	一五
三十年	一一三、三〇七	一六、五五九			九	二	二八	二四
三十一年	一一〇、八六五	一八、五一四			一三	一	三五	二八
三十二年	一一〇、八六五	一九、〇八二			一	一	三五	二八
三十三年	一一三、七〇一	二〇、四九六	一、七六三		四	一	五五	四一
三十四年	一一四、二八一				四	一	五二	三九

年次	人口	戸数	給水栓数	虎列刺死亡数	腸管扶斯死亡数	赤痢死亡数	三病死亡总数	人口十萬對三病死数
同三十五年	一四八、八二三	二二、〇二五	二、六〇五	五一	三	一	五五	三七二
同三十六年	一四八、八八二	二二、一九八	三、〇八三	五六	二	二	八七	五八
同三十七年	一五四、七二七	二二、五四三	三、九五二		九	一	二〇	一一
同三十八年	一六四、八一〇	二二、二六一	四、七八七		一	一	二四	一四
同三十九年	一六九、九六六	二二、五六六	五、三二七		二	六	三五	二〇
同四十年	一七四、五八一	二四、五二四	六、四四二	四	三	一	三六	二〇
同四十一年	一七七、九八	二四、一九六	六、九七〇		二〇	五	二五	一四
同四十二年	一七九、一八九	二二、九九二	七、四九三		九	五	二五	一四
同四十三年	一八〇、四六三	二二、〇一八	七、一八三	三	二	二	二七	二七
同四十四年	一八〇、二二五	二二、六四六	六、六三七		一	二	二八	二七
大正元年	一五四、三五五	二二、八一六	一、三八九四	五	三	一	四五	二九
大正二年	一六〇、四五〇	二二、五五一	一、六二〇〇	一	二	一	五四	三三

備考 明治十九年戸数及明治二十四年ヨリ同三十三年ニ至ル給水栓数ハ不明ニ付記載セス
 本市本河内水道ハ明治二十四年ヨリ給水シ西山高部及西山低部水道ハ明治三十七年ヨリ給水セリ
 明治二十二年及同三十一年ニ於テ郡部ヲ市ニ編入セシヲ以テ人口並ニ戸数ニ著シク増加ヲ示セリ
 大正元年ニ於テ給水栓数ノ劇増セルハ是レ迄一戸内ニ數個乃至數十個ノ給水栓ヲ有シタルモ尙一
 個トシテ算定セシモノヲ本年度ヨリ其栓数ヲ表記セシニ依ル

佐世保市水道統計表 (十三)

年次	人口	戸數	給水戸數	虎列刺死亡數	腸窒扶斯死亡數	赤痢死亡數	三病死亡總數	人口一萬對三病死亡數
明治三十五年	五〇九六八	八三八六		一三三			一四〇	二七・五〇
同 三十六年	五五、二九	八、九六八					二	〇・四〇
同 三十七年	六一、六三〇	一、二〇〇					五九	九六〇
同 三十八年	七〇、六三〇	一、三六〇六					一〇八	一五・二〇
同 三十九年	七四、一六三	一、三、四九七					三六	四八〇
同 四十年	七六、一二	一、三、一九六					三五	四六〇
同 四十一年	七八、七七七	一、三〇三八					一三	一、六五
同 四十二年	八〇、二六七	一、二、七六九					六	〇・七四
同 四十三年	八二、一〇二	一、二、九七四					二	二、五五
同 四十四年	八六、四〇九	一、二、七五五					一六	一、八六
大正元年 市内	八八、四五三	一、三、一五五					二	二、三三
大正元年 市外	八九、九三六	一、三、六六〇					一八	二、〇〇
同 二年 市内								
同 二年 市外								

備考 本表ハ佐世保全市ニ於ケル統計ニ付水道區域ノ人口トハ聊カ相違セリ

佐世保市計量給水ニ於ケル水道使用水量表 (一)

大正三年三月現在

年次	大正二年度中使用水量一ヶ月平均一戸ノ量				
	專用	私設共用	公設共用	官衙學校病院用湯屋用	
大正二年 四月	市内外	三六六、〇〇	三九〇、〇〇	三三〇、〇〇	一六五、〇〇
同 五月	市内外	三六九、〇〇	三九八、〇〇	三三〇、〇〇	一七〇、〇〇
同 六月	市内外	三三三、〇〇	三六八、〇〇	三〇〇、〇〇	一五八、〇〇
同 七月	市内外	三八一、〇〇	三四〇、〇〇	二八〇、〇〇	一四一、〇〇
同 八月	市内外	四二〇、〇〇	四五〇、〇〇	三二〇、〇〇	一五二、〇〇
同 九月	市内外	三八四、〇〇	四五〇、〇〇	三二〇、〇〇	一四一、〇〇
同 十月	市内外	三六九、〇〇	三九五、〇〇	三〇〇、〇〇	一四七、〇〇
同 十一月	市内外	三六三、〇〇	三九九、〇〇	二九〇、〇〇	一四四、〇〇
同 十二月	市内外	二六一、〇〇	三三〇、〇〇	二四〇、〇〇	一三三、〇〇
大正三年 一月	市内外	二七三、〇〇	三四五、〇〇	二五〇、〇〇	一四〇、〇〇
同 二月	市内外	二五〇、〇〇	三三〇、〇〇	二四〇、〇〇	一三六、〇〇
同 三月	市内外	二五九、〇〇	三三六、〇〇	二四二、〇〇	一三六、〇〇
平均	市内外	三三七、九七	三九四、九七	三三九、六七	一六五、八九

佐世保市計量給水ニ於ケル使用水量及人口戸數表 (三) 同

年次	專用		私設		公用		公設	
	基數	均一戸平一人一日使用水量	基數	均一戸平一人一日使用水量	基數	均一戸平一人一日使用水量	基數	均一戸平一人一日使用水量
大正二年	市外 一、七七一	五、七五〇	一一、〇三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、七七一	四、〇〇九
四月	同 一、七六二	五、七五〇	一一、〇三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、七七一	四、〇〇九
五月	同 一、七六二	五、七五〇	一一、〇三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、七七一	四、〇〇九
六月	同 一、七六二	五、七五〇	一一、〇三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、七七一	四、〇〇九
七月	同 一、七八六	四、七三三	一一、一三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、八二一	三、九〇四
八月	同 一、七八六	四、七三三	一一、一三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、八二一	三、九〇四
九月	同 一、七六二	四、七三三	一一、一三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、八二一	三、九〇四
十月	同 一、七六二	四、七三三	一一、一三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、八二一	三、九〇四
十一月	同 一、七五三	四、七三三	一一、一三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、八二一	三、九〇四
十二月	同 一、七六一	四、七三三	一一、一三〇	一、五〇〇	四、六一〇	〇〇、三三三	二、八二一	三、九〇四
大正三年	同 一、七六七	三、七八八	一一、一八〇	一、五〇〇	四、六二〇	〇〇、三三三	二、九一八	三、九〇四
一月	同 一、七六七	三、七八八	一一、一八〇	一、五〇〇	四、六二〇	〇〇、三三三	二、九一八	三、九〇四
二月	同 一、七五三	三、七八八	一一、一八〇	一、五〇〇	四、六二〇	〇〇、三三三	二、九一八	三、九〇四
三月	同 一、七三六	四、七三三	一一、二〇〇	一、五〇〇	四、六二〇	〇〇、三三三	二、九一八	三、九〇四
平均	一、七六四	四、七三三	一一、一六四	一、五〇〇	四、六二〇	〇〇、三三三	二、八二五	三、八五三

佐世保市計量給水ニ於ケル量水器保存費取調表 (三) 同

設置量水器數	内		譯		量水器		保存費	
	口徑	同	同	同	材料費	職工人夫賃	計	平均一個當リ
三、四九七	一吋	六、三三	二、七四四	二、五〇	一、一四〇	一、三九四	三、三三	三、三三
	四分三吋	六、三三	二、七四四	二、五〇	一、一四〇	一、三九四	三、三三	三、三三
	二分一吋	六、三三	二、七四四	二、五〇	一、一四〇	一、三九四	三、三三	三、三三

備考 量水器四千三百四十四個ヲ取替エ
誤差調製ヲ施シ其他ノ修繕ニ要シタル費用ナリ

甲府市水道統計表 (一)

第一期	著手	敷設	年月	完成	工費	水源	取入ノ方	一平方時

同

(二)

戸設	計	當	時	戸口調査年月	戸數	人口	戸口調査年月	給	水			
										九五一九	四八、八〇二	明治四十年

同

沈澄池 (三)

池數	容積	上	部	下	部	上	部	下	部	總	深	有効水深

同

(四)

同

池數	面積	上部	下部	上部	下部	總深	濾床厚	濾速	濾度	池數	容積	上部	下部	上部	下部	水深

同

(五)

同

延長	斷	下	深	以	計	以	計	延長	通	管	延長	
												三六〇

延 長	配水管内管	專用栓及計量栓引用戸數	共用栓 使用戸數
	鐵管 最大 最小	計量栓	
二四六三五八七	一六吋	一二九三戸	一九二九戸
	四吋	六三七戸	五、五五六

同

(六)

同

(七)

配水水量	普通計量	特別計量	噴水撒水等用	其他ノ用	計量	配水水量ト計 量供給水量ノ差
九三八九七二九三八	一一九一二七一	一一〇三六〇			一一〇一五三一	八二八八、九八、三八
本年中ニ於ケル最大一ヶ月給水量	同上	同上	同上	同上	同上	平均一ヶ月給水量

同

(八)

放任供給水料	常用計量供給水料	雑收入	經常費
專用栓	普通計量特別計量	合計	維持費
共用栓	計	合計	修繕費
計	計	合計	合計
10110250	13247100	1004100	1497997
17481100	13247100	1004100	1497997
11788100	13247100	1004100	1497997
10110250	13247100	1004100	1497997

備考 本表ハ大正二年四月一日ヨリ大正三年三月三十一日至會計年度ニ據ル

同

(九)

全市戸口	水道使用戸數	堀井又ハ河水等使用戸數	堀井ノ數	堀井又ハ河水等ノ水質概況
103346	53672	8534	1812	1374

甲府市水道統計表(十)
自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試驗回数	...	4	4	20	32	26
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無臭	4	4	20	32	26
	無味	4	4	20	32	26
反應	中性
	微弱アルカリ性	4	4	20	32	26
	弱アルカリ性
格魯兒	最高	1.772	1.772	1.770	1.772	1.507
	最低	1.772	1.772	1.329	1.239	1.240
	平均	1.772	1.772	1.695	1.417	1.363
硫酸痕跡	4	4	20	32	26	
硝酸痕跡	4	4	20	32	26	
亞硝酸檢出セス	4	4	20	32	26	
安母尼亞檢出セス	4	4	20	32	26	
硬度	最高	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5
	最低	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
	平均	0.52	0.5	0.5	0.5	0.45
固形物總量	最高	50	80	82	78	72
	最低	50	60	44	26	62
	平均	50	71	61.9	49.8	49.9
過滿俺酸加 留誤脫色量	最高	2.528	2.364	7.536	6.004	3.950
	最低	1.580	2.054	3.002	3.160	2.686
	平均	2.212	2.132	4.438	4.125	3.352
細菌聚落數	最高	56	26	80	90	84
	最低	12	18	20	18	18
	平均	33	22	56	44	48

濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
31	25	29	23	22	32	合計248	一、濾過水ト稱スルハ濾過集合井、淨水池、市内栓ヨリ採水セルモノナリ 二、各月ノ平均ハ當月中ニ施行セル各個試驗成績ノ和ヲ試驗回数ヲ以テ除シタルモノナリ
...	
...	
...	
31	25	29	23	22	32	248	
31	25	29	23	22	32	248	
...	
31	25	29	23	22	32	248	
...	
1.596	1.329	1.240	1.157	1.420	1.418	1.772	
1.063	1.083	1.063	1.152	1.157	1.240	1.063	
1.304	1.237	1.149	1.154	1.190	1.284	1.394	
31	25	29	23	22	32	248	
31	25	29	23	22	32	248	
31	25	29	23	22	32	248	
31	25	29	23	22	32	248	
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	...	
0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	...	
0.47	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.49	
56	66	64	62	54	52	82	
40	40	42	44	36	38	26	
48.2	49.5	48.2	55.0	43.7	45.5	52.1	
3.950	4.424	3.792	4.466	3.160	3.160	7.536	
2.528	3.002	2.844	3.476	2.370	2.370	1.580	
3.289	3.716	3.307	3.945	2.891	2.622	3.275	
180	144	90	60	56	52	180	
18	32	14	20	22	12	12	
50	75	45	35	44	26	43.4	

備考	大正二年													
	平	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	均		
源水ハ取入口、沈澱池ノ水ヲ採リ濾水ハ濾過集合井、淨水池、市内栓ヨリ採ル	雨量	八五〇・九一	三九九	九〇六	一八六・九	八三・九	九八・九	一一一・二	一一八・二	一四八・二	四四・五	二八六	三四・六	三六・四
	細菌數	三七一	二五二	三一八	五六四	三四八	三七二	四一〇	三九八	五九八	三五九	一〇一	一〇一	一〇一
	格魯兒量	一三九四	一三八四	一九〇	一五五四	一四九	一三三七	一三〇四	一三六三	一四一七	一六九五	一七七三	一七七三	
	カメレオン消費量	三二七五	二六三三	二八九一	三九四五	三三〇七	三七一六	三二八九	三三三二	四二二五	四四三八	二二二二	二二二二	
	固形物總量													
	濾水													
	源水													
	濾水													
	源水													
	濾水													
	源水													
	濾水													

甲府市水道統計表 (十二)

甲府市水道統計表(七) 各種水質試驗成績
自大正二年一月至大正二年十二月

備考	市内栓	濾過池	沈澱池	源水	種類	回数	各種水質試驗成績			
							最高	最低	平均	備考
一、源水ハ取入口ヨリ採ル	106	142	34	4	色度	4	最高	最低	平均	備考
							無	無	無	無
二、濾過池トハ濾過集合井及淨水池ヨリ採ル	106	142	34	4	濁度	4	最高	最低	平均	備考
							無	無	無	無
	106	142	34	4	臭味	4	最高	最低	平均	備考
							無	無	無	無
	106	142	34	4	反應	4	最高	最低	平均	備考
							中	微	弱	弱
	106	142	34	4	格魯兒	4	最高	最低	平均	備考
							2.127	1.240	1.592	1.861
	106	142	34	4	硫酸	4	最高	最低	平均	備考
							4	4	4	4
	106	142	34	4	硝酸	4	最高	最低	平均	備考
							4	4	4	4
	106	142	34	4	亞硝酸	4	最高	最低	平均	備考
							4	4	4	4
	0.5	0.5	0.5	0.6	硬度	4	最高	最低	平均	備考
							0.4	0.4	0.4	0.5
	82	40	52.7	60	固形物總量	4	最高	最低	平均	備考
							47	34	57	76
	6.636	2.054	3.470	6.004	過滿俺酸加	4	最高	最低	平均	備考
							3.792	4.770	4.770	10.270
	180	18	48	408	細菌聚落數	4	最高	最低	平均	備考
							102	188	252	1.030

同

沈澄池 (三)

同

池數	容積	上部	下部	上部	下部	總深	有効水深
三	三三八・二三四 立方尺	一八〇尺	一七七・八二尺	九〇尺	八七八三	一三二尺	一〇尺

同

(四)

同

池數	面積	上部	下部	上部	下部	總深	濾床厚	濾速	池數	容積	上部	下部	上部	下部	水深	有効
	一池ノ長	一池ノ幅	一池ノ長	一池ノ幅	一池ノ長	一池ノ幅	一晝夜	一晝夜	淨	水	一池ノ長	一池ノ幅	一池ノ長	一池ノ幅	サ	サ
三	二七九五・六五尺	一〇五尺	一三〇・六五尺	九〇尺	八八・六五尺	八・一尺	四・二尺	八〇	二	七六・三二四 立方尺	七五尺	七二・九二尺	六〇尺	五七・九二尺	一〇尺	

同

(五)

同

延長	斷上幅	斷下幅	深	以二十時以上	二十五時以上	二十五時未滿	十五時未滿	計	以三十時以上	二十時以上	二十時未滿	二十時未滿	計
二、四七・四尺	一・五	一・五	一・五	一八時	七五・五三四	七五・五三四	七五・五三四	七五・五三四	一	一	一	一	一

同

(六)

同

延長	鐵管	內管	專用栓	計量栓	計	共用戶數
一三六・五二八・六二	最長	最大	最小	計量栓	計	共用戶數
二十時	二十時	一時半	一四八七	三七二	一八五九	三一八五



全市戸口	七、九三〇	水道使用戸數	五、六六六	堀井又ハ河水等使用戸數	二、二六四	堀井數	1	堀井又ハ河水等ノ水質概況	1
------	-------	--------	-------	-------------	-------	-----	---	--------------	---

同

(九)

大正二年十二月三十一日現在

配水水量	普通計量	噴水、撒水等用	特別計量	其他ノ用	計量	配水水量ト計量供給水量ノ差	本年中之於ケル最大一ヶ月給水量	五四、八四三、七三六 立方尺	本年中之於ケル最小一ヶ月給水量	九、七五二、五五四 立方尺
							八月	四九八、四三四 立方尺	十一月	四、五八二、九六九 立方尺

同

(七)

大正二年中

放任供給水量	八、〇〇六、〇〇〇	普通計量特別計量	七、五八二、七〇〇	雜收入	三、八〇九、〇三六	維持費	三、四五四、二二六	修繕費	二、九八五、八四四	合計	五、三〇八、〇七〇
專用栓	五、一五九、五五〇	計量	一、三七六、三三〇	合計	五、九八七、七三六	合計	二、九八五、八四四	合計	五、三〇八、〇七〇	合計	五、三〇八、〇七〇

同

(八)

大正二年十二月三十一日現在

青森市水道統計表(十)
自大正二年一月

大正二年	一月	二月	三月	四月	五月	六月
試驗回数	3	7	4	2	1	5
色度	最高
	最低
	平均
濁度	最高
	最低
	平均
臭味	無味	3	7	4	2	1
	無臭	3	7	4	2	1
反應	中性
	微弱アルカリ性	3	7	4	2	1
	弱アルカリ性
格魯兒	最高	9.9400	10.8275	10.4720	10.650	...
	最低	9.5140	0.9225	10.1175	10.650	...
	平均	9.6797	9.5849	10.3834	10.650	11.713
硫酸痕跡	3	7	4	2	1	5
硝酸不檢出	3	7	4	2	1	5
亞硝酸不檢出	3	7	4	2	1	5
安母尼亞不檢出	3	7	4	2	1	5
硬度	最高	...	0.750	0.700	0.730	...
	最低	...	0.650	0.600	0.720	...
	平均	...	0.700	0.650	0.725	0.70
固形物總量	最高	...	71.600	69.600	53.120	...
	最低	...	65.200	68.800	52.450	...
	平均	92.000	69.4857	69.400	52.785	45.620
過滿俺酸加留膜脫色量	最高	1.7380	2.2120	2.370	1.738	...
	最低	1.4220	0.7900	1.738	1.580	...
	平均	1.5327	1.4220	1.975	1.659	2.212
細菌聚落數	最高	28.0	72.0	45.0	10.0	...
	最低	20.0	7.0	4.0	10.0	...
	平均	22.5	28.6	18.9	10.0	40.0

濾過水質試驗成績
至大正二年十二月

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	備考
2	2	5	8	6	8	4.4	
...	
...	
...	
2	2	5	8	6	8	...	
2	2	5	8	6	8	...	
2	2	5	8	6	8	...	
...	
10.650	11.005	11.360	11.205	10.650	11.0050	10.8881	
10.650	11.005	11.360	11.202	8.875	9.9500	10.0814	
10.650	11.005	11.360	11.2035	10.055	10.5055	10.6640	
2	2	5	8	6	8	...	
2	2	5	8	6	8	...	
2	2	5	8	6	8	...	
0.970	1.030	0.900	0.858	0.820	0.720	0.8075	
0.950	1.030	0.870	0.800	0.670	0.700	0.7520	
0.960	1.030	0.888	0.83425	0.741	0.7075	0.77197	
62.000	72.000	64.500	68.0000	65.700	56.120	65.4640	
56.000	69.000	55.800	58.4000	58.000	42.200	58.9850	
59.000	70.500	59.660	62.5625	60.680	51.0475	62.7625	
0.9790	0.9550	1.011	0.948	1.580	1.106	1.50725	
0.9480	0.9480	0.664	0.632	0.820	0.916	1.06560	
0.9635	0.9515	0.910	0.70325	1.2163	0.98575	1.33660	
46.0	60.0	48.0	30.0	20.0	8.0	38.0	
34.0	55.0	23.0	10.0	5.0	2.0	18.3	
40.0	57.5	37.2	23.5	10.5	4.5	28.2	

年次	明治四十年	同四十一年	同四十二年	同四十三年	同四十四年	大正元年	大正二年
人口	四四、九六四	四七、二〇二	四九、二五九	四六、三二七	四五、三六八	四六、八六一	四八、五四二
戶數	七、七三〇	七、九六八	八、〇三八	七、四八一	七、六九三	七、八七〇	七、九三〇
給水戶數				三、九五〇	四、三一九	四、三二八	五、〇六八
虎列刺死亡數							
腸窒扶斯死亡數	一八	一七	一六	二二	二八	一九	九
赤痢死亡數	五	一	八	四		三	一
三病總數	二三	一八	二四	二五	二八	三三	一〇
人口十萬對三病死亡數	五一・一	三八・二	四八・七	五三・九	六一・七	四六・九	二〇・八

青森市水道統計表 (十三)

青森市水道統計表(十四)各種水質試驗成績
自大正二年一月至大正二年十二月

水種類	源水	沈澱池	濾過池	市内栓	備考
試驗回数	8	53	
色度	最高	
	最低	
	平均	
濁度	最高	
	最低	
	平均	
臭味	無臭味	8	...	53	
	無臭味	8	...	53	
反應	中性	
	微弱アルカリ性	8	...	53	
格魯兒	最高	12.850	...	12.005	
	最低	10.295	...	6.9225	
	平均	11.570	...	10.667	
硫酸痕跡	8	53	
硝酸不檢出	8	53	
亞硝酸不檢出	8	53	
安母尼亞不檢出	8	53	
硬度	最高	1.16	...	1.03	
	最低	0.69	...	0.53	
	平均	0.92	...	0.77197	
固形物總量	最高	84.000	...	72.0000	
	最低	58.000	...	42.2000	
	平均	71.000	...	62.7625	
過滿酸加量	最高	2.970	...	2.3700	
	最低	0.622	...	0.6320	
	平均	1.796	...	1.3366	
細菌聚落數	最高	100.0	...	72.0	
	最低	10.0	...	2.0	
	平均	58.0	...	28.3	

秋田市水道統計表 (一)

大正二年十二月三十一日現在

第一期	著手	敷設	年	月	工費	水源	取入法	一平方呎
	明治三十六年九月	同	四十四年	十一月	七四三六〇九 円	旭雄物川支流	流入法	四七・七 封度

同

(二)

同

設計	戸数	人口	當	時	戸数	人口	戸口調査年月	給	水
			明治三十六年	戸口調査年月					
七、二五五 戸	三一、五八四 人	一	明治三十六年	六、七二 戸	三六、二四九 人	大正二年	二、二五 立方尺	四〇〇〇〇 戸	五六、〇〇〇 人

同

沈澄池 (三)

同

池數	容積	上部	下部	池	淨	水	池	有効
一	五四、六二二 立方呎	一五、四五 呎	一三、〇〇 呎	二七、五 呎	八六、〇 呎	一〇、五 呎	三、五 呎	

同

(四)

同

池數	面積	上部	下部	池	淨	水	池	有効
二、三九九、九五三 平方呎	一三、八〇一、三六五 呎	一〇、三、九 呎	一〇、二、五 呎	八、二、五 呎	三、六、五 呎	九、九、五 呎	一、八、九、九、二、四、八 立方呎	一〇、七、九 呎

同

(五)

同

延長	斷	上幅	下幅	溝	導	水管	延長	通	水管	延長
一	一	一	一	一	一	一	二〇、六、二	一	一	一

延長 二四八六〇四	配水管 最大管徑 二四吋	專用栓及計量栓引用戸數 九八二戸	共用栓 使用戸數 三、五八五戸

同

(六)

同

同

(七)

同

配水水量 五三三、四四二石	普通計量 計 噴水、撒水等用 其他ノ用 計 一、六一七、六七四石	特別計量 計 量 四、一六二、六七八石	配水水量ト計 量供給水量ノ差 計 四、一六二、六七八石
本年中ニ於ケル最大一ヶ月給水量 同上	同上	同上	同上
本年中ニ於ケル最小一ヶ月給水量 同上	同上	同上	同上
平均一ヶ月給水量 同上	同上	同上	同上

同

(八)

大正二年度

放任 專用栓 八、一三三	供給 共用栓 五、一一五	水料 計 一、三、三、三、七	常 計量供給 特別計量 計 一、〇、三、五、六	收入 雜收入 七三五	合計 二、四、四、二、八	經常 維持費 一	常 修繕費 一	費 合計 四、八、八、九
--------------------	--------------------	----------------------	-------------------------------------	------------------	-----------------	----------------	---------------	--------------------

同

(九)

大正二年十二月三十一日現在

全市 戸數 六、一七二	人口 三六、二四九	水道使用戸數 四、九六五	堀井又ハ河水 等使用戸數 一、二〇七	堀井數 調査材料無シ	堀井又ハ河水等 水質概況 堀井ハ水質概シテ不良河 水ハ殆ント飲用ニ適セス
-------------------	--------------	-----------------	--------------------------	---------------	---



秋田市水道統計表(二)各種水質試験成績
自大正二年一月至大正二年十二月

水質試験種類	回数	源水	沈澱池	濾過水	市内栓	備考	
						濾過水ハ第十表全年平均欄ノモノヲ記載ス	各成分ノ平均數ハ試験ノ總數ヲ試驗回数ヲ以テ除シタルモノナリ
色度	無色	23	...	23	23		
濁度	透明度	23	...	23	23		
臭味	有無	臭味		
		臭	23	...	23	23	
		無臭	23	...	23	23	
反應	中微弱アルカリ性		
			
			
格魯兒	最高最低平均	最高	25.500	...	40.500	40.500	
		最低	1.050	...	1.050	1.050	
		平均	10.700	...	11.050	11.206	
硫酸	微量	...	1	...	1	1	
		...	21	...	21	21	
硝酸	痕跡	...	23	...	23	23	
		...	23	...	23	23	
硬度	最高最低平均	最高	0.690	...	0.725	0.725	
		最低	0.525	...	0.525	0.500	
		平均	0.618	...	0.620	0.624	
固形物總量	最高最低平均	最高	116.304	...	105.500	109.082	
		最低	45.500	...	30.000	42.350	
		平均	80.427	...	80.851	80.737	
過滿酸加	最高最低平均	最高	6.000	...	4.125	4.125	
		最低	3.022	...	1.200	1.210	
		平均	4.298	...	2.938	3.047	
細菌聚落數	最高最低平均	最高	198	...	50	59	
		最低	80	...	4	4	
		平均	128	...	20	25	

秋田市水道統計表 (十二)

大正二年	雨量												細菌數	格魯兒量	カメレオン消費量	固形物總量													
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月																	
二二二六	八四	八二	八二	一〇四一	二五九三	一一二四	二二〇二	二四二四	二二五二	九九四	一七八二	二四三八	二二四三	二二六	八四	八二	八二	一〇四一	二五九三	一一二四	二二〇二	二四二四	二二五二	九九四	一七八二	二四三八	二二四三	二二六	
...

備考 雨量ハ秋田市水道水源地ニテ測定シタル各月ノ總量ヲ示ス
細菌數、格魯兒量ハ各月ノ平均數ヲ示ス

秋田市水道統計表 (十三)

年次	人口	戸数	給水栓数	虎列刺死亡数	腸室扶斯死亡数	赤痢死亡数	三病死亡总数	人口十萬對三病死亡数
明治三十一年	二七〇九四	六七九三						
明治三十二年	二七四九〇	六九〇七						
明治三十三年	二七五五八	六九一八						
明治三十四年	三〇、五九四	六、九九五						
明治三十五年	三一、五一四	七、一四〇						
明治三十六年	三二、二九四	七、二九七						
明治三十七年	三三、六九五	七、五二一						
明治三十八年	三四、七四六	七、六九九						
明治三十九年	三三、三三九	五、九〇〇						
明治四十年	三四、〇一四	六、〇一九	七五一					
明治四十一年	三四、四一〇	六、四三三	一、〇三三					
明治四十二年	三四、四七一	六、二二七	一一五二					
明治四十三年	三五、一九四	六、八一	一、四四六					
明治四十四年	三五、五〇一	六、二四七	一、八五四					
明治四十五年	三六、一五	六、七五	二、一九一					
明治四十六年	三六、二四九	六、七二	二、三七五					
大正元年								
大正二年								

備考 本市ノ水道ハ明治四十年四月ヨリ給水ヲ開始セリ
 虎列刺、腸室扶斯、赤痢ノ死亡数ハ書類焼失ニ付明治三十七年以前ノ分ハ不明ナリ
 戸数ハ明治三十八年以前ハ戸籍ニ依リ同三十九年以後ハ戸数割ヲ附加セルモノヲ掲ケタリ

岡山市水道統計表 (一)

大正二年十二月三十一日現在

第一期 第二期擴張	著手 完成	年月	工費	水源	取入方 法ノ	一平方 呎ノ
明治三十六年二月		明治三十八年三月	七〇八〇三三、二五九	旭川	方取入	水一平方
同 四十五年四月		大正元年十月	七、二七二〇四〇	同 旭川	同 方取入	同 水一平方
				同 川	同 方取入	同 水一平方
				同 唧筒式	同 方取入	同 水一平方
				同 内六十封度	同 方取入	同 水一平方
				同 外	同 方取入	同 水一平方

同

(一)

同

戸設	戸計	戸當	戸時	戸數	人口	戸口	給	水
一、九八九	六四、七〇	明治三十一年	十月	一八〇九二	八六、一五三	大正二年	日平均水量	豫定一人一
								豫定給水
								極度給水

同 沈澄池 (三) 同

池數	二	容積	三六二〇〇 立方呎	上部	下部	上部	下部	總深	有効水深
池數	二	容積	三六二〇〇 立方呎	一六六 呎	一四〇 呎	一六六 呎	一四〇 呎	二三 呎	一一 呎

同 (四) 同

池數	四	面積	一〇〇〇〇 平方呎	上部	下部	上部	下部	總深	濾床厚	濾速	濾度	池數	容積	上部	下部	上部	下部	水深	有効
池數	四	面積	一〇〇〇〇 平方呎	一一二 呎	一〇〇 呎	一一二 呎	一〇〇 呎	八 呎	三三二 呎	九	二	九〇〇〇〇 立方呎	四形ニシテ内徑六十八呎外徑八十八呎ナリ	一三六 呎					

同 (五) 同

延長	尺	斷上幅	斷下幅	深	面	二十吋以上	二十五吋以上	二十五吋未滿	計	三十吋以上	三十吋未滿	二十吋未滿	計
延長	尺	斷上幅	斷下幅	深	面	二十吋以上	二十五吋以上	二十五吋未滿	計	三十吋以上	三十吋未滿	二十吋未滿	計
									四町四十五間				七町五十九間
									四町四十五間				七町五十九間

同 (六) 同

延長	三町五十七間	鐵管	二十二吋	內徑	三吋	專用栓	計量栓	計	共用栓	使用戶數
延長	三町五十七間	鐵管	二十二吋	內徑	三吋	專用栓	計量栓	計	共用栓	使用戶數

同

(七)

配水水量	普通計量	消費計量	配水水量ト計 量供給水量ノ差
	噴水、撒水等用 特別計量 其他ノ用	特別計量 給水量	
本年中ニ於ケル最大一ヶ月給水量	一四、三八九、四八六 石	二、一四六、九九五 石	八、二九七、八三五 石
同上	一、四九〇、〇五〇 石	二一七 石	一、二九九、一三四 石
本年中ニ於ケル最小一ヶ月給水量	同上	同上	同上
平均一ヶ月給水量	同上	同上	同上

同

(八)

放任供給水量	專用栓	共用栓	計	普通計量特別計量	計	雜收入	合計	維持費	修繕費	合計
二六、五三七、六〇 円	三、四一六、五〇〇 円	五、七七九、三三〇 円	二、四三三、九九〇 円	三、七三六、三三〇 円	五、四三六、二七〇 円	三、八三三、三三〇 円	一、〇八三、四九九 円	一、一〇三、五三〇 円	三、八八七、七〇 円	四、〇三九、二三〇 円

同

(九)

全市戸口	一八〇、九二二	水道使用戸數	一五、一五六	掘井又ハ河水等使用戸數	二、九三六	掘井數	一、二五九	掘井又ハ河水等ノ水質概況
掘井又ハ河水等使用戸數	八六、一五三	掘井又ハ河水等使用戸數	二、九三六	掘井又ハ河水等ノ水質概況	掘井又ハ河水等ノ水質概況	掘井又ハ河水等ノ水質概況	掘井又ハ河水等ノ水質概況	掘井又ハ河水等ノ水質概況

